Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

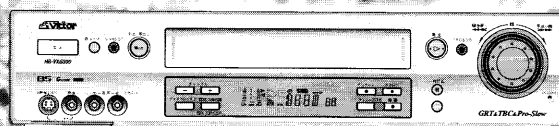
取扱説明書

BSチューナー内蔵
S-VHSビデオカセットレコーダー

型名 HR-VXG300

設置と準備

ふだんの使いかた

S-VHS VIDEO CASSETTE RECORDER

HR-VXG300

便利な機能

特別な機能

役立つ情報

● お買い上げいただき、ありがとうございます。
● ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（4~7ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
● 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

LPT0452-001C

主な特長

他社製テレビ、デジタルCSチューナーも操作できる
液晶リモコン P.12

地域番号を入力するだけで放送局を設定できる
地域番号チャンネルプリセット ... P.20

時報に合わせて時計を自動調整
ぴったりクロック P.19

いたずらからビデオデッキを守る
チャイルドロック P.73

悪天候時もキレイなBS受信・録画ができる
くっきりBSチューナー............ P.43

反射波などで起こるゴーストを低減できる
ゴーストリダクションチューナー P.24

電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
Gコード予約* P.37

デジタル放送などの録画予約が簡単にできる
デジタルCS予約 P.71

手軽に節電できる
ディスプレイオフ P.73

録画したテープ・ライブラリーの情報整理ができる
ビデオナビゲーション............. P.51

音声の録音レベルが調節できる
音声録音レベルコントロール P.62

S-VHSテープで、5倍モード録画できる
5倍モード P.34

特殊再生時に画面にノイズが無く、音声が聞ける
タイムスキャン P.50

＊Ｇコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。
Ｇコードはジェムスター・コードの略です。

この取扱説明書の見かた

- **設置や接続、リモコンの準備がお済みでないときは、**「設置と準備」をご覧ください。
- **ビデオをご覧になりたい、番組を録画したい、録画予約をしたいときは、**「ふだんの使いかた」をご覧ください。
- **もっといろいろな機能を使いたいときは、**「便利な機能」をご覧ください。
- **本機に他の機器を接続して操作したいときは、**「特別な機能」をご覧ください。
- **ご使用になる時に、操作がわからなくて困ったり、わからない言葉がでてきたときは、**「役立つ情報」をご覧ください。

- 取扱説明書内の表現について
  本文中の補足についての参照ページを(P.　)で表示します。
  のマークは、操作をする前に必ず準備をすることを表示します。
- 操作ボタンについて
  本体とリモコンにある同じマークや名前のボタンは、録画ボタンを除きどちらも同じ働きをします。
  本文中の<　>内は、本体またはリモコンのボタンを表示します。
- 本体またはリモコンのボタンで操作するとき、イラストでお知らせします。

本体で操作

リモコンで操作

もくじ

お使いになる前にお**読み**ください

主な特長 / この取扱説明書の見かた 2
もくじ 3
安全上のご注意 4
使用上のご注意 8

お使いになる前に**準備**してください

設置と準備 10
各部の名称 11
ビデオにアンテナとテレビをつなぐ 14
ビデオにBSアンテナをつなぐ 15
BSアンテナに電源を供給する 16
BSアンテナの向きを調節する 17
アンテナ線の接続について 18
日付と時刻を設定する 19
受信チャンネルを設定する 20
メニューの構成と使いかた 26
モード選択の設定 29
再生・録画中に使えるリモコンボタンの操作 32

ビデオを**見る**
録画する
録画予約する
テープを**ダビング**する

ビデオを見る 33
ビデオで録画する 34
録画予約をする 35
Gコード録画予約の準備をする 37
ガイドチャンネル一覧表 38
Gコード録画予約をする 39
新・快速録画予約をする 40
予約を確認する 41
予約の変更・取消しをする 42
BS放送を見る 43
BSデコーダを接続する 44
ハイビジョン放送を見る 47

こんなこと**できる**かな？

映像のちらつきを調節する（オートトラッキング機能） 48
画面の歪みを補正する（TBC & 3D） 49
スピードを変えて再生する（タイムスキャン、のんびりトーク） 50
ビデオナビゲーションを使う（録画した番組を探す） 51
見たい番組を探す 60
聞きたい音声を選ぶ 61
音声の録音レベルを変える 62
テープをダビングする（ダビング、インサート機能、アフレコ機能） 63
コマーシャルを飛ばして録画・再生する（オートCMカット機能） 69
VHSテープにS-VHS画質で録画する（S-VHS ET録画） 70
タイマー付きの映像機器から録画する（デジタルCS予約） 71
録画する映像のゴーストを低減する（GRT録画ロック） 72
省電力（ディスプレイオフ）とチャイルドロックの設定 73
ビデオ以外の機器を操作する 74
CSチューナーを操作する 75
2台のビデオデッキを操作する 76

困った時は ...

故障かな?と思ったら 77
地域番号一覧表 79
索引 83
主な仕様 84
保証とアフターサービスについて 85
サービス窓口案内 86

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

● 注意(警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

● してはいけない行為(禁止行為)を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

● 必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号

一般的指示

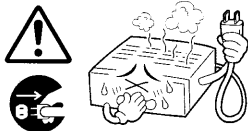
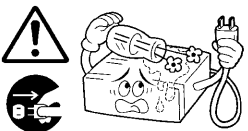
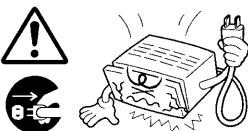
プラグをコンセントから抜く

お断り

● この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

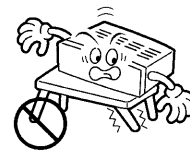
■ **火災や感電の原因となります。**

● 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

● 内部に水や物が入ってしまったとき。

● 落としたり、キャビネットが破損したとき。

● 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■ **このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。**

■ **お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。**

不安定な場所に置かない

■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

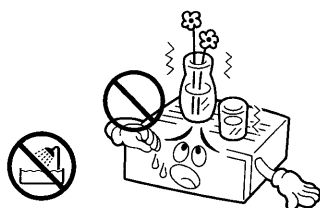
■ 火災や感電の原因となります。

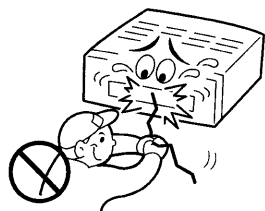
⚠警告

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。

この機器の上に水の入ったもの(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない

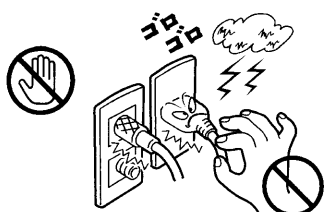
■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

内部に物を入れない

■ 通風孔やカセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

ぬらさない

■ 火災や感電の原因となります。

■ 風呂場では使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

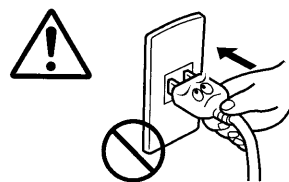
■ 感電の原因となります。

電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

この機器のカバー(キャビネット)は外したり、改造しない

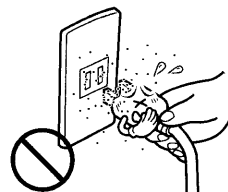
■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検･修理は販売店に依頼してください。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

電源コードを傷つけない

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。

電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

この機器の電源コンセント(ACアウトレット)に、ヒーター、ドライヤーや電磁調理器などの消費電力の大きい機器をつながない

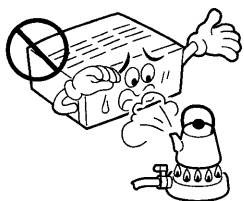
[電源コンセント(ACアウトレット)付機種]

■ 接続する機器の消費電力が、本体の電源コンセントに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠注意

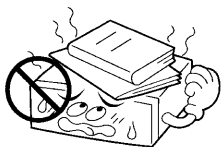
次のような所には置かない

■ 火災や感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

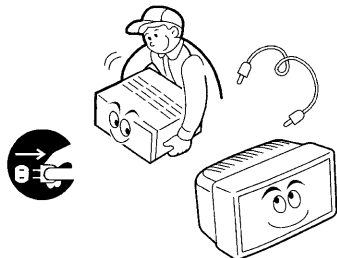
通風孔をふさがない

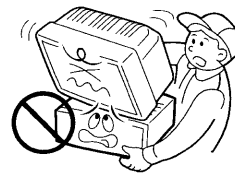
■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

次のことに注意してください。
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団などの上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

■ ファンの通風孔を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

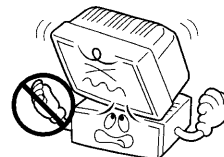
■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

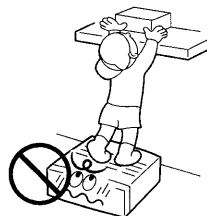
■ カセットテープも取り出しておいてください。

この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない

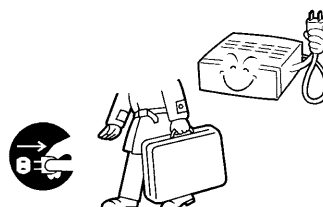
■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

カセットの出し入れ口に手を入れない

■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

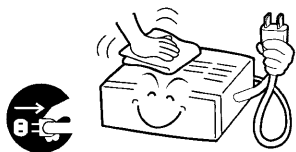
この機器の上に重い物を置かない

■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

■ 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

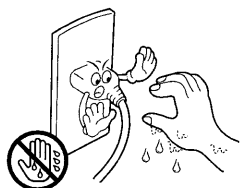
■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く

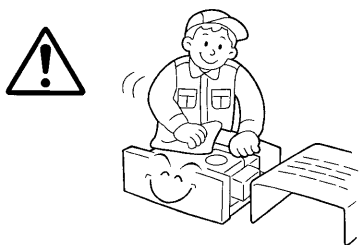
■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

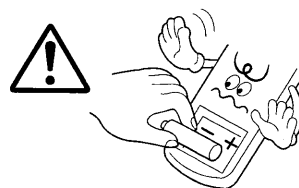
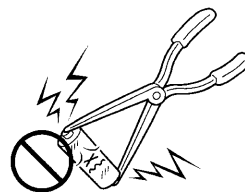
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

■ 感電の原因となることがあります。

1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。

■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- 電池はプラス(+)とマイナス(−)の表示通り入れる。
- 指定以外の電池を使用しない。
- 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。

- 電池(電池ケース)のプラス(+)、マイナス(−)をショートさせない
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく

■ **もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。**

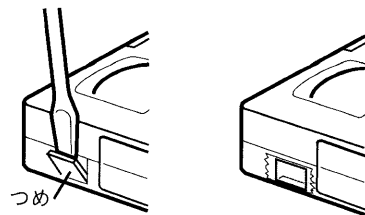
使用上のご注意

ご使用の前にお読みください。

大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画·録音されていることを確かめてください。
■ 録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画·録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
■ ふたたび録画するときは、セロハンテープを二重に貼ってください。

きれいな画面でご覧いただくために(クリーニングテープ)

■ 本機にはオートヘッドクリーニング機構が付いていますが、長い間ご使用になるうちにザラザラした画面になることがあります。このようなときは、別売の「クリーニングカセット」でビデオヘッドを掃除してください。

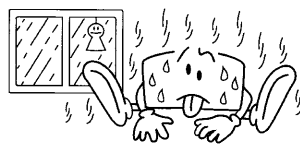
■ こんな症状になったら

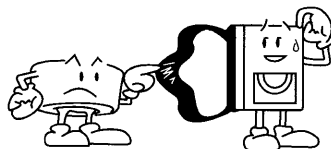
● テープを再生すると、ザラザラした画面になる
● 映像が不鮮明、または映らない
● 画面に「クリーニングテープをおためしください」と表示される。またこのとき本体表示窓にU1が表示される。(画面表示はメニューの「オンスクリーン」(P.30)が「切」に設定されていると表示されません。)

● 乾式の**クリーニングカセットTCL-DE**を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

■ ヘッドの汚れの原因

● 高温·多湿(梅雨時期など)

● 空気中のほこり

● テープの傷、汚れ

● 長時間の使用など

■ クリーニングカセットを使っても正常な画面にならないときは

お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口(P.86~87)にご相談ください。

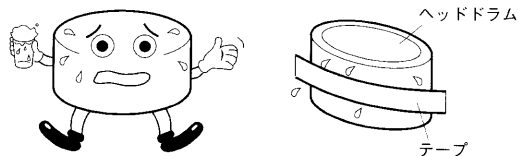
つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」(または結露)といいます。

■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが張り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。

■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
- ビデオを寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。

■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。

■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

長期間ご使用にならないときは

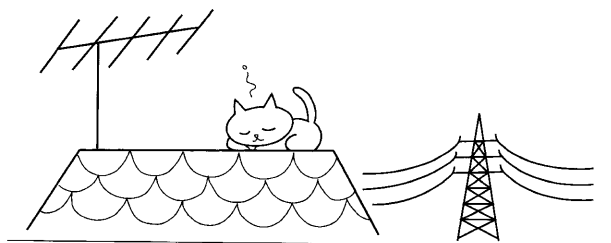
長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

アンテナは

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。

■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。

■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。

■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ビデオカセットテープは

■ ビデオカセットは S-VHS 、VHS タイプをお使いください。

■ 録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。

■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。

■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。

■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。

■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットテープの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところやストーブの近く
- 磁気の発生するところ

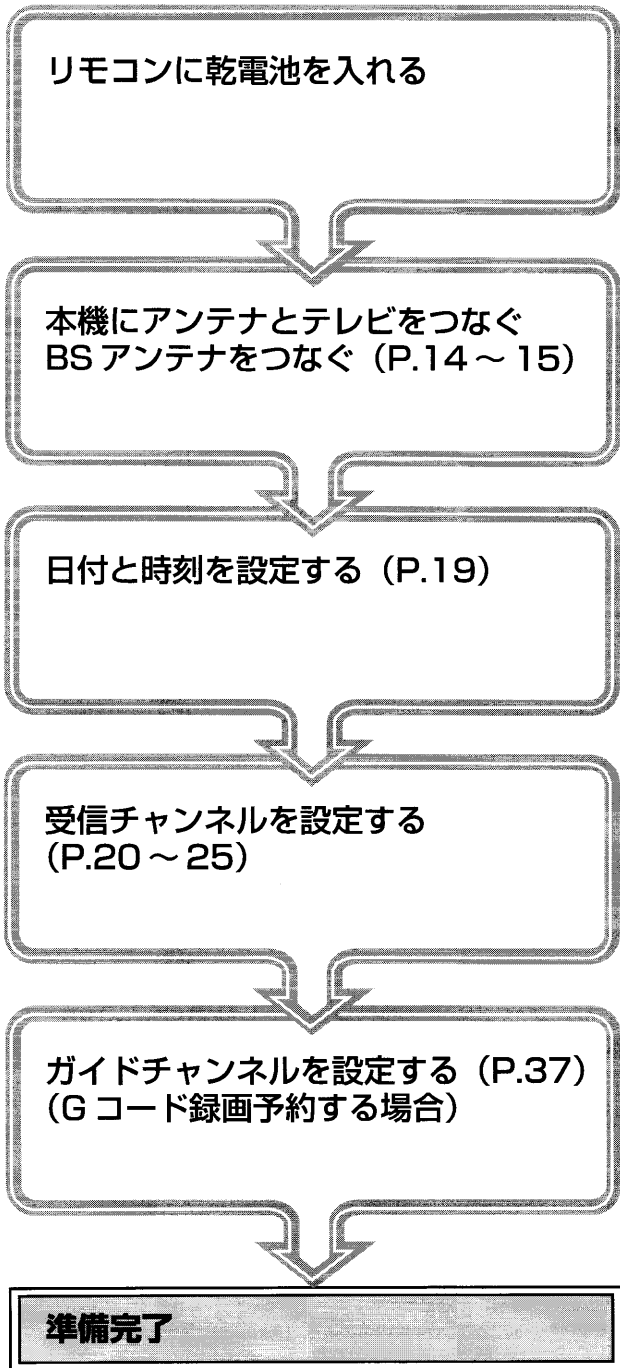
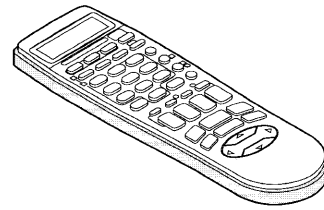
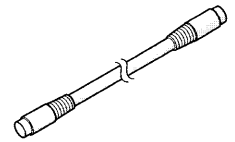
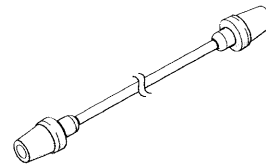
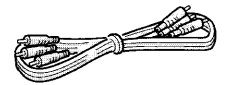
■ 落としたり衝撃を与えないでください。

■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。

■ ケースに入れて、立てて保管してください。

設置と準備

準備の進めかた

付属品を確かめる

乾電池の入れかた

単３乾電池をご使用ください。
リモコンに乾電池を入れるときには、⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。

乾電池交換の目安

乾電池が消耗すると、リモコンの操作可能な距離が短くなります。新しい乾電池に交換してください。

乾電池を交換するとき

２本とも新しいものと交換してください。（使用済みのものを混ぜないでください）

⚠注意

乾電池についてのご注意

長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5分以上たってから再度乾電池を入れ、操作してください。
乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。

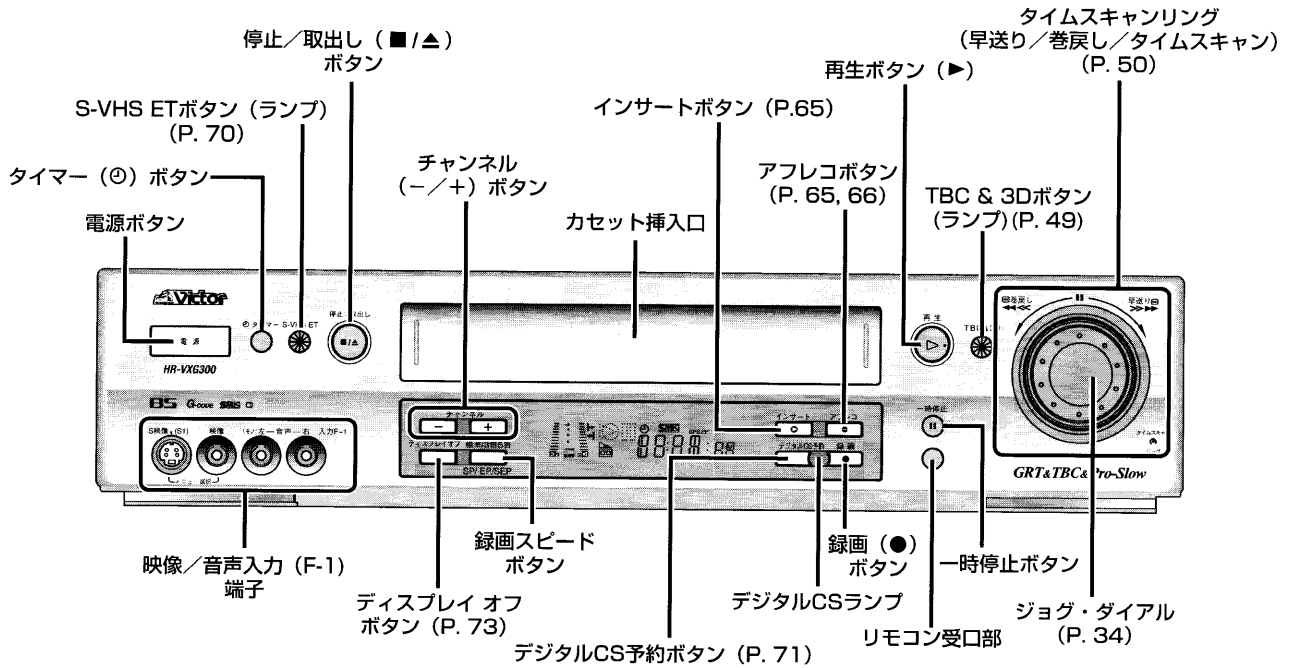
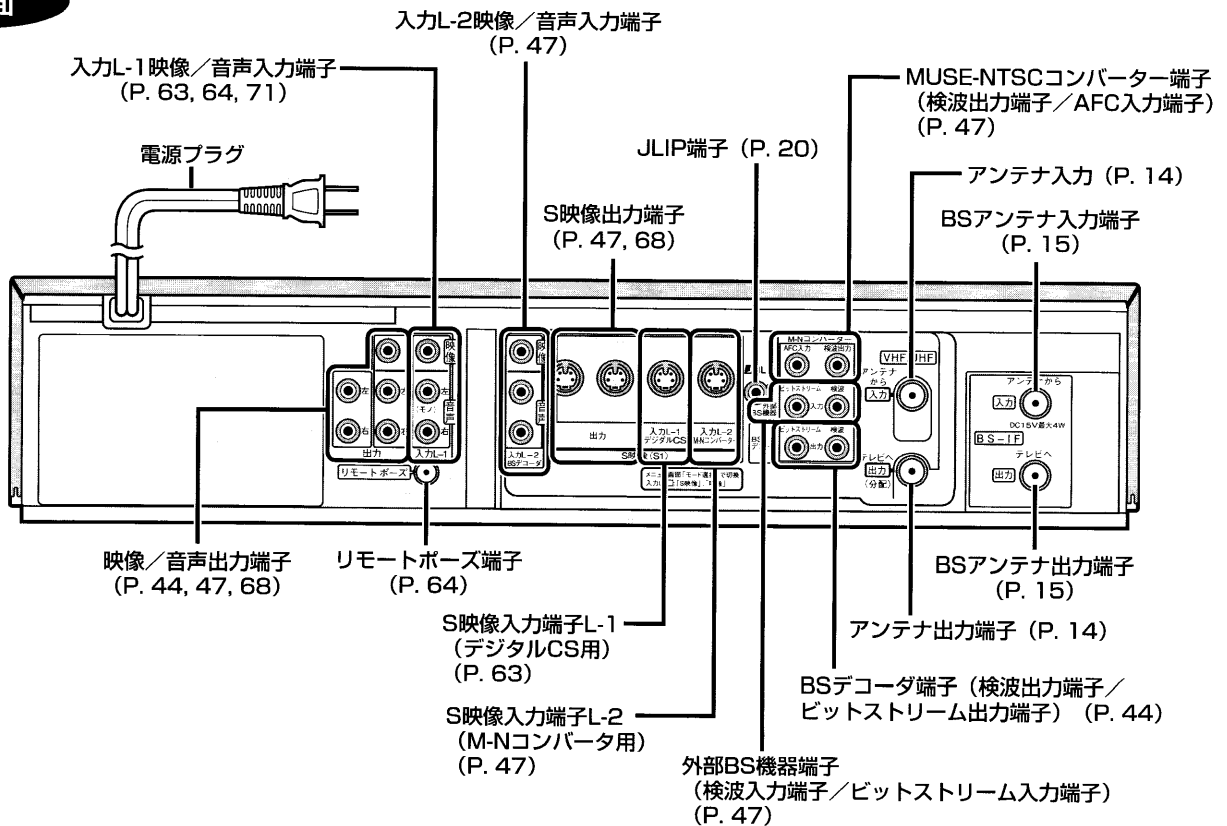
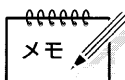
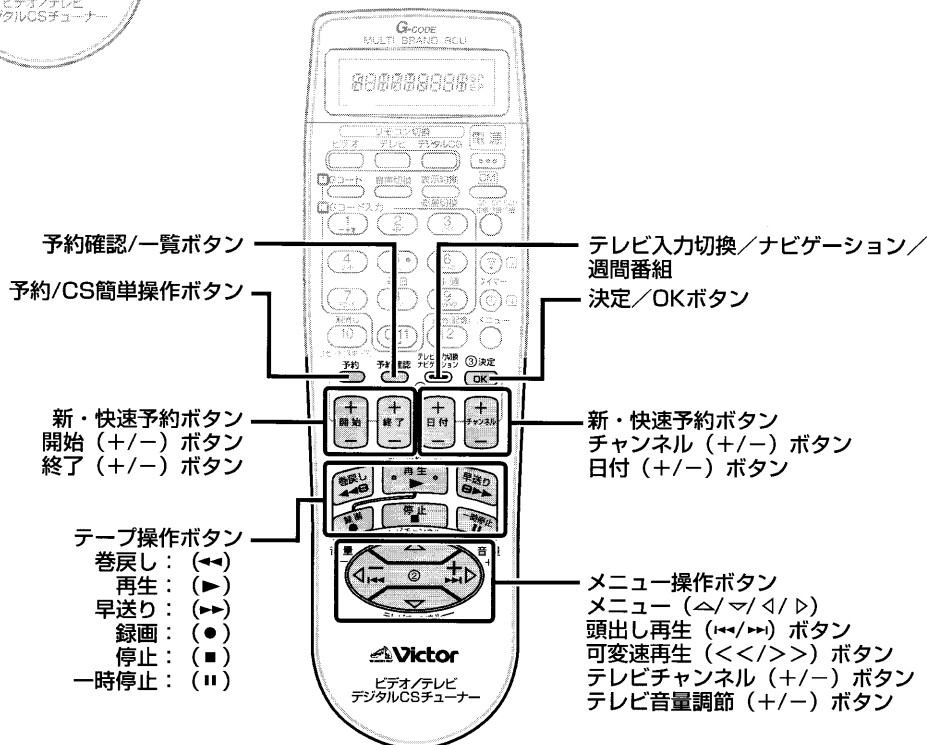
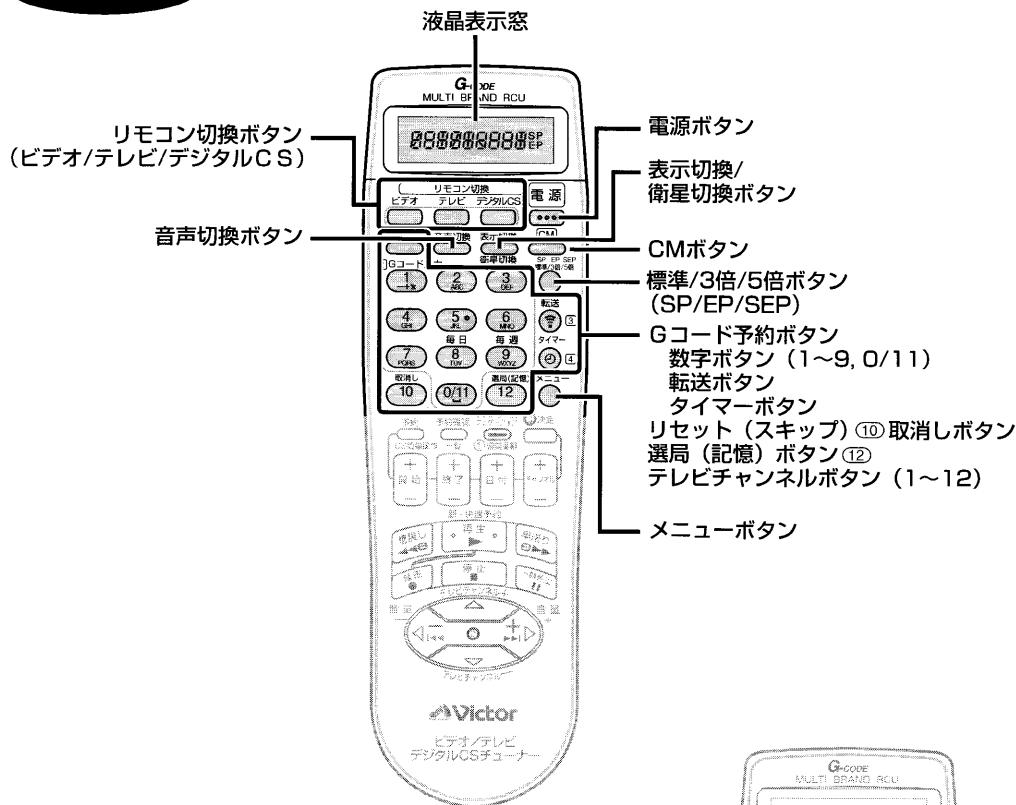
各部の名称

（P.　）の中の数字は参照ページです。

背面

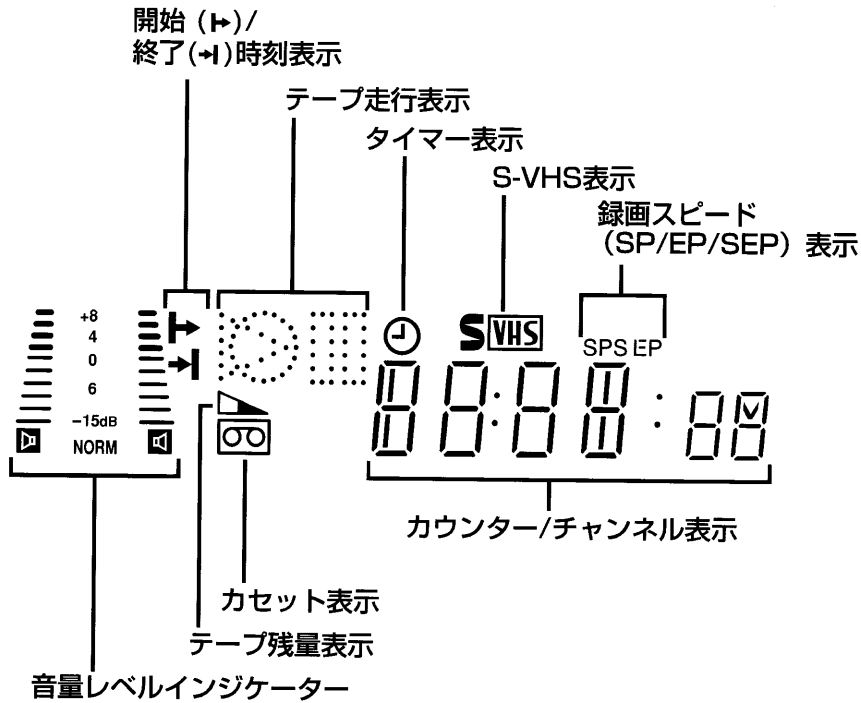
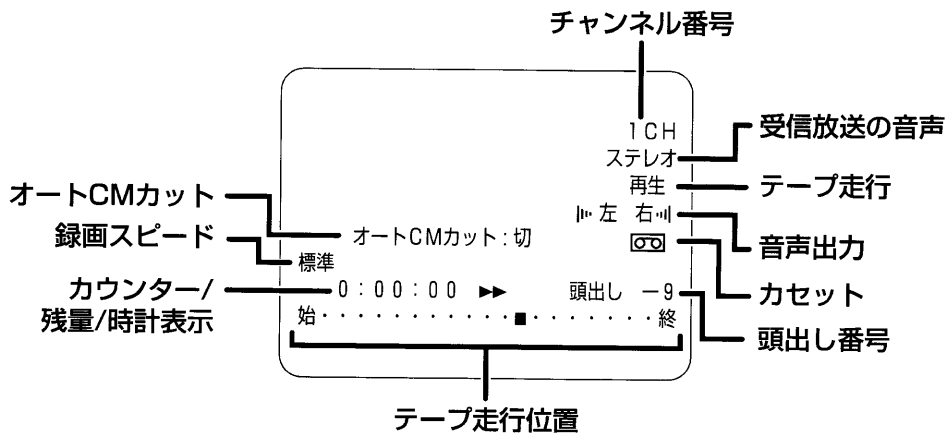
各部の名称（つづき）

リモコン

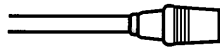
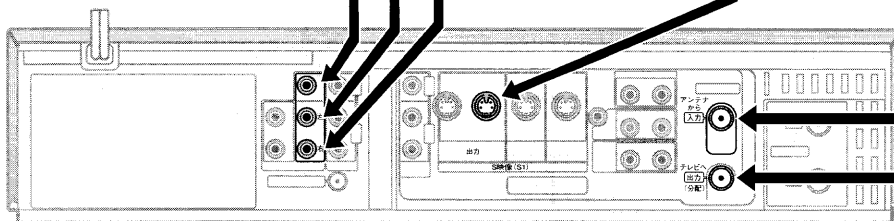
メモ

リモコンでチャンネルを選ぶとき

- 数字ボタンでもチャンネルを指定できます。
  1　リモコン切替の<ビデオ>を押す。
  2　数字ボタン<1>～<9>、<0/11>を押す。
  例：4チャンネルを選ぶときは<4>を押す。
  例：10チャンネルを選ぶときは<1>、<0/11>と続けて押す。
  例：<0/11>を押すと外部入力「L-1」に切り換わります。ただしＢＳ放送受信中は切り換わりません。

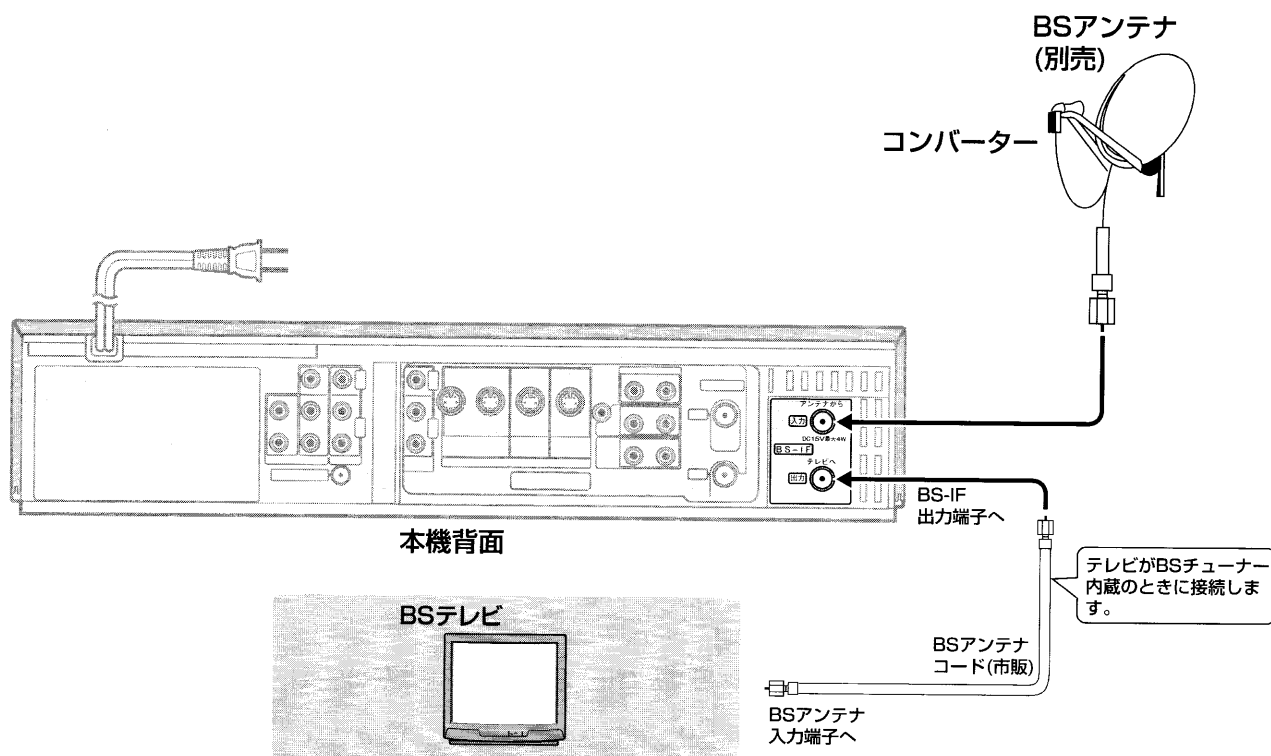
各部の名称（つづき）

本体表示窓

テレビ画面表示

- 本体表示窓の録画スピード表示
  SP　:標準モード
  EP　:3倍モード
  SEP :5倍モード
- S-VHS表示は、S-VHSモードで記録できるときに点灯します。
- 表示窓で録画予約の確認をしているときに開始時刻がカウンターに表示されているときは「⊢」、終了時刻がカウンターに表示されているときは「→|」が表示されます。

ビデオにアンテナとテレビをつなぐ

アンテナとテレビのつなぎかた（本機はＲＦコンバータが搭載されていないため、ＲＦ信号が出力されません。付属の映像／音声コードを使用し、映像／音声出力端子を映像／音声入力端子付きのテレビにつないでください。）

ビデオにBSアンテナをつなぐ

BS アンテナのつなぎかた

BS（衛星）放送を受信するには、専用のBS アンテナ（別売）が必要になります。

アンテナコネクターのつなぎかた

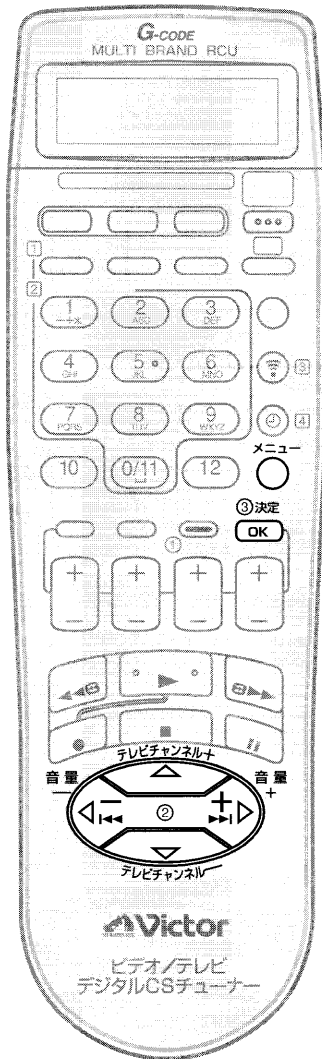
- BS とVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
- BSアンテナの設置については、BSアンテナの取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が終わったら、以下の設定をしてください。(P.16～17)

1 メニューで「BS アンテナ電源」「入／切」を設定する
2 放送されているBS チャンネルを選ぶ
3 BS アンテナの向きを調節する

BSアンテナに電源を供給する

本機から、接続したBSアンテナに電源を供給することができます。
設定するときには、BSアンテナを接続したあとに設定してください。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 <メニュー>を押す

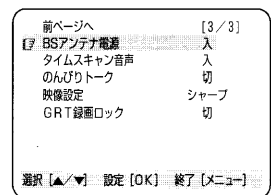
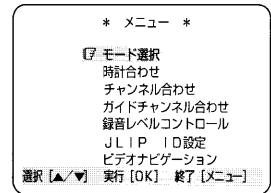
2 <▽>を押し、「モード選択」を選ぶ

3 <OK>または<▷>を押し、モード選択画面を表示させる

＊ メニュー ＊

☞ モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

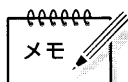
4 <△/▽>を押し、3ページ目の「BSアンテナ電源」を選ぶ

5 <OK>または<▷>を押し、「入」に設定する

ヒント

- 押すたびに、設定の「入／切」が切り換わります。

切：BS放送を共同受信しているとき（マンションなど）本機からBSアンテナに電源を供給しません。

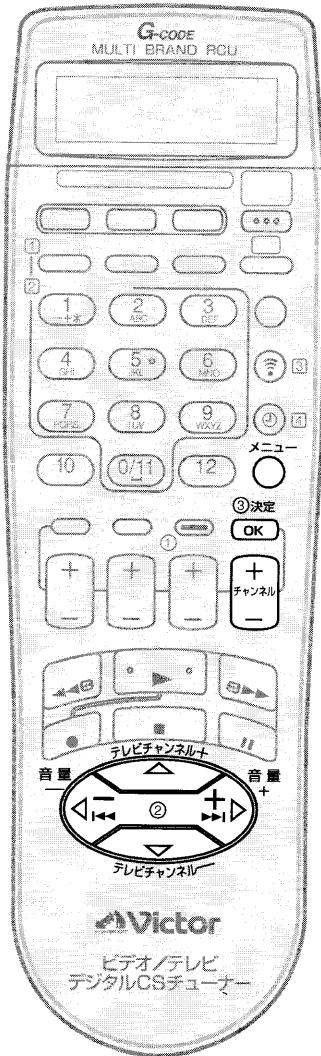
入：BS放送を個別で受信しているとき本機からBSアンテナに電源を供給します。

6 <メニュー>を押し、操作を終了する

分波器などをお使いのとき

- 本機の他にもBS機器を使っていて、分波器などをお使いのときは、本機にBSアンテナを接続して、メニューの「BSアンテナ電源」を「入」に、他機の設定は「切」にしてお使いください。

BSアンテナの向きを調節する

BS 入力レベルの表示を見ながら、BS アンテナが正しく衛星の方向を向くように調節します。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 <チャンネル+>または<チャンネル−>を押し、放送のあるBSチャンネルを選ぶ

2 <メニュー>を押す

3 <▽>を押し、「チャンネル合わせ」を選ぶ

4 < OK >または<▷>を押す

```
＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］
```

5 <▽>を押し、「記憶 / スキップ / 表示変更 / 微調整」を選ぶ

6 < OK >または<▷>を押した後、「BS チャンネル合わせ」画面を表示させる

```
＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
☞記憶/スキップ/表示変更/微調整
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］
```

7 < OK >または<▷>を 2 回押す

ヒント
- BS番組をうまく受信していないと、ノイズ画面になります。
- < OK >または<▷>を 3 回押すと、「BSチャンネル合わせ」の画面に戻ります。そのときは、もう1度< OK >または<▷>を2回押します。

```
＊ BSチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示 BS 5CH 記憶
デコーダ入力 オート
チャンネルを選ぶ［▲/▼］［0−9］
選局をとばす［スキップ］
デコーダ入力変更へ［OK］ 終了［メニュー］
```

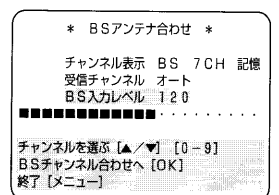
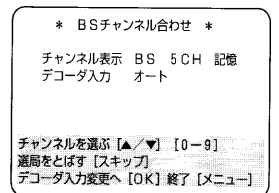
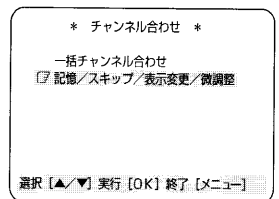
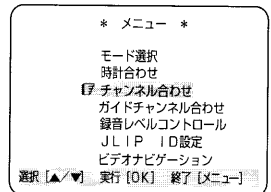
8 テレビ画面を確認しながら BS アンテナの向きを調節する

```
＊ BSアンテナ合わせ ＊
チャンネル表示 BS 7CH 記憶
受信チャンネル オート
BS入力レベル 120
■■■■■■■■■■■■■.........
チャンネルを選ぶ［▲/▼］［0−9］
BSチャンネル合わせへ［OK］
終了［メニュー］
```

9 < OK >または<▷>を押し、メニュー画面に戻る

10 <メニュー>を押し、操作を終了する

<メニュー>を押すと、メニュー画面が消えます。

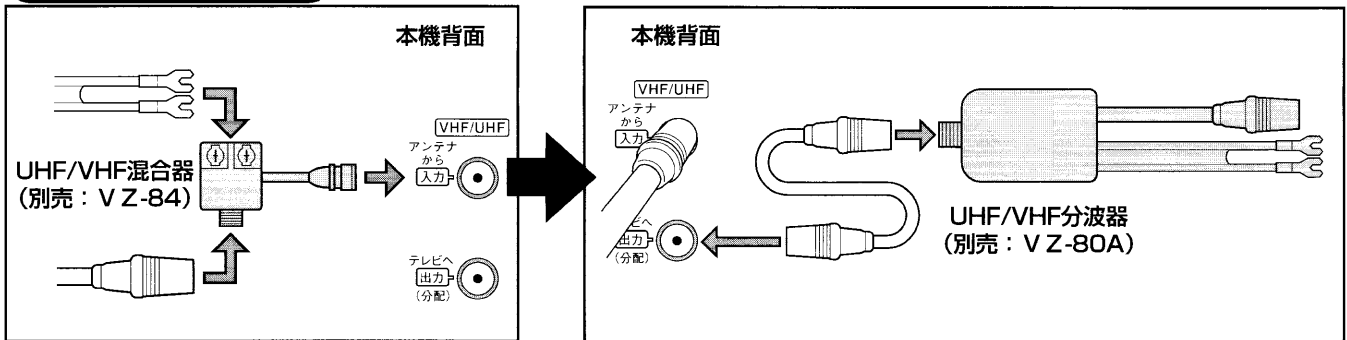
メモ

BS放送が受信しにくい天候

- 雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着したりすると、電波が弱くなり一時的に画面や音声に雑音が入ります。ひどい場合には、まったく受信できなくなることがありますが、気象条件によるものなのでBSアンテナや本機の故障ではありません。

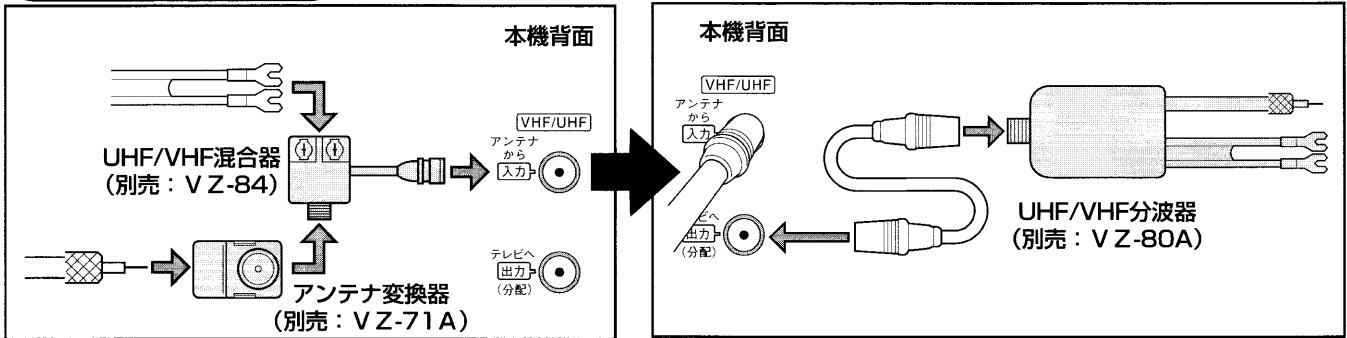
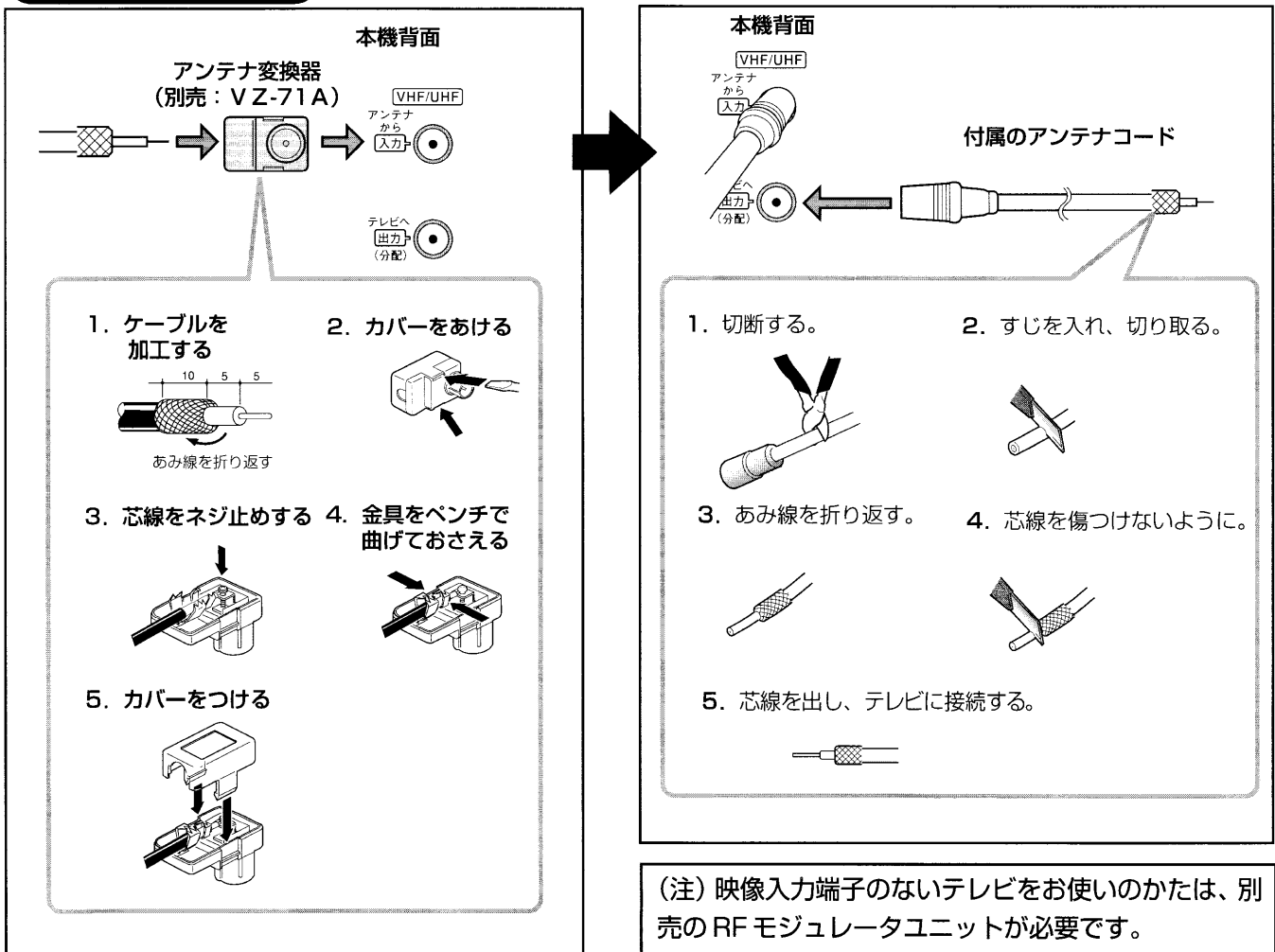
BS入力レベルの表示について

- BS入力レベルの表示は、信号と雑音の比を目安として表したもので、電波の強さを示しているわけではありません。映像がきれいに映っていれば、レベルの大小は関係ありません。

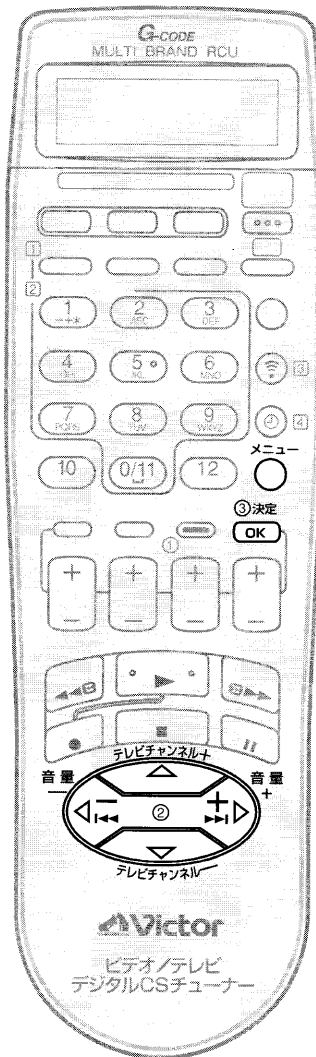
アンテナ線の接続について

75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）
とフィーダー線

75Ω同軸ケーブル（プラグなし）
とフィーダー線

75Ω同軸ケーブル（プラグなし）

（注）映像入力端子のないテレビをお使いのかたは、別売のRFモジュレータユニットが必要です。

日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。はじめに正しい日付と時刻を設定してください。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。
例：2000年12月24日、午後5時30分に合わせる

1 <メニュー>を押す

2 <▽>を押し、「時計合わせ」を選ぶ

3 < OK >または<▷>を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択［▲／▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

4 <△/▽>を押し、「時刻→日付→西暦」の順に設定する
時刻を合わせ日付に移るときは< OK >または<▷>を押す
日付を合わせ西暦に移るときは< OK >または<▷>を押す

ヒント
- 時刻を合わせるとき、<△/▽>を押し続けると、30分単位で変わります。
- 日付を合わせるとき、<△/▽>を押し続けると、15日単位で早く変わります。

＊ 時計合わせ ＊
午前 --：--
1月 1日 2000年
ぴったり 3チャンネル
設定［▲／▼］ 移動［OK］ 終了［メニュー］

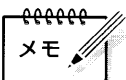
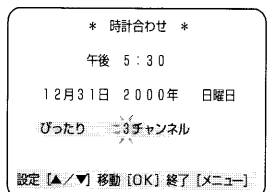
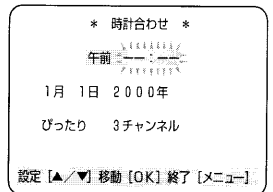
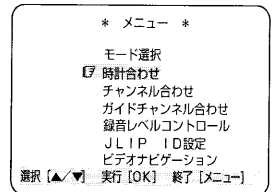
5 <△/▽>を押し、3チャンネル（NHK教育テレビ）を選ぶ

ヒント
- 「一括チャンネル合わせ」（P.20）を行ったあとは、自動的に設定されています。

＊ 時計合わせ ＊
午後 5：30
12月31日 2000年 日曜日
ぴったり 3チャンネル
設定［▲／▼］ 移動［OK］ 終了［メニュー］

6 <メニュー>を押す
時計が動き始めます

ヒント
- 正確に合わせたいときは時報に合わせて、<メニュー>を押してください。

メモ

ぴったりクロックとは
- 自動的にテレビの時報に合わせて本機に内蔵されている時計を修正する機能です。NHK教育テレビの時報(7時、12時、19時)に合わせます。

ぴったりクロックが働かないとき
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  - 時報が放送されていないとき
  - 本機の電源が入っているとき
  - 現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  - 時報のバックに音楽が入っているとき
  - 本体表示窓にデジタルCS予約の「ＣＳ」が点灯しているとき

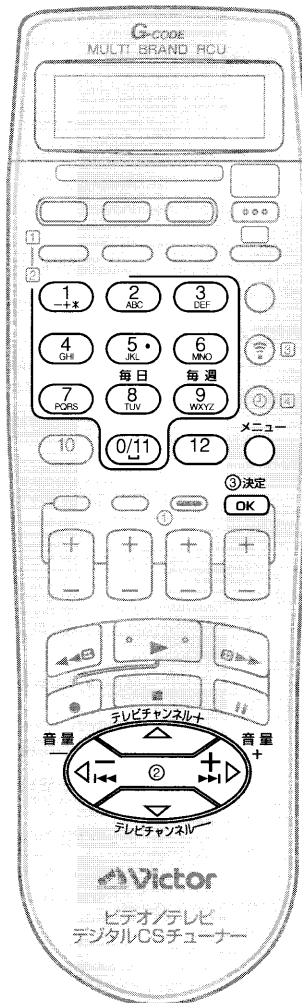
受信チャンネルを設定する

一括チャンネル合わせ

本機はお住まいの地域番号をメニュー画面に入力するだけで、テレビ放送のチャンネルを自動的に設定します。Gコード録画予約をする場合に必要なガイドチャンネルも自動的に設定されます。

「地域番号一覧表」(P.77～80）をご覧になって、お住まいの地域番号をお確めください。
お住まいの地域番号が掲載されていないときは、「放送局を個別に設定する」（P.21）をご覧ください。

1. <メニュー>を押す
2. <▽>を押し、「チャンネル合わせ」を選ぶ

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

3. <OK>または<▷>を押す
4. <△/▽>を押し、「一括チャンネル合わせ」を選ぶ
5. <OK>または<▷>を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
記憶/スキップ/表示変更/微調整
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

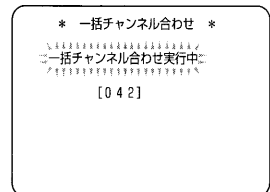
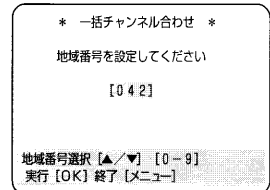
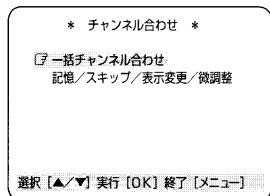
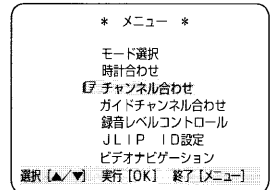
6. <△/▽>を押し、地域番号を選ぶ

ヒント
- ボタンを押し続けると地域番号が早く変わります。

＊ 一括チャンネル合わせ ＊
地域番号を設定してください
［042］
地域番号選択［▲/▼］［0－9］
実行［OK］ 終了［メニュー］

7. <OK>または<▷>を押し、「一括チャンネル合わせ」を実行する
8. 「一括チャンネル合わせ」が終了すると受信チャンネルの映像がテレビ画面に表示される

＊ 一括チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ実行中
［042］

メモ

- CATV放送は「一括チャンネル合わせ」では設定できません。CATV放送を受信できるようにするには、空いているチャンネル番号に割り当ててください。(P.21)
- 地域番号を選ぶときは、数字ボタンを使うこともできます。
  例:「042」を入力するときは、<0/11>、<4>、<2>の順で押す。
- 「一括チャンネル合わせ」をすると、放送のない空きチャンネルは、<ビデオチャンネル+/−>では選べなくなります。
- 受信の状態があまり良くないときは、「映りの悪いチャンネルを微調整する」を行ってください。(P.22, 24～25)
- 受信できるテレビ放送局をひとつずつ設定することもできます。(P.21)
  このときは、ガイドチャンネルもひとつずつ設定してください。(P.37)
- メニューの「JLIP ID設定」の設定方法はこの手順と同じです。
  IDは1～99のどれかひとつを設定してください。お買い上げの時は1が設定されています。また、ご利用になる際には、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- JLIP(=Joint Level Interface Protocol)
  本体背面のJLIP端子にビデオを制御する機器(例:編集コントローラ、等)を接続する事で、自動編集等が可能になります。(P.11)

受信チャンネルを設定する（つづき）

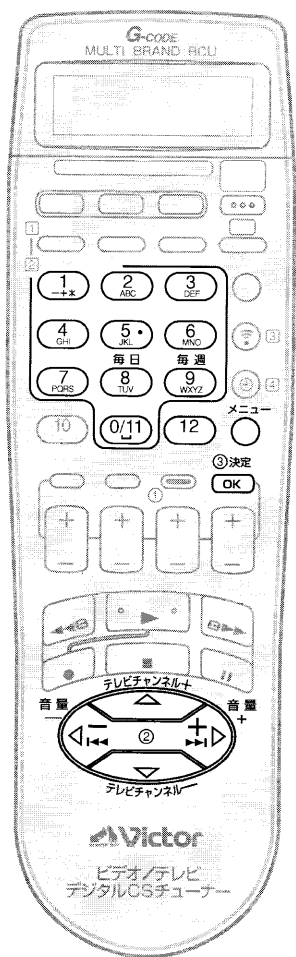
放送局を個別に設定する

本機は、自動的にチャンネル設定をするほかに、お客様ご自身で放送局を登録することができます。
次のようなときにお使いいただけます。

- 地域番号表にお住まいの地域番号が掲載されていないとき
- お住まいの地域に新しい放送局が開局したとき
- 「一括チャンネル合わせ」で受信できない放送局があったとき
- CATV 放送のチャンネルを受信できるようにしたいとき

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

設定例： CATV 放送の 16 チャンネル（C16 チャンネル：本機での表示は「66 チャンネル」）を本機の表示チャンネル「7」で見られるように設定する

本機に表示されるCATV放送の受信チャンネルの番号と実際のCATV放送のチャンネルの番号の違いについては、「主な仕様」（P.84）をご覧ください。

1 ＜メニュー＞を押す

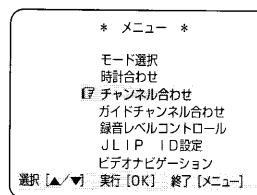
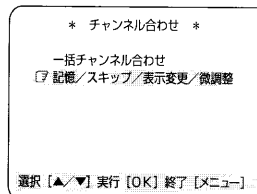
2 ＜▽＞を押し、「チャンネル合わせ」を選ぶ

3 ＜OK＞または＜▷＞を押す

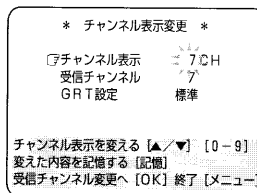
```
＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
☞チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］
```

4 ＜▽＞を押し、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選ぶ

5 ＜OK＞または＜▷＞を押す

```
＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
☞記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］
```

6 ＜OK＞または＜▷＞を 1 回押し、「チャンネル表示変更」画面を表示させる

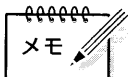
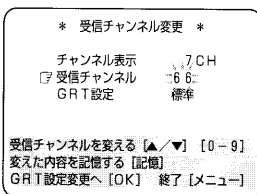
7 ＜△/▽＞を押し、「チャンネル表示」の番号を「7」に設定し、＜OK＞または＜▷＞を押す

```
＊ チャンネル表示変更 ＊
☞チャンネル表示    7CH
受信チャンネル      7
GRT設定           標準
チャンネル表示を変える［▲/▼］［0－9］
変えた内容を記憶する［記憶］
受信チャンネル変更へ［OK］ 終了［メニュー］
```

8 ＜△/▽＞を押し、「受信チャンネル」の番号を「66」に設定する

9 ＜1 2＞（記憶）を押す

10 ＜メニュー＞を押し、操作を終了する

```
＊ 受信チャンネル変更 ＊
チャンネル表示      7CH
☞受信チャンネル    66
GRT設定           標準
受信チャンネルを変える［▲/▼］［0－9］
変えた内容を記憶する［記憶］
GRT設定変更へ［OK］ 終了［メニュー］
```

メモ

チャンネル合わせ画面の切換

- 手順4のあとで、＜OK＞または＜▷＞を押すたびに、次の画面がテレビに表示されます。
  「チャンネル表示変更」画面→「受信チャンネル変更」画面→「GRT設定変更」画面→「チャンネル微調整」画面→「チャンネル記憶/スキップ」画面
  変更する必要のない項目があるときは、そのまま＜OK＞を押し、次の項目を設定してください。

設定が終わったら

- 必ずガイドチャンネルも設定してください。(P.37)

受信状態が良くないとき

- 「映りの悪いチャンネルを微調整する」を行ってください。(P.22、24～25)

数字ボタンを使って入力するとき

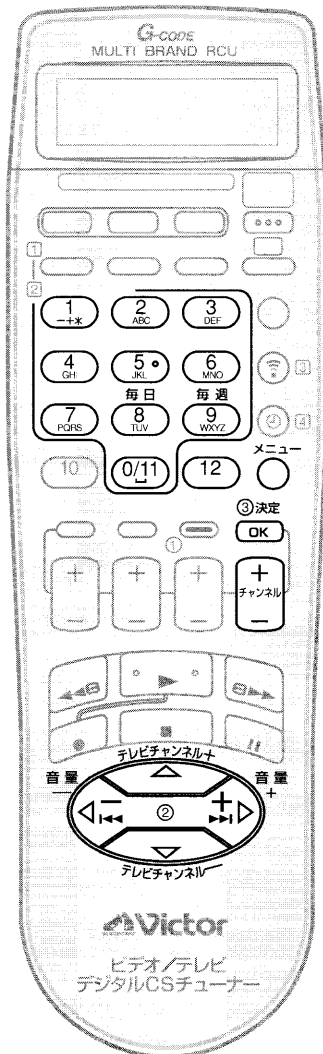
- チャンネル表示や受信チャンネルを変更するときは、数字ボタン＜1＞～＜9＞、＜0/11＞を使うこともできます。
  例:「66」を入力するには、＜6＞を2回押す。
  例:「10」を入力するには、＜1＞、＜0/11＞の順で押す。

受信チャンネルを設定する（つづき）

映りの悪いチャンネルを微調整する

映像の色がうすくて見づらいときや画面にしま模様が出るときは、受信チャンネルを微調整してください。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

設定例： 映りの悪い１チャンネルを微調整するとき

1 ＜チャンネル＞または＜１＞を押し、１チャンネルを選ぶ

ヒント
- 映像を見ながら以下の調整を行います。

2 ＜メニュー＞を押す

3 ＜▽＞を押し、「チャンネル合わせ」を選ぶ

4 ＜ＯＫ＞または＜▷＞を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
☞ チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
ＪＬＩＰ ＩＤ設定
ビデオナビゲーション
選択［▲／▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

5 ＜▽＞を押し、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選ぶ

6 ＜ＯＫ＞または＜▷＞を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
☞ 記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲／▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

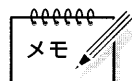
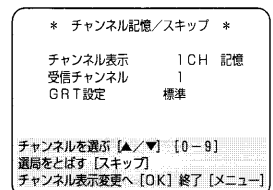
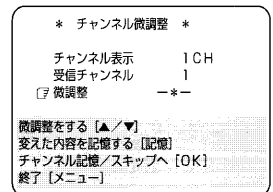
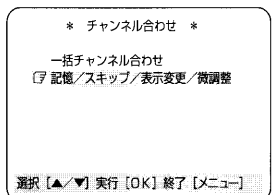
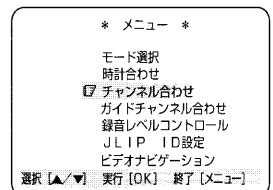
7 ＜ＯＫ＞または＜▷＞を４回押し、「チャンネル微調整」画面を表示させ、＜△/▽＞を押しながら、映りの最も良いところをさがす

＊ チャンネル微調整 ＊
チャンネル表示 １ＣＨ
受信チャンネル １
☞ 微調整 －＊－
微調整をする［▲／▼］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル記憶／スキップへ［OK］
終了［メニュー］

8 ＜12＞（記憶）を押し、変更を記憶させる

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示 １ＣＨ 記憶
受信チャンネル １
ＧＲＴ設定 標準
チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［スキップ］
チャンネル表示変更へ［OK］ 終了［メニュー］

9 ＜メニュー＞を押し、操作を終了する

メモ

数字ボタンでチャンネルを選ぶとき
- １ リモコン切換の＜ビデオ＞を押す。
  ２ 数字ボタン＜1＞～＜9＞、＜0/11＞を押す。
  例：4チャンネルを選ぶときは＜4＞を押す。
  例：10チャンネルを選ぶときは＜1＞、＜0/11＞の順で続けて押す。

設定画面を出すとき
- 手順6のあとで、＜OK＞または＜▷＞を押すたびに、次の画面がテレビに表示されます。
  「チャンネル表示変更」画面→「受信チャンネル変更」画面→「GRT設定変更」画面
  「チャンネル微調整」画面→「チャンネル記憶/スキップ」画面

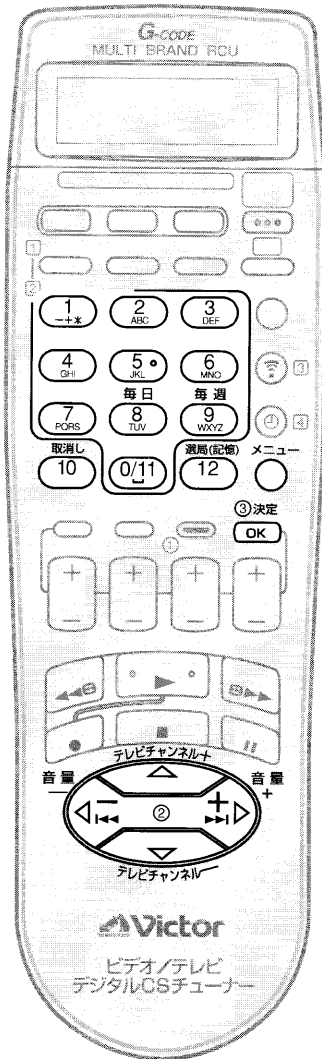
受信チャンネルを設定する（つづき）

不要な放送局を受信できないようにする

不要な放送局や調整しても映りが悪くて見られない放送局などを、登録したチャンネルから削除（チャンネルスキップ）します。
削除した放送局をもう１度登録するときは、「放送局を個別に設定する」（P.21）をご覧ください。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

設定例：CATV放送の16チャンネル（C16チャンネル：本機での表示は「66チャンネル」）を受信できないようにする

ヒント 本機に表示されるCATV放送の受信チャンネル番号と実際のCATV放送のチャンネル番号の違いについては、「主な仕様」（P.74）をご覧ください。

1 ＜メニュー＞を押す

2 ＜▽＞を押し、「チャンネル合わせ」を選ぶ

3 ＜OK＞または＜▷＞を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

4 ＜▽＞を押し、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選ぶ

5 ＜OK＞または＜▷＞を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

6 ＜△/▽＞を押し、不要な放送局を選ぶ

- テレビ画面には、選んだチャンネルの映像が、「チャンネル記憶／スキップ」画１と重なって映ります。

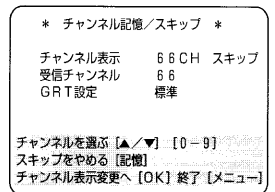
＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示　66CH　スキップ
受信チャンネル　66
GRT設定　標準
チャンネルを選ぶ［▲/▼］［0－9］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［OK］ 終了［メニュー］

例：現在受信している放送局が66チャンネルのとき

7 ＜10＞（取消し）を押す

ヒント
- 他にも放送局をスキップしたいときは、手順４～６を繰り返してスキップします。
- 間違ってスキップしたときは、＜12＞（記憶）を押します。

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示　66CH　スキップ
受信チャンネル　66
GRT設定　標準
チャンネルを選ぶ［▲/▼］［0－9］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［OK］ 終了［メニュー］

8 ＜メニュー＞を押し、操作を終了する

受信チャンネルを設定する（つづき）

ゴーストによる映りの悪いチャンネルを微調整する

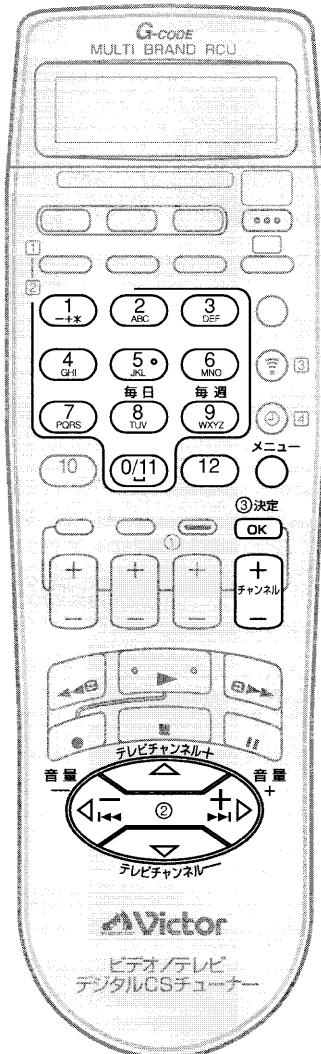
ゴーストについて

- テレビの電波には、放送局からの電波を直接家庭のアンテナが受信したもの(直接波)と、山や建物などに反射してから受信したもの(反射波)とがあります。直接波に比べ反射波のほうは少し遅れて受信するため、人物などが二重三重になってテレビに映ります。これをゴーストといいます。
  - 人物などが二重三重に見える
  - 人物などがにじんで見える
  - 色や明るさがおかしい
  - 画面にかげのような縦線が見える

  などがありますが、本機は放送局から映像信号などと共に送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号(GCR信号)に基づいて、ゴーストを低減するゴースト・リダクション・チューナーを搭載し、受信したチャンネルには自動的にゴースト低減機能が働くようになっています。

- BSチャンネルでは「GRT調整」は使えません。BS放送は、BSアンテナに衛星からの電波が直接届くのでゴースト現象は起こりません。BSチャンネルの映りが悪いときは、風などの影響により、BSアンテナの向きが変わったことが原因として考えられます。このときは、BSアンテナの方向をもう1度調節し直してください。(P.17)

本機のチューナーにはゴースト低減機能があり、受信チャンネルごとにゴーストを低減するように設定されていますが、受信状況によっては（電波が強すぎたり、弱すぎたりするとき）受信映像がザラついてみえたり、画面の明るさがチラチラ変わったりすることがあります。このような受信チャンネルについては、ゴースト低減機能の設定を変えると効果があります。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

<△/▽>または数字ボタンを押し、映りの悪いチャンネルを選ぶ

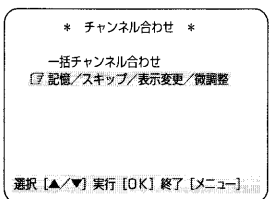
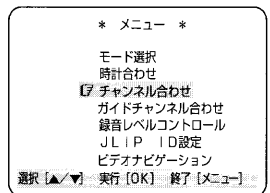
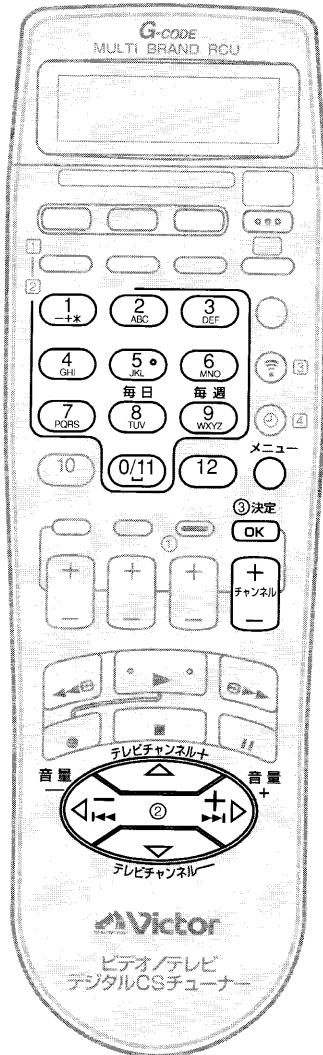
ヒント
- 映像を見ながら以下の調整を行います。

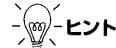
<メニュー>を押す

<▽>を押し、「チャンネル合わせ」を選ぶ

< OK >または<▷>を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
☞ チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

<△/▽>で「記憶/スキップ/表示変更/微調整」に合わせて<OK>または<▷>を押す

受信チャンネルを設定する（つづき）

6 < OK >または<▷>を 3 回押し、「GRT 設定変更」画面で設定を変える

ヒント

- <△／▽>を押すたびに「切」、「標準」、「標準＋ＮＲ」の順に切り換わります。

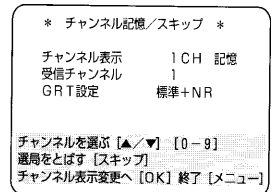
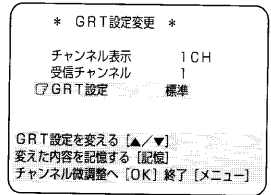
標準: 通常はこの設定でお使いください。
標準＋ＮＲ: 画面のざらつきが気になるときにお使いください。
ＮＲはノイズ・リダクションの略です。
切: 受信状態が悪く、「標準」や「標準＋ＮＲ」よりも「切」のほうが見やすいときにお使いください。

※お買い上げ時の設定は、「標準」になっています。

7 <12>（記憶）を押し、変更を記憶させる

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示 1CH 記憶
受信チャンネル 1
GRT設定 標準＋NR
チャンネルを選ぶ [▲／▼] [0－9]
選局をとばす [スキップ]
チャンネル表示変更へ [OK] 終了 [メニュー]

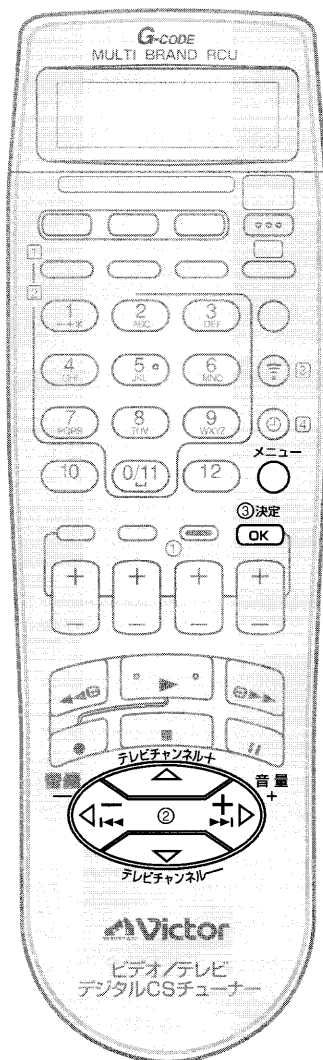
8 <メニュー>を押し、操作を終了する

メモ

ゴースト低減機能について

- 次のような場合はゴーストが除去されないことがあります。
  - アンテナが正しく設置・調整されていないとき（室内アンテナなど）
  - 過大なゴーストがあるとき
  - 飛行機などの反射により変化しているゴースト
  - 放送電波にGCR信号が無いとき（BS番組など）
- チャンネルを切り換えたり電源を入れ直した後など、ゴーストの初期測定中は一時的にゴーストが増える（色や明るさがおかしい）場合があります。

メニューの構成と使いかた

本機は、画面に表示したメニューから設定を変えることができます。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 <メニュー>を押す

ヒント
- もう１度、<メニュー>を押すとメニューが消えます。設定途中で押してしまったら、そのときの設定が記憶されます。

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
ＪＬＩＰ ＩＤ設定
ビデオナビゲーション
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

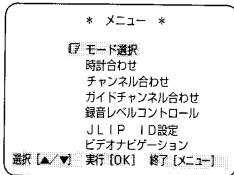
2 <△/▽>を押し、設定したい項目を選ぶ

3 <ＯＫ>または<▷>を押すと、設定したい項目の画面が表示される

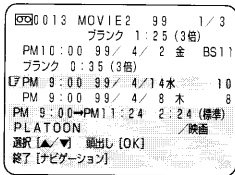
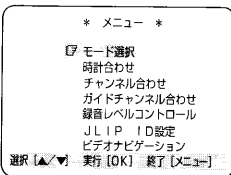
4 <メニュー>を押し、操作を終了する

メニューの構成と使いかた（つづき）

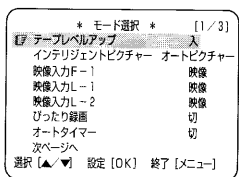
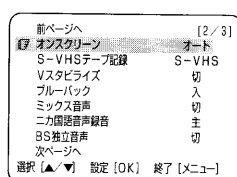
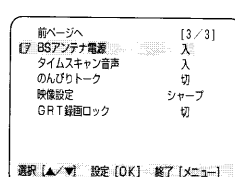
メニューマップ

■ メニュー画面

<メニュー>を押すと、最初に表示される設定画面

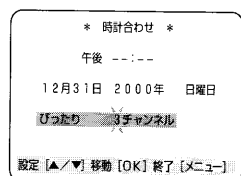
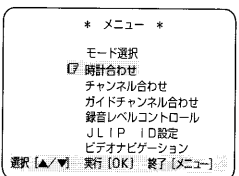
- モード選択（P.29～31）
- 時計合わせ（P.19）
- チャンネル合わせ（P.20～25）
- ガイドチャンネル合わせ（P.37）
- 録音レベルコントロール（P.62）
- JLIP ID 設定（P.20）
- ビデオナビゲーション（P.51～59）

●ビデオナビゲーション画面(P.51～59)(本機で録画された番組情報から、見たい番組を再生したりテープ情報の整理ができる)

■ メニュー画面

モード選択画面で設定できる項目

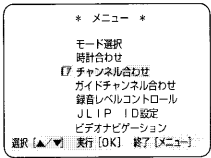
- 1枚目　テープレベルアップ/インテリジェントピクチャー/映像入力F-1/映像入力L-1/映像入力L-2/ぴったり録画/オートタイマー
- 2枚目　オンスクリーン/S-VHSテープ記録/Vスタビライズ/ブルーバック/ミックス音声/二ケ国語音声録音/BS独立音声
- 3枚目　BSアンテナ電源/タイムスキャン音声/のんびりトーク/映像設定/GRT録画ロック

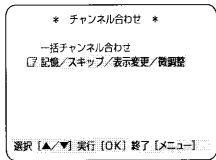
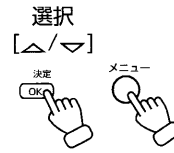
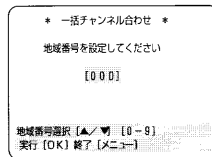
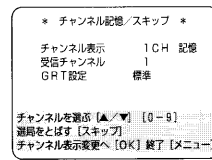
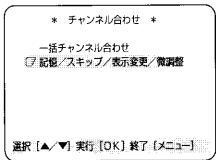
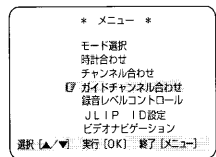
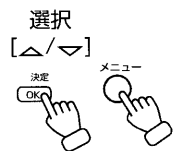
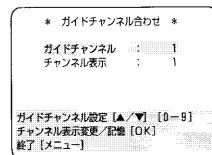
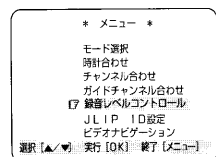
●モード選択画面(P.29～31)

1枚目

2枚目

3枚目

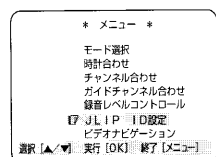
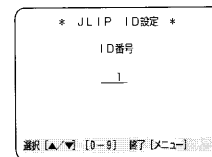
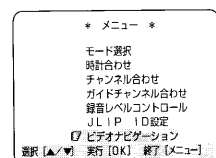
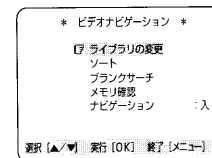
■ メニュー画面

●時計合わせ画面(P.19)(日付と時刻を設定する)

メニューの構成と使いかた（つづき）

メニューマップ（つづき）

■ メニュー画面

チャンネル合わせ画面で設定できる項目
- 一括チャンネル合わせ
  お住まいの地域コードを入力するだけでチャンネル設定ができます。
- 受信チャンネルの記憶や不要な放送局のスキップ、チャンネル表示の変更、微調整をします。

● チャンネル合わせ画面

● 一括チャンネル合わせ（P.20）

● 記憶／スキップ／表示変更／GRT 設定／微調整（P.21 ～ 25）

■ メニュー画面

●ガイドチャンネル合わせ画面(P.37)(Gコード録画する為に必要なガイドチャンネルの設定をする)

■ メニュー画面

●録画レベルコントロール画面(P.62)(音声の録音レベルを調整する)

■ メニュー画面

●JLIP ID 設定画面(P.20)(JLIPのID番号を設定するときに使う)

■ メニュー画面

●ビデオナビゲーション画面(P.51)(録画された番組の検索をしたいときに使う)

モード選択の設定

メニューの「モード選択」は、画質調整やオンスクリーンの表示内容などを決めるときに使います。設定の内容と**お買い上げ時の状態（太字で表示）**を説明します。

お買い上げ時の選択画面

テープレベルアップ よりよい画質で録画･再生したいときに使います。

入: テープの特性に合わせ最適な画質で録画・再生するとき

切: この機能を使用しないとき

インテリジェントピクチャー 再生する映像に合わせて、画質を変更したいときに使います。

オートピクチャー: 通常はこの状態で使う

スタンダード: 「テープレベルアップ」が「入」のときは、「オートピクチャー」と表示する
「切」のときは「スタンダード」と表示する

ダビング: ダビングするとき

ソフト: レンタルビデオなどでノイズがめだつとき

アニメ: アニメーションなどを再生するとき

映像入力 F-1 外部（ビデオカメラなど）からの映像入力を前面の映像端子に接続するときに使います。

映像: 前面の映像端子(F-1)を使うとき

S 映像: 前面のＳ映像端子(F-1)を使うとき

映像入力 L-1 外部からの映像入力を背面の映像端子に接続するときに使います。

映像: 背面の映像端子（L-1）を使うとき

S 映像: 背面のＳ映像端子（L-1）を使うとき

映像入力 L-2 外部からの映像入力を背面の映像端子に接続するときに使います。

映像: 背面の映像端子（L-2）を使うとき

S 映像: 背面のＳ映像端子（L-2）を使うとき

ぴったり録画 録画予約実行中に、テープ残量に合わせて録画スピードを変え、録画切れを防ぎます。

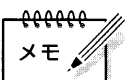
入: 「SP（標準)」で録画予約された番組を録画中にテープが足りなくなると、途中で自動的に「EP(3倍)」に切り換わり、録画切れを防ぐ。

切: この機能を使用しないとき

オートタイマー タイマー予約スタンバイにする操作方法の設定をします。

入: ＜電源＞を押すことで、タイマー予約スタンバイに入る。

切: ＜タイマー＞（◷）を押すことで、タイマー予約スタンバイに入る。

メモ

- 変更した設定は、停電があったり、コンセントから電源プラグを抜いたりしたときは、お買い上げ時の設定に戻ります。

モード選択の設定（つづき）

お買い上げ時の選択画面
（2 枚目の画面）

前ページへ	[2／3]
☞ オンスクリーン	オート
S－VHSテープ記録	S－VHS
Vスタビライズ	切
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
BS独立音声	切
次ページへ	
選択 [▲／▼]　設定 [OK]　終了 [メニュー]	

オンスクリーン　テレビ画面に、操作内容やカウンターなどの表示の有無を設定できます。

オート: ビデオ操作時に、操作内容を５秒間表示します。

入: 常時カウンター（または残量／時計）を表示する場合。

切: ビデオの操作内容をテレビ画面に表示しない場合。

S-VHS テープ記録　S-VHS テープが挿入されたとき、S-VHS 画質での録画か、常にVHS画質で録画するかを設定します。

S-VHS: S-VHS 録画する設定

VHS: 常に VHS 録画する設定

V スタビライズ　テープ再生中に映像が上下に揺れるとき、揺れを止めます。

切: 通常は「切」に設定

入: 再生画面が上下に揺れるとき

ブルーバック　放送のないチャンネルの受信中にテレビ画面を青くするかしないかの設定をします。

入: 放送のないチャンネルの受信中にテレビ画面を青色にするとき

切: 電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するとき

ミックス音声　ノーマル音声とハイファイ・ステレオ音声を混合して再生したいときに設定します。

切: 通常は「切」に設定

入: ノーマル音声とハイファイ音声を混合して再生するとき

二カ国語音声録音　二重音声放送を録画するときに、録音される音声を選択できます。

主: 二重音声放送の主音声だけを録音するとき

主＊副: 二重音声放送の主音声と副音声の両方を録音するとき

BS 独立音声　BS放送の独立音声を聞きたいときに設定します。

切: 通常は「切」に設定

入: BS 放送の独立音声を聞きたいとき

メモ

- 変更した設定は、停電があったり、電源プラグを抜いたりしたときは、お買い上げ時の設定に戻ります。

モード選択の設定（つづき）

お買い上げ時の選択画面
（3枚目の画面）

前ページへ	[3／3]
BSアンテナ電源	入
タイムスキャン音声	入
のんびりトーク	切
映像設定	シャープ
GRT録画ロック	切

選択［▲／▼］　設定［OK］　終了［メニュー］

BSアンテナ電源　本機に接続されたBSアンテナに電源を供給するか、しないかの設定をします。

切: 電源を供給しないとき
入: 電源を供給するとき

タイムスキャン音声　再生中のタイムスキャンをするときに、音声を出力するかしないかの設定をします。

入： タイムスキャン中に音声を出力するとき
切： タイムスキャン中に音声を出力しないとき

のんびりトーク　テレビを見ているときや、録画再生時の音声をゆっくり聞きたいときに使います。

切： この機能を使わないとき
入： この機能を使うとき

映像設定　本機で再生する映像の画質を設定します。

シャープ: テープの再生画像を、より鮮明にしたいとき
ノーマル: テープに記録された状態で再生するとき

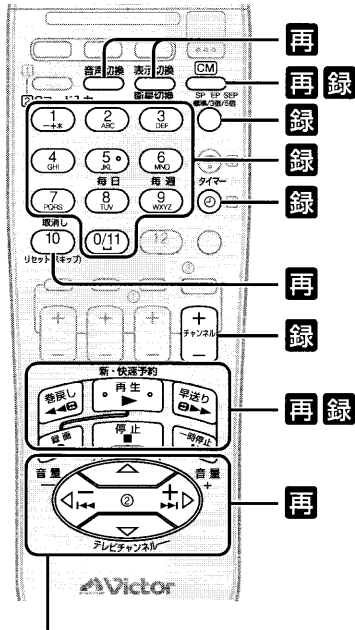
GRT録画ロック　録画中にゴーストを低減した状態をロックし、安定した状態で録画出来ます。

入: 録画開始から、およそ1分間、受信チャンネルのゴースト状態を測定し、GRTがロックされ、ゴーストの低減された安定した画像が録画される
切: この機能を使用しないとき

メモ

- 変更した設定は、停電があったり、電源プラグを抜いたりした場合、お買い上げ時の設定に戻ります。
ただし、「BSアンテナ電源」の設定は記憶されます。

再生・録画中に使えるリモコンボタンの操作

- 本体とリモコンにある同じマークや名前のボタンは、同じ働きをします。
- リモコンの液晶表示窓に「VTR A」または「VTR B」を表示させて操作します。

再生中に、このボタンでも再生スピードを変えることができます。(P.50)

再生中

操作	ボタン	説明
CM を飛ばす		(P.67)
副音声を聞く（二か国語放送など）		(P.61)
テープ残量を表示させる		押すたびに表示が切り換わります。 残量表示→時計表示→カウンター→残量表示
カウンターを「0:00:00」にする		
再生を止める		
静止画再生にする		くり返し押すとコマ送りになります。 <再生>（▶）で再生に戻ります。
スロー再生する		2 秒以上押し続ける
テープを早送りする	停止	押して 早送り を押す
テープを巻戻しする	停止	押して 巻戻し を押す
映像を見ながら早送りする		押す（⏩ 機能） <再生>（▶）で再生に戻ります。
映像を見ながら巻戻しする		押す（⏪ 機能） <再生>（▶）で再生に戻ります。

録画設定

操作	ボタン	説明
録画するチャンネルを選ぶ		本体の<チャンネル+/−>やリモコンの数字ボタンでも選べます。
録画スピードを設定する		押すたびに本体表示窓の表示と録画スピードが「SP(標準)」と「EP(3倍)」に切り換わります。 「SP(標準)」: 画質重視のとき 「EP(3倍)」: 3倍長く録画するとき 「SEP（5倍)」: S-VHSテープで5倍長く録画するとき
CM を飛ばして録画する		押すたびにオートCMカットの「入/切」が切り換わります。
	タイマー	録画予約をした後に押すと録画待機状態になります。 再度・押すと解除されます。

録画中

操作	ボタン	説明
録画を止める		
録画を一時停止する		<再生>（▶）で録画に戻ります。
テープを早送りする		押して 早送り を押す
テープを巻戻しする	停止	押して 巻戻し を押す

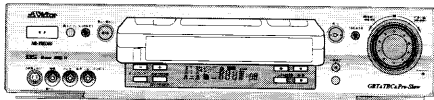
ヒント **録画スピード**

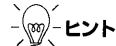
- VHS テープが挿入されているとき：録画スピードはSP(標準) EP(3倍)に切り換わります。
- S-VHSテープが挿入され，モード設定のS-VHSテープ記録設定がVHS記録のとき：
  録画スピードはSP（標準）とEP（3倍）に切り換わります。
- S-VHSテープが挿入され，モード設定のS-VHSテープ記録設定がS-VHS記録のとき：
  録画スピードはSP（標準)、EP（3倍）とSEP（5倍）に切り換えられます。

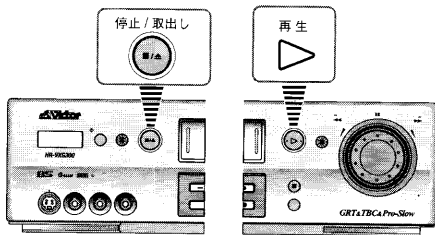
再生中やテープを見終わったとき 用途に合わせてお使いください。

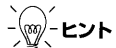
操作	方法	用途
テープをくり返し再生する（リピート再生機能）	再生 を5秒以上押し続けると、本体表示窓の[▷]が点滅して再生を100回くり返します。	店頭やイベントでの再生などにお使いください。 録画スピードがSEP（5倍）で記録されたテープは、リピート再生できません。
テープを巻戻して再生する	巻戻し を押して2秒以内に 再生 を押す	途中まで見たテープを見直すときなどにお使いください。
テープを巻戻して電源を切る	巻戻し を押して2秒以内に 電源 を押す	テープを見終わって、お休みになるときなどにお使いください。
テープを巻き戻して録画予約待機状態にする	巻戻し を押して2秒以内に ⊙ を押す	録画予約機能と合わせてお使いください。

ビデオを見る

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」(P.10～32)をご覧ください。
- 本体とリモコンにある同じマークや名前のボタンは、どちらも同じ働きをします。
- テレビの電源を入れて外部入力を選んで、本機からの映像をテレビ画面に映します。
- 本機でビデオを見る前に、メニュー画面内の「モード選択」設定で、再生する画質を選べる「映像設定」ができます。(P. 31)

1

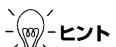
カセットを入れる

ヒント

- 電源が入っていないときには自動的に電源が入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」にリセットされます。
- ビデオナビゲーションの設定が「入」のとき、つめのあるテープを入れるとビデオナビゲーション機能が働いて、画面にメッセージが表示されます。詳しくは「見たい番組を頭出しする」(P.52)をご覧ください。

2

再生(►)を押す

ヒント

- ツメのないカセットを入れると自動的に再生を始めます。
- 再生中には、リモコンを使っていろいろな操作ができます。(P. 32)

3

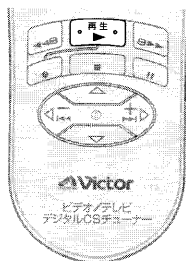
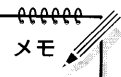
<停止/取出し>を押し、カセットを取り出す

ヒント

- テープの再生中に本体の停止ボタンを1回押すと再生が停止し、もう1回押すとテープが取り出せます。

4

<電源>を押し、電源を切る

ふだんの使いかた

メモ

- 最適な画質で再生する。
- テープを再生すると、オートトラッキング機能が働き、トラッキングを調整します。
- レンタルテープや他のビデオデッキで録画したテープを再生するときは、「インテリジェントピクチャー」で設定を切り換え、より良い画質再生の設定をお選び下さい。
- メニューの「モード設定」にある「テープレベルアップ」が「入」のときに、本機が再生するテープの品質レベルを自動的に測定して、最適な画質で再生することができます。この機能をお使いになるには、「モード選択の設定」(P.29)をご覧ください。

再生中の動作について

- 再生中や早送り中にテープが終わると、テープは自動的に巻戻されます。
- メニューの「オートピクチャー」が「入」になっているときは、再生するテープに合わせて、最適な映像をお楽しみいただけます。

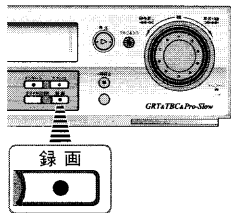
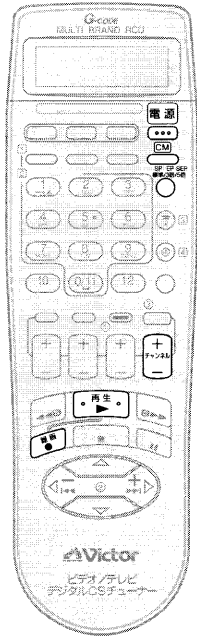
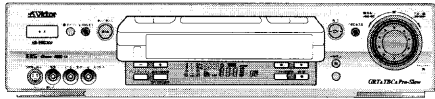
テープの再生中に、映像が上下に揺れるとき

- メニューのモード選択で「Vスタビライズ」(ビデオスタビライザー)を「入」にしてください。(P. 30)
  映像の上下の揺れが補正されます。(スロー再生中には効果がありません。)
- テープを見終わったあとは、必ず「Vスタビライズ」を「切」に戻してください。

S-VHS ETで録画されたテープについて

- S-VHS ETで録画されたテープは、S-VHSビデオデッキやS-VHS簡易再生機能(SQPB)のあるビデオデッキでも再生できますが、1部の機種では再生できないことがあります。

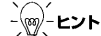
ビデオで録画する

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画·録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

1 カセットを入れる

ヒント
- 電源が入っていないときには自動的に電源が入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」にリセットされます。
- ビデオナビゲーションの設定が「入」のとき、つめのあるテープを入れるとビデオナビゲーション機能が働いて、画面にメッセージが表示されます。詳しくは「ビデオナビゲーション機能」(P. 51 ~ 59) をご覧ください。

2 本体またはリモコンで録画の設定をする (P. 32)

3 (本体)<録画> (●) を押す
(リモコン)<録画> (●) と<再生> (►) を同時に押す

4 (本体)<停止/取出し> (■/▲) を押し、カセットを取り出す

ヒント
- <停止/取出し>は録画中に1回押すと停止し、もう1回押すとテープが取り出せます。

本機で5倍モード記録されたテープは、本機で再生してください。

5倍モード 5倍モードが使用できるのは、S-VHS 記録時のみです。VHS 記録および S-VHS ET 記録時は、5倍モードを使用できません。録画スピードの SEP (5倍) を選択することもできません。また、S-VHS 本来の画質は得られません。

ジョグリテイク機能

録画中に本体のジョグダイヤルを使って、「録画した不要な部分(CM等)」をカットした後、続けて録画できます。

録画済の番組	不要な部分(CM等)	新しく録画する部分

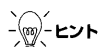
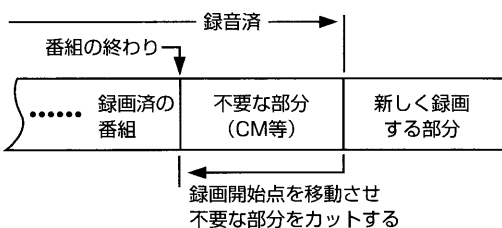
(図:録音済 / 番組の終わり / 録画開始点を移動させ不要な部分をカットする)

1 録画中に<一時停止>を押す

2 ジョグダイヤルを左方向へまわし、番組の終わり(不要な部分の頭の部分)を探す

3 番組の終わりを探した後、ジョグダイヤルから手を離す(録画一時停止状態になる)

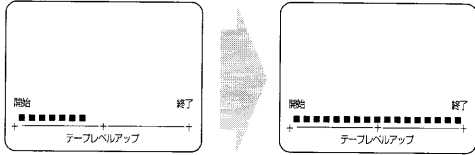
4 新しく録画する場面で<再生>を押す

5 録画が終了したら、<停止/取出し>を押す

ヒント
- 録画スピードが、SEP(5倍)に設定されているとき、ジョグリテイク機能は働きません。

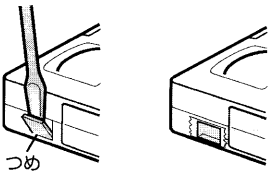
巻戻し(または早送り)ボタンでも操作できます。 • 録画一時停止状態から、巻戻し(または早送り)ボタンを押し続けると、正逆1倍速でテープを再生します。 • 頭出ししたい場面で手を離すと、録画一時停止状態になります。 • 録画したい場面で再生ボタンを押すと、録画を始めます。

ビデオで録画する（つづき）

最適な画質で録画する

メニューの「モード設定」にある「テープレベルアップ」が「入」のときは本機が録画するテープの品質レベルを自動的に測定して、最適な画質で録画することができます。この機能をお使いになるには、「モード選択の設定」（P.29）をご覧ください。

約７秒後、テープの品質レベルの測定が終了すると録画が開始されます。

誤消去を防止するために

大切な記録を誤って消したくないときは、つめ（誤消去防止用）を折って取り除いてください。セロハンテープを二重に貼って穴をふさぐとふたたび録画できます。

録画するときの動作

「モード設定」の「テープレベルアップ」を「入」にしたら、録画するカセットを入れ、通常の録画の手順を行ってください。
録画が始まると、テレビ画面にテープレベルアップの確認状態が表示されます。この画面が表示されているときに、テープに最も良い状態で録画するための品質レベルを測定しています。測定が行われるのは、次のようなときです。

- カセットを入れた後、初めて録画するとき
- 録画スピードを変えたとき(「SP（標準）」と「EP（３倍）」または「SEP（５倍）」のときに、それぞれ１回測定します)

「モード設定」の「オンスクリーン」が「切」のときは、この画面は表示されません。(P. 30)
ビデオナビゲーション（P. 51）のテープ情報検索中に録画すると、テープレベルアップは行われません。

- テープの品質レベルを測定中は、<一時停止>（ ❚❚ ）は働きません。
- レンタルテープや他のビデオデッキで録画したテープを再生するときは、「テープレベルアップ」の「入／切」を切り換えてみて、よりよい画質で再生される方の設定でお使いください。

番組の始めから録画したいとき

1　<一時停止>（ ❚❚ ）と<録画>（ ● ）を同時に押す
　本機は録画待機状態になり、テープの品質レベルを測定します。
2　録画したい番組が始まったら、<再生>（ ▶ ）を押す
　録画が始まります。

ふだんの使いかた

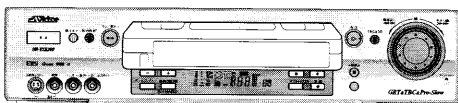
録画予約をする

次の**２つの方法でテレビ番組を録画予約**することができます。

Ｇコード録画予約：簡単な録画の予約方法です。新聞のテレビ欄などに記載されている８桁までの番号（Ｇコード）を入力して録画を予約します。

ヒント
- Ｇコードを使って録画を予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。ガイドチャンネルの設定をご確認ください。（P. 37）
- Ｇコードを使って予約した番組は、**日付、録画開始時刻、チャンネルの変更はできません。**
- Ｇコードを使って予約した番組がタイマーのかけ忘れなどで**実行されなかったとき設定した予約は自動的に削除されます。**

新・快速録画予約：**録画したい番組の開始時間、終了時間、チャンネルなどの情報を入力し録画を予約します。**

- 本体とリモコン上の同じマークや名前のボタンは、どちらも同じ働きをします。
- リモコンの液晶表示窓に「VTR A」または「VTR B」を表示させて操作します。
- テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。
- 本体の操作は、Ｇコード録画予約も新・快速録画予約も同じですが、リモコンでの予約操作が異なります。

1 カセットを入れる

ヒント
- 電源が入っていないときには自動的に電源が入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」にリセットされます。
- ビデオナビゲーションの設定が「入」のとき、つめのあるテープを入れるとビデオナビゲーション機能が働き、画面にメッセージが表示されます。詳しくは「見たい番組を頭出しする」（P. 52）をご覧ください。

2 リモコンで予約の設定をする

- Ｇコード録画予約をするときには（P. 39）
- 新・快速録画予約をするときには（P. 40）

録画予約をする（つづき）

オーバーラッププログラム警告機能(録画予約が重複したときにお知らせします。)

- タイマー予約を設定したときに、録画開始時間や終了時間、チャンネルなどが重複していると希望通りの録画が実行されないことがあります。
  本機には、予約しようとする内容が、すでに設定されている録画予約内容と重複している(録画開始時間、録画終了時間など)ときにお知らせし、修正できる機能があります。

ヒント 予約時間が重複したまま録画すると次のように録画されます。

- 同じ日の同じ時間に２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

- 同じ日に録画時間が重なる２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

- 同じ日の同じ時間帯に２つのチャンネルの番組を予約してしまったとき

10:00　11:00　12:00
予約番号1　1ch
予約番号2　4ch
録画開始時刻の早いほうが優先されるので録画されません

ワンタッチタイマー機能について

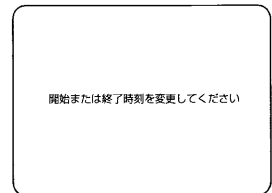
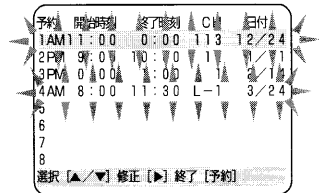
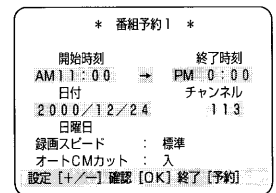
- 録画中に急な外出などでお出かけになるときは、本体の<録画>(●)を押すと、押した回数により30分単位で最長６時間まで録画終了時間を設定できます。設定された時間になると自動的に録画が終了して電源が切れます。また、録画中にテープが終わりまでくると自動的にテープが出ます。

ぴったり録画の録画スピードについて

- 「ぴったり録画」(P. 29)が「入」になっていると、録画スピードが「SP(標準)」に設定されていても実際の録画は「EP(3倍)」で録画されることがあります。S-VHSテープの場合、「SEP(5倍)」で録画されることはありません。
  また、録画の途中で録画スピードが変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。

予約が重複しているときに、プログラムを修正することができます。

1 予約が重複していると、右の画面が表示される

開始または終了時刻を変更してください

2 予約の確認画面が表示され、録画予約しようとしている番組と、以前登録された重複している番組が点滅表示される

3 <△/▽>で修正したい録画予約にカーソルを合わせ<OK>または<▷>を押すと、選んだ録画予約が表示され、本体表示には「P：1」と予約番号が表示される

4 表示された予約内容の開始時刻、終了時刻や録画日など、必要な部分を修正する(修正の手順は「新・快速録画予約をする」の手順２から手順７と同じ)

5 修正された録画予約内容は、重複していないか自動的に判定され、重複している時は再び点滅表示する
重複していない時は修正した内容で登録されるので<予約>または<タイマー>を押し、予約を終了する

Gコード録画予約の準備をする

Gコード録画

- Gコードは、「テレビ番組欄」の各番組の末尾に付いている最大8桁までの数字です。「Gコード」には、日付、時間、チャンネルなどの番組ごとに設定された必要な情報がコード化されて入っています。このGコードを使い簡単に録画予約ができます。

準備　－ガイドチャンネルを設定する－

Gコード録画予約は、ガイドチャンネルが設定されていないとできません。
本機では、「受信チャンネルを設定する（一括チャンネル合わせ）」（P. 20）で、地域番号を入力すると、自動的にガイドチャンネルも設定されますが、次のようなときは、ガイドチャンネルを正しく設定してください。

- 受信チャンネルの設定（一括チャンネル合わせ）（P. 20）のあと、放送局を追加したとき
- 受信チャンネルの設定（個別チャンネル合わせ）（P. 21）をしたとき
- チャンネル表示を変更したいとき

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

設定例： テレビ神奈川（42チャンネル）のチャンネル表示番号を7チャンネルに変えるとき

1 ＜メニュー＞を押す

2 ＜▽＞を押し、「ガイドチャンネル合わせ」を選ぶ

3 ＜OK＞または＜▷＞を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択［▲/▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

4 ＜△/▽＞を押し、設定したい放送局のガイドチャンネル番号を選ぶ

- この例では、「42」を表示させる。「ガイドチャンネル一覧表」（P. 38）をご覧ください。

5 ＜OK＞または＜▷＞を押す

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
ガイドチャンネル ： 42
チャンネル表示 ：
ガイドチャンネル設定［▲/▼］［0－9］
チャンネル表示変更/記憶［OK］
終了［メニュー］

6 ＜△/▽＞を押し、設定したい放送局のチャンネル表示番号を選ぶ

7 ＜OK＞を押し、変更を確定する

- 他にもガイドチャンネルを設定したい放送局があるときには、4～7をくり返し設定する。

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
ガイドチャンネル ： 42
チャンネル表示 ： 7
チャンネル表示設定［▲/▼］［0－9］
ガイドチャンネル変更/記憶［OK］
終了［メニュー］

8 ＜メニュー＞を押し、操作を終了する

メモ

ガイドチャンネルとは

- Gコード録画予約で放送局を正しく受信するために付けられたその放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。

数字ボタンを使うには

- ガイドチャンネルやチャンネル表示を変更するときは、数字ボタンを使うこともできます。
  例:「10」を入力するには、＜1＞、＜0/11＞の順で押す。
  例:「102」を入力するには、＜1＞、＜0/11＞、＜2＞の順で押す。

－Gコードインフォのガイドチャンネルを設定する－

Gコードインフォとは、近い将来始められる放送（「0」から始まるGコードが使われます。）です。その放送をGコードを使って録画予約するために、ガイドチャンネル設定をします。
同一ネットワーク内の放送局には、すべて同じガイドチャンネルが割り当てられます。録画予約の方法はGコード録画と同じです。**ただし、Gコードインフォのサービスが始まるまで使用できません。**

上記手順5の後で、

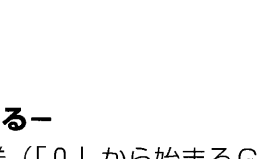
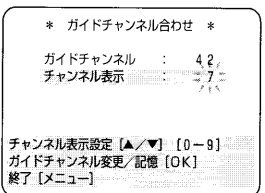
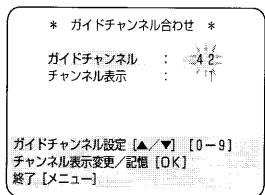
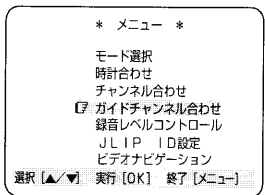
6 ＜△／▽＞又は数字ボタンを押し、「102」～「106」（ガイドチャンネルは3桁）を選ぶ（画面が、「Gコードインフォチャンネル合わせ」に変わる。）

＊ Gコードインフォチャンネル合わせ ＊
インフォチャンネル：
チャンネル表示 ： 12
インフォチャンネル設定［▲/▼］［0－9］
チャンネル表示変更/記憶［OK］
終了［メニュー］

7 希望する放送局のガイドチャンネル（下記参照）を入力し＜OK＞を押し、確定する

8 ＜メニュー＞を押し、操作を終了する

Gコードインフォのガイドチャンネル

TBSテレビ系	日本テレビ系	フジテレビ系	テレビ朝日系	テレビ東京系
102	103	104	105	106

ふだんの使いかた

ガイドチャンネル一覧表

区分	放送局	チャンネル
全国共通	NHK総合	80
	NHK教育	90
	BS1	71
	BS3	72
	BS5 WOWOW	73
	BS7 NHK衛星第1	74
	BS9 ハイビジョン放送	75
	BS11 NHK衛星第2	76
	BS13	77
	BS15	78

区分	放送局	チャンネル
CATV/CS放送	日本テレビケーブルニュース	40
	CSN1ムービーチャンネル	49
	チャンネルNECO	50
	ゴルフネットワーク	51
	CNN	81
	MTV	82
	スター・チャンネル	83
	スペースシャワーTV	84
	スポーツ・アイ	85
	衛星劇場	86
	GAORA(ガオラ)	87
	ホームチャンネル	88
	スカイ・A	89
	BBC	91
	ファミリー劇場	92
	スーパーチャンネル	93
	ザ・ゴルフ・チャンネル	94
	朝日ニュースター	99

●北海道・東北

地域	放送局	チャンネル
北海道	北海道放送(HBC)	1
	札幌テレビ(STV)	5
	テレビ北海道(TVH)	17
	北海道文化(UHB)	27
	北海道テレビ(HTB)	35
青森	青森放送(RAB)	1
	青森朝日(ABA)	34
	青森テレビ(ATV)	38
岩手	岩手放送(IBC)	6
	岩手朝日(IAT)	20
	めんこい(MIT)	33
	テレビ岩手(TVI)	35
秋田	秋田放送(ABS)	11
	秋田朝日(AAB)	31
	秋田テレビ(AKT)	37
宮城	東北放送(TBC)	1
	仙台放送(OX)	12
	東日本放送(KHB)	32
	宮城テレビ(MMT)	34
山形	山形放送(YBC)	10
	さくらんぼテレビ(SAY)	30
	テレビユー山形(TUY)	36
	山形テレビ(YTS)	38
福島	福島テレビ(FTV)	11
	テレビユー福島(TUF)	31
	福島中央(FCT)	33
	福島放送(KFB)	35

●関東・甲信越

地域	放送局	チャンネル
関東	日本テレビ(NTV)	4
	TBSテレビ(TBS)	6
	フジテレビ(CX)	8
	テレビ朝日(ANB)	10
	テレビ東京(TX)	12
	東京メトロポリタン(MXテレビ)	14
	放送大学	16
	テレビ埼玉(TVS)	38
	テレビ神奈川(TVK)	42
	千葉テレビ(CTC)	46
	群馬テレビ(GTV)	48
	とちぎテレビ(TTV)	23
新潟	新潟放送(BSN)	5
	新潟テレビ21(NT21)	21
	テレビ新潟(TNN)	29
	新潟総合(NST)	35
長野	信越放送(SBC)	11
	長野朝日(ABN)	20
	テレビ信州(TSB)	30
	長野放送(NBS)	38
山梨	山梨放送(YBS)	5
	テレビ山梨(UTY)	37

●中部

地域	放送局	チャンネル
静岡	静岡放送(SBS)	11
	静岡第一(SDT)	31
	静岡朝日テレビ(SATV)	33
	テレビ静岡(SUT)	35
中京	東海テレビ(THK)	1
	中部日本放送(CBC)	5
	名古屋テレビ(NBN)	11
	テレビ愛知(TVA)	25
	三重テレビ(MTV)	33
	中京テレビ(CTV)	35
	岐阜放送(GBS)	37
富山	北日本放送(KNB)	1
	チューリップTV(TUT)	32
	富山テレビ(T34)	34
石川	北陸放送(MRO)	6
	北陸朝日(HAB)	25
	テレビ金沢(KTK)	33
	石川テレビ(ITC)	37
福井	福井放送(FBC)	11
	福井テレビ(FTB)	39

●関西・中国

地域	放送局	チャンネル
関西	毎日放送(MBS)	4
	朝日放送(ABC)	6
	関西テレビ(KTV)	8
	読売テレビ(YTV)	10
	テレビ大阪(TVO)	19
	テレビ和歌山(WTV)	30
	びわ湖放送(BBC)	30
	京都テレビ(KBS)	34
	サンテレビ(SUN)	36
	奈良テレビ(TVN)	55
岡山	西日本放送(RNC)	9
	山陽放送(RSK)	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送(KSB)	33
	岡山放送(OHK)	35
広島	中国放送(RCC)	4
	広島テレビ(HTV)	12
	テレビ新広島(TSS)	31
	広島ホーム(HOME)	35
鳥取島根	日本海テレビ(NKT)	1
	山陰放送(BSS)	10
	山陰中央(TSK)	34
山口	山口放送(KRY)	11
	山口朝日(YAB)	28
	テレビ山口(TYS)	38

●四国

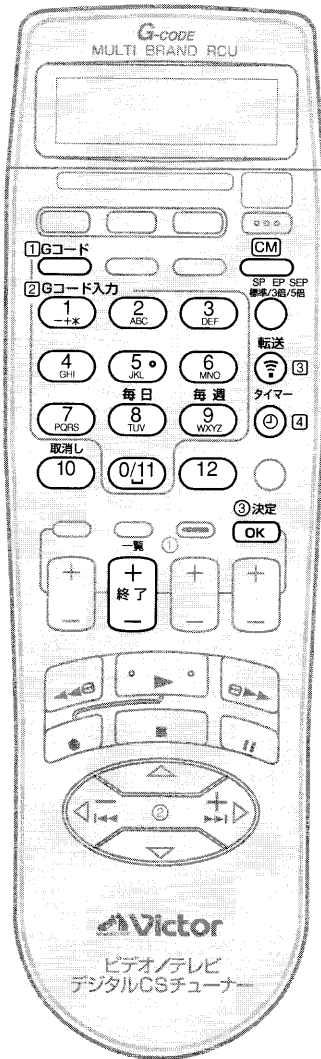
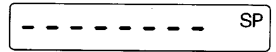
地域	放送局	チャンネル
香川	西日本放送(RNC)	9
	山陽放送(RSK)	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送(KSB)	33
	岡山放送(OHK)	35
愛媛	南海放送(RNB)	10
	あいテレビ(ITV)	29
	愛媛放送(EBC)	37
徳島	四国放送(JRT)	1
高知	高知放送(RKC)	8
	テレビ高知(KUTV)	38
	さんさんテレビ(KSS)	40

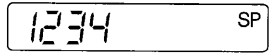
●九州

地域	放送局	チャンネル
福岡	九州朝日(KBC)	1
	RKB毎日(RKB)	4
	テレビ西日本(TNC)	9
	TXN九州(TVQ)	19
	福岡放送(FBS)	37
大分	大分放送(OBS)	5
	大分朝日(OAB)	24
	テレビ大分(TOS)	36
佐賀	サガテレビ(STS)	36
長崎	長崎放送(NBC)	5
	長崎国際(NIB)	25
	長崎文化(NCC)	27
	テレビ長崎(KTN)	37
熊本	熊本放送(RKK)	11
	熊本朝日(KAB)	16
	熊本県民(KKT)	22
	テレビ熊本(TKU)	34
宮崎	宮崎放送(MRT)	10
	テレビ宮崎(UMK)	35
鹿児島	南日本放送(MBC)	1
	鹿児島読売テレビ(KYT)	30
	鹿児島放送(KKB)	32
	鹿児島テレビ(KTS)	38
沖縄	沖縄テレビ(OTV)	8
	琉球放送(RBC)	10
	琉球朝日(QAB)	28

Gコード録画予約をする

ヒント

- オートCMカットは、録画スピードがSEP（5倍）のときは設定できません。

1 ＜Gコード＞を押し、Gコードで録画予約を設定する

2 数字ボタンを押し、Gコード(番組予約番号)を入力する

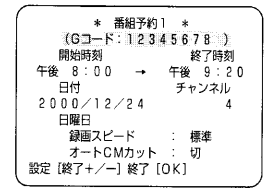
1234 SP

ヒント

- 数字の0を入力するときは＜0/11＞を押します。
- 番号を間違えたときは＜10＞（取消し）を押します。
- 入力途中で予約をやめるには＜Gコード＞を押します。

3 ＜転送＞を押し、Gコードを本機へ転送する

4 テレビ画面に確認画面が表示される

ヒント

- 転送時に本体表示窓に「Err」と表示されたとき
  - 番組の開始時刻を過ぎていないか
  - Gコードが正しいか（Gコードを入力し直してください）
  - ガイドチャンネルの設定がされているか（P.37）

5 録画に必要な設定（録画スピード/オートCMカットなど）をする（P.42）

6 ＜OK＞または＜▷＞を押し、予約を終了する

ヒント

- 続けて他の番組を予約するときは、手順1から6をくり返します。
- 予約内容が重複しているときには、画面に「開始または終了時刻を変更してください」、本体表示窓に「Err」と表示されて、修正する画面に切り換わります。「オーバーラッププログラム警告機能」（P.35）をご覧ください。

7 ＜タイマー＞を押すと、表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます（録画待機状態）

ヒント

- ツメのないテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- 録画開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり電源が切れます。
- 別の録画が予約されているときには、表示窓の「◴」が点灯し続けます。
- 本体の＜タイマー＞でも操作できます。

メモ

液晶表示窓の録画スピード「SP(標準)」「EP(3倍)」「SEP(5倍)」

- スピードの表示は、お買い上げ時はSPが、ご使用後は最後に予約設定した録画スピードが表示されます。

録画スピードの設定は

- 録画スピードのSP、EP、SEPの設定は、Gコードの転送前、転送後でも設定できます。

Gコード録画予約のときの注意

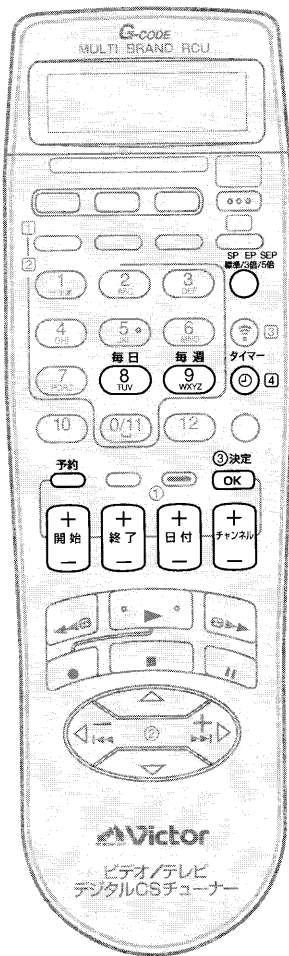
- Gコードで録画予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 「ぴったり録画」(P.29)を「入」に設定すると、録画スピードをSPに設定していても、録画実行中にテープ残量が少なくなったとき、自動的にEPに切り換わって録画されることがあります。このとき録画スピードの変わり目では映像が乱れます。
- 録画チャンネルがBSまたは、外部入力(「L-1」、「L-2」、「F-1」)のときは、「オートCMカット」の設定はできません。

予約のときの注意

- すでに予約が8番組登録されていると＜転送＞を押したときに、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。

5倍モード録画

録画スピードのSEP（5倍）は、S-VHSテープを入れたときだけ使用できます。VHSテープでSEP（5倍）モードの予約設定をしたときには、本体表示窓に「EP」の点滅でお知らせします。テープをS-VHSテープに入れ換えるか、SEP（5倍）の設定を変更してください。VHSテープで5倍モード予約をすると、強制的にEP（3倍）で録画されますので、テープの残量不足にご注意ください。

新・快速録画予約をする

1 <予約>を押し、「番組予約」画面を表示する

2 <開始>を押し、録画の開始時刻を設定する

3 <終了>を押し、録画の終了時刻を設定する

ヒント
- 押すたびに、録画開始/終了時刻が1分単位で変わります。
- 押し続けると30分単位で変わります。

4 <日付>を押し、録画日を設定する

ヒント
- 押すたびに、日付が1日単位で変わります。
- 西暦が来年の表示をしたときは、<日付+>を1回押すと、今年の西暦になります。

5 <チャンネル>または数字ボタンを押し、チャンネルを選ぶ

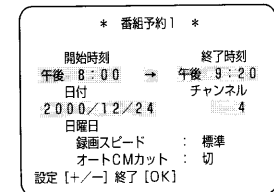
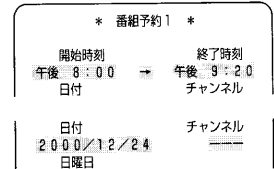
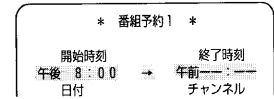
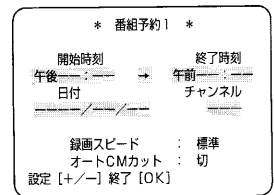
ヒント
- 本体前面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「F-1」を表示させます。
- 本体背面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「L-1」または「L-2」を表示させます。

6 必要に応じて録画に必要な設定(毎日/毎週/録画スピードなど)(P.42)をする

7 < OK >を押し、予約を終了する

ヒント
- 「番組予約を完了しました」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。
- 続けて、他の番組を予約するときは、手順1から7をくり返します。
- 予約内容が重複しているときには、画面に「開始または終了時刻を変更してください」、本体表示窓は「Err」と表示されて、修正する画面に切り換わります。「オーバーラッププログラム警告機能」(P.35)をご覧ください。

8 <タイマー>(◴)を押し、本機を録画待機の状態にする

ヒント
- 表示窓の「◴」が点灯し、電源が切れます。(録画待機状態)
- ツメのないテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。

ヒント
- **GRT録画ロックを「入」にしたときは** (P. 72)
  モード選択画面のGRT録画ロックを「入」に設定したときは、録画が開始されてから、およそ1分間は、ゴーストの状態を測定するので、画像が一時的に乱れることがあります。タイマー予約の時も「GRT録画ロック」が働くので、あらかじめ数分早めに録画開始時間を設定することをおすすめします。
- **途中で中断したいときは**
  開始時刻〜チャンネルまでの入力を止め< OK >を押すと通常画面に戻ります。
- **設定の途中で予約をやめるときは**
  入力の途中で<予約>を押します。

メモ

予約のときの注意
- すでに予約が8予約分登録されていると、<予約>を押したときに、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。

録画予約のときの注意
- 「ぴったり録画」(P.29)を「入」に設定すると、録画スピードを「SP(標準)」に設定していても、録画実行中にテープ残量が少なくなったとき、自動的に「EP(3倍)」に切り換わって録画されることがあります。このとき録画スピードの変わり目では映像が乱れます。
- 録画チャンネルがＢＳまたは外部入力(「L-1」、「L-2」、「F-1」)のときは、「オートCMカット」の設定はできません。

5倍モード録画
録画スピードの「SEP(5倍)」は、S-ＶＨＳテープを入れたときだけ使用できます。ＶＨＳテープでSEP(5倍)モードの予約設定をしたときは、本体表示窓に「EP」の点滅でお知らせします。テープをS-ＶＨＳテープに入れ換えるか、SEP(5倍)の設定を変更してください。VHSテープで5倍モード予約をすると、強制的にEP(3倍)で録画されますので、テープが足りなくなることにご注意ください。

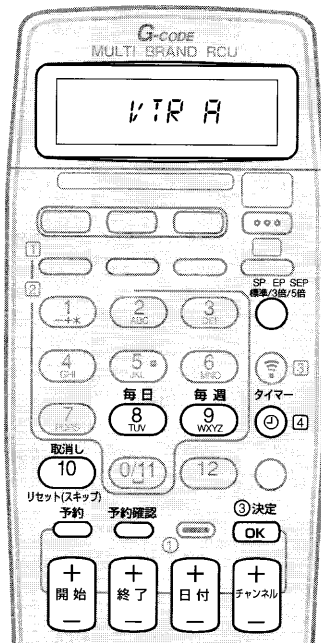
予約を確認する

本機ではモード選択画面内の「オートタイマー」の設定により、録画予約の解除方法が異なります。設定に合わせて次の方法で解除してください。

- **オートタイマー「切」のとき**：リモコンの<タイマー>(◷)を押して、録画予約を解除します。解除したあとは通常の操作ができます。録画予約待機状態に戻したいときには再び<タイマー>(◷)を押します。
- **オートタイマー「入」のとき**：<電源>を押して電源を入れると、録画予約が解除されます。解除したあとは通常の操作ができます。再び<電源>を押して電源を切ると、録画予約待機状態に戻ります。

> 予約の確認、変更などで本機を使い終わったあとは
> - 録画用のテープが入っていることを確認してください。
> - 表示窓に「◷」が点灯していることを確認してください。

画面で予約を確認する

リモコンの液晶表示窓に「VTR A」または「VTR B」を表示させて操作します。

1 <予約確認>を押し、予約の確認画面を表示させる

2 <予約確認>を押すごとに、録画内容の詳細内容が表示される

ヒント

- 押すたびに、録画予約されている内容が順番に表示されます。すべてが表示されると元のテレビ画面に戻ります。
- **本機の電源が入っていなくても予約確認できます。**
  1. **<予約確認>**を押す
     本体の表示窓には「P1P8」と表示されます。
  2. **<予約確認>**を押して、確認したい予約の録画予約番号を表示させる
     予約確認を押すたびに「P：1」、「P：2」と表示されます。
  3. **< OK >**<▷>を押すと予約内容が本体表示窓に表示される
     < OK ><▷>を押すたびに、表示される内容が次の順番で切り換わります。

> 開始時刻（1100）→ 終了時刻（000）→ 日付（1230）→ チャンネル（113）→オートCMカットの入(On CM)/切(OFF CM)→ 録画予約番号(P:1)→ 開始時刻…

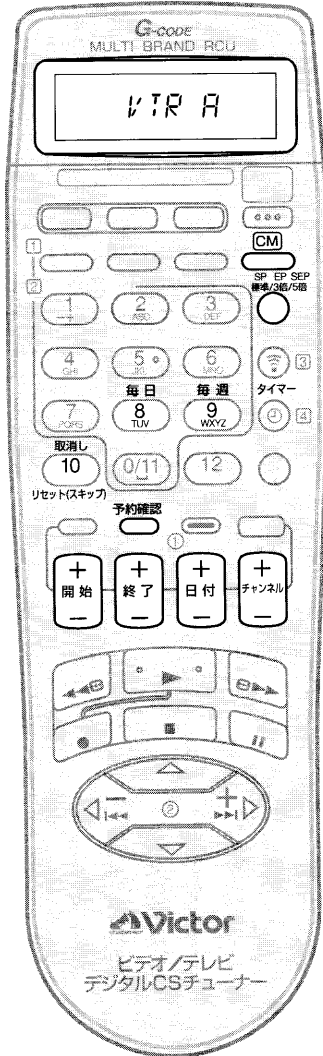
予約内容の表示から抜けるには

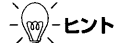
- <予約確認>を元のテレビ画面に戻るまで繰り返し押します。

「毎日」と「毎週」の確認は画面で

- 予約内容の「毎日」または「毎週」の設定は本体表示窓には表示されませんので、テレビ画面に詳細内容を表示させて確認してください。

予約の変更・取消しをする

リモコンの液晶表示窓に「VTR A」または「VTR B」を表示させて操作します。

1 <予約確認>を押し、変更したい予約内容を表示させる

ヒント

- 押すたびに予約内容が表示され、録画予約内容が予約確認と同じ手順で変更できます。

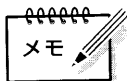
予約	開始時刻	終了時刻	CH	日付
1AM	11:00	0:00	113	12/30
2PM	9:00	10:00	12	1/ 1
3AM	0:00	1:00	1	5/ 5
4AM	8:00	11:30	L-1	5/ 8
5				
6				
7				
8				

予約修正 [予約確認]

2 内容を画面の項目別に修正する

＊ 番組予約1 ＊
開始時刻　終了時刻
AM11:00 → PM 0:00
日付　チャンネル
2000/12/30　113
土曜日
録画スピード : 標準
オートCMカット : 入
次の予約 [予約確認]

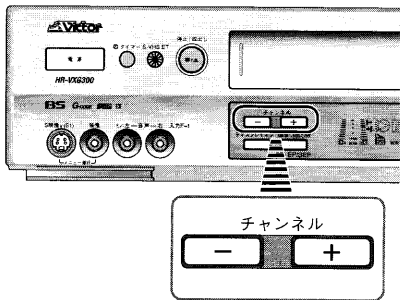
	使用ボタン	
録画スピードを変更する	SP EP SEP 標準/3倍/5倍	SP(標準)、EP(3 倍)またはSEP(5 倍)を選びます。
CMを飛ばして録画する	CM	オートCM カット機能が設定されます。(P.69)
毎週同じ番組を録画する	毎週 9	再び押すと元に戻ります。
月曜から金曜まで毎日同じ番組を録画する	毎日 8	押すたびに「毎日(月～金)」と元の曜日が切り換わります。
録画開始時刻を変更する	＋ 開始 －	押すたびに 1 分単位で変わります。押し続けると 30 分単位で変わります。
録画終了時刻を変更する	＋ 終了 －	押すたびに 1 分単位で変わります。押し続けると 30 分単位で変わります。
録画日を変更する	＋ 日付 －	押すたびに 1 日単位で変わります。
チャンネルを変更する	＋ チャンネル －	＋/－ボタンでチャンネルを変えることができます。
予約を取消す	取消し 10 リセット(スキップ)	表示されている予約内容が削除されます。

3 オートタイマーの設定に合わせて、予約待機状態にする

- タイマー予約する場合、「オートCMカット機能」は、録画スピードをSEP(5倍)に設定すると使用できません。

BS放送を見る

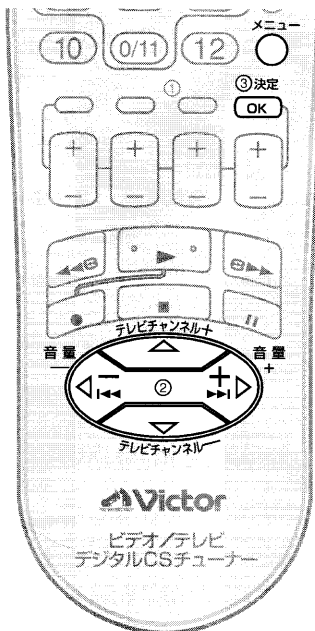
お買い上げ時には、BS 放送の 7、11 のチャンネルが映るようになっています。
BS5 チャンネルは JSB（日本衛星放送株式会社）が WOWOW を、SDAB（衛星デジタル音楽放送株式会社）が St.GIGA を有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また、専用の BS デコーダが必要になります。（P.44）
BS9 チャンネルを受信するときは、MUSE-NTSC コンバータが必要になります。（P.47）

BS 放送を見る

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 ＜電源＞を押し、電源を入れる

2 ＜チャンネル＋＞または＜チャンネル－＞を押し、ご希望の BS チャンネルを選ぶ

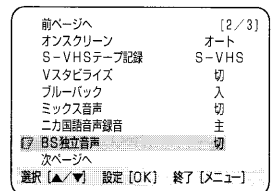
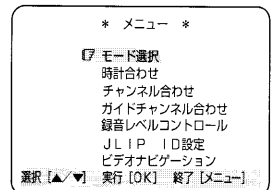
3 ＜電源＞ボタンを押し、電源を切る

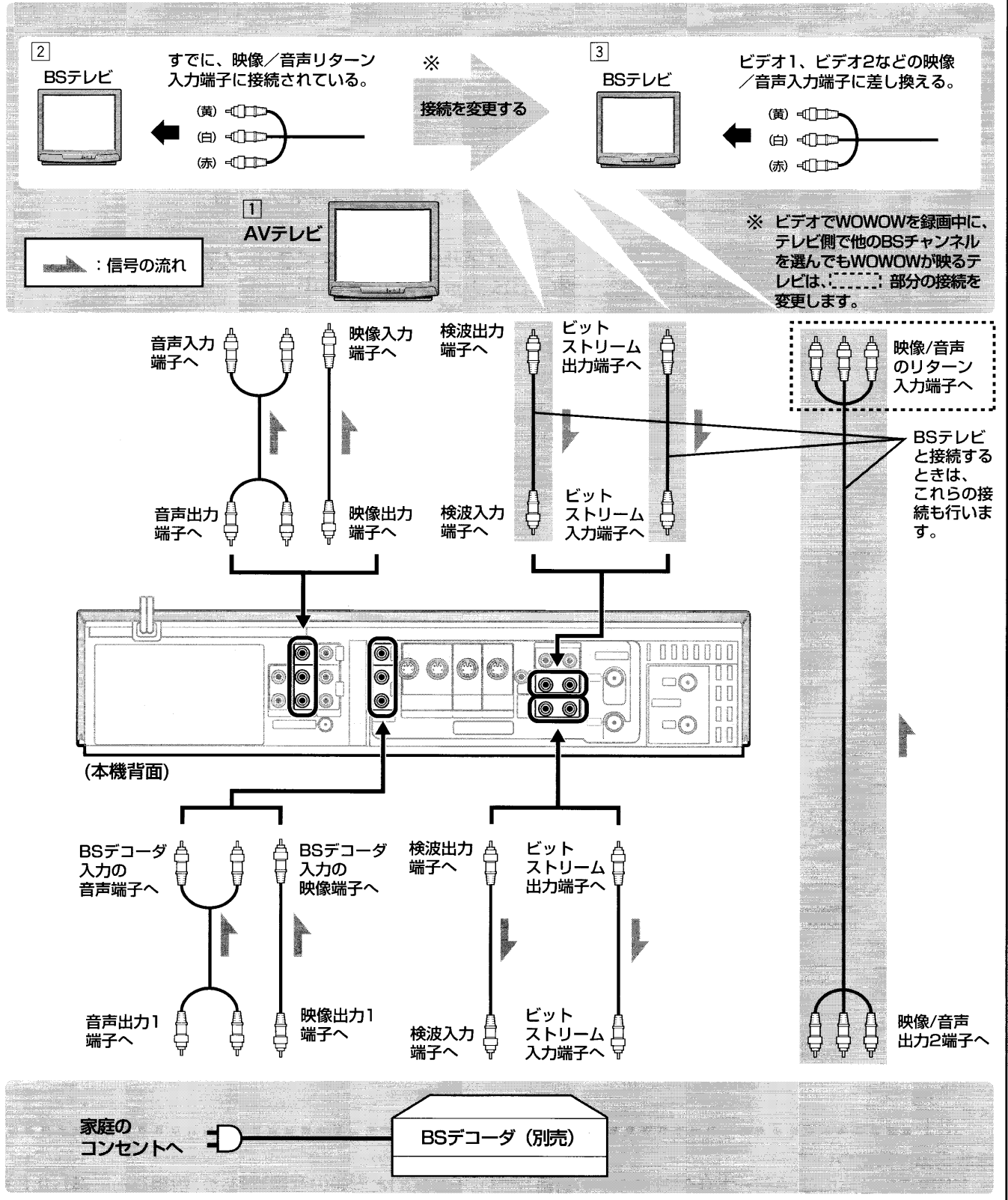
BS 放送の独立音声を聞く（放送受信中に操作します）

1 ＜メニュー＞を押す

2 ＜▽＞を押し、「モード選択」を選ぶ

3 ＜OK＞または＜▷＞を押し、モード選択画面の２ページ目を表示させ、＜△/▽＞を押し、「BS 独立音声」を選ぶ

4 ＜OK＞または＜▷＞を押し、設定を「入」に変更する
- 独立音声が聞こえるようになります。

5 ＜メニュー＞を押し、設定を終了する

BS放送の音声について
- BS放送の音声には、Aモード（FM放送以上の音質）とBモード（CDと同等の音質）があり、番組ごとに適した音声で放送されています。Aモード放送のときは、番組（映像）の内容に合った音声以外に、番組と全く関係のない独立音声を放送することができます。BS5チャンネルはおもにAモードで放送されており、WOWOWの音声はテレビ音声、St.GIGAは独立音声で放送されています。
- BSデコーダを接続してお使いのときは、P.45の操作方法もあわせてご覧ください。
- 独立音声を聞き終わったあとは、「BS独立音声」を「切」に戻してください。
- St.GIGAなどのBS有料放送の独立音声を聞くときは、BSデコーダでも音声を切り換えてください。（P.45）

BSデコーダを接続する

BSデコーダを接続する（つづき）

AVテレビの場合：(左図の1の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 BSデコーダの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 テレビで「外部入力」を選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダの電源を入れる
2 BSデコーダで独立音声を選ぶ
3 本機の「モード選択」の「BS独立音声」で「入」を選ぶ(P.43)
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 テレビで「外部入力」を選ぶ
テレビ画面にはWOWOWの映像が映りますが、音声はSt.GIGAの音声になります。

WOWOWの番組を録画するときは

1 BSデコーダの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダの電源を入れる
2 BSデコーダで独立音声を選ぶ
3 本機の「モード選択」の「BS独立音声」で「入」を選ぶ(P.43)
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録音中のSt.GIGAの音声を聞くことができます。
テレビ画面にはWOWOWの映像が映ります。

BSテレビの場合：(左図の2の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 テレビとBSデコーダの電源を入れる
2 テレビでBS5チャンネルを選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダの電源を入れる
2 BSデコーダで独立音声を選ぶ
3 本機の「モード選択」の「BS独立音声」で「入」を選ぶ(P.43)
4 テレビでBS5チャンネルを選ぶ

WOWOWの番組を録画するときは

1 BSデコーダの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、BS5チャンネルを選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダの電源を入れる
2 BSデコーダで独立音声を選ぶ
3 本機の「モード選択」の「BS独立音声」で「入」を選ぶ(P.43)
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める

WOWOWやSt.GIGAを録画・録音中に、別のBS放送の番組を見るときは

1 本機とテレビ、BSデコーダの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他のBSチャンネルを選ぶ

BSテレビの場合：(左図の3の場合)

WOWOWの番組を見るときは

1 テレビとBSデコーダの電源を入れる
2 テレビでBS5チャンネルを選ぶ
3 テレビで左図の3で接続した「外部入力」を選ぶ

St.GIGAを聞くときは

1 本機とテレビ、BSデコーダの電源を入れる
2 BSデコーダで独立音声を選ぶ
3 本機の「モード選択」の「BS独立音声」で「入」を選ぶ(P.43)
4 テレビでBS5チャンネルを選ぶ
5 テレビで左図の3で接続した「外部入力」を選ぶ

WOWOWの番組を録画するときは

1 本機とBSデコーダの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める。
テレビの電源を入れて、左図の3で接続した「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGAを録音するときは

1 本機とBSデコーダの電源を入れる
2 BSデコーダで独立音声を選ぶ
3 本機の「モード選択」の「BS独立音声」で「入」を選ぶ(P.43)
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める。
テレビの電源を入れて、左図の3で接続した「外部入力」を選ぶと、録音中のSt.GIGAの放送を聞くことができます。

WOWOWやSt.GIGAを録画・録音中に、別のBS放送の番組を見るときは

1 本機とテレビ、BSデコーダの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他のBSチャンネルを選ぶ

BSデコーダの設定をする

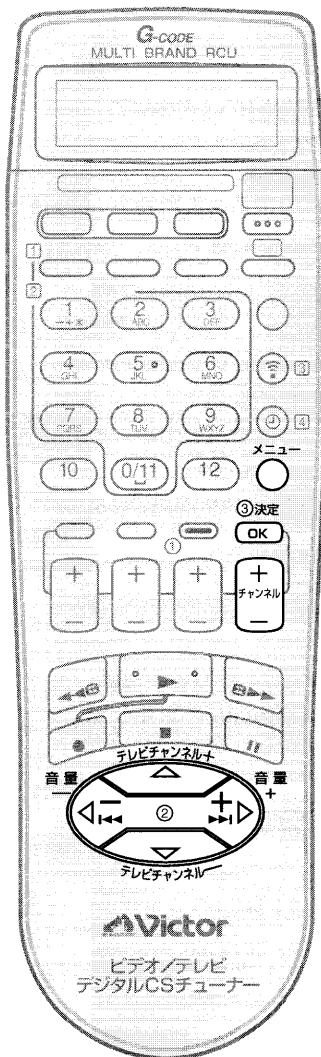
BS5チャンネルのWOWOWとSt.GIGAでは、スクランブル信号のかかった有料BS放送と、スクランブル信号のかかっていない無料放送を見ることができます。
スクランブル信号のかかった有料放送を見るためには、専用のBSデコーダが必要となります。
ここでは、本機に**BSデコーダを接続したときの設定**について説明しています。

この設定は、BS放送受信時に「BSチャンネル合わせ」画面から行います。

デコーダ入力（太字はお買い上げ時の設定）

オート： スクランブル信号のかかったBS放送の受信時に自動的にデコーダが機能します。
BSデコーダの電源は、スクランブル信号のかかったBS放送を見る前に入れてください。
この設定でお使いのときには、無料放送と有料放送の変わり目で音や映像が途切れることがあります。

入： デコーダからの入力を、いつも使うときに選びます。この設定にしたときBSデコーダの電源は、いつも入れておく必要があります。

 テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1. <チャンネル+ / −>を押し、BS5チャンネルを選ぶ
2. <メニュー>を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
☞ チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

3. <▽>を押し、「チャンネル合わせ」を選ぶ
4. <OK>または<▷>を押す

＊ チャンネル合わせ ＊
一括チャンネル合わせ
☞ 記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

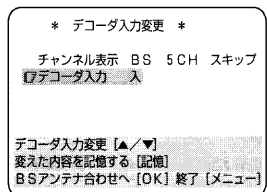
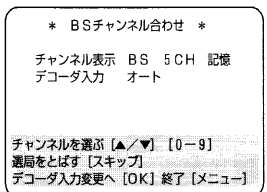
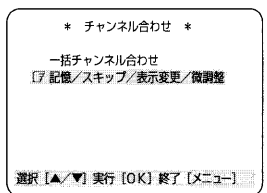
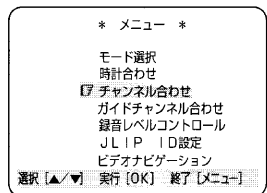
5. <▽>を押し、「記憶／スキップ／表示変更／微調整」を選び<OK>または<▷>を押す
6. <OK>または<▷>を押し、「デコーダ入力変更」を表示させる

＊ BSチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示 BS 5CH 記憶
デコーダ入力 オート
チャンネルを選ぶ [▲/▼] [0−9]
選局をとばす [スキップ]
デコーダ入力変更へ [OK] 終了 [メニュー]

7. <△>または<▽>を押し、デコーダ入力を「入」にする
8. <選局>（記憶）を押し、変更を記憶させる

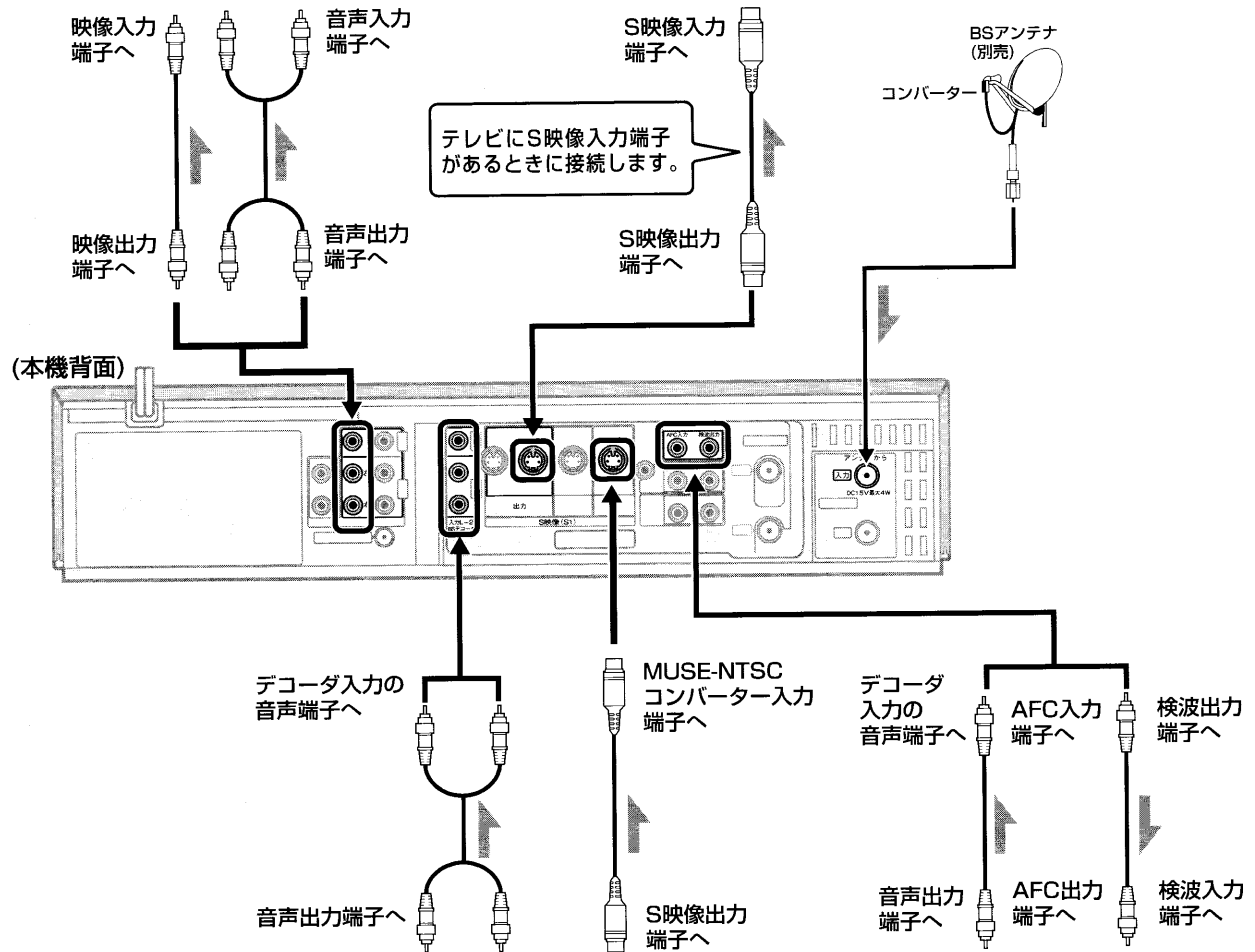
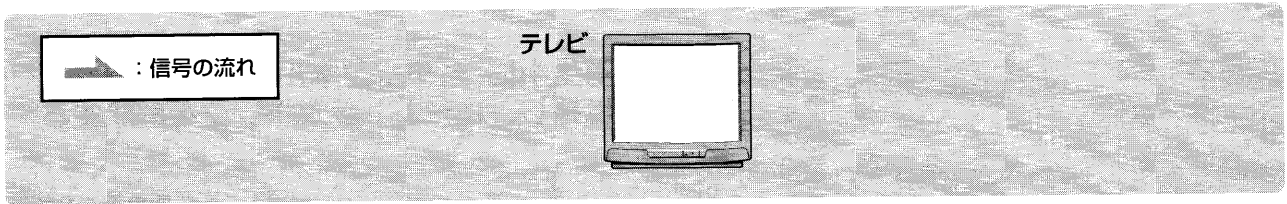
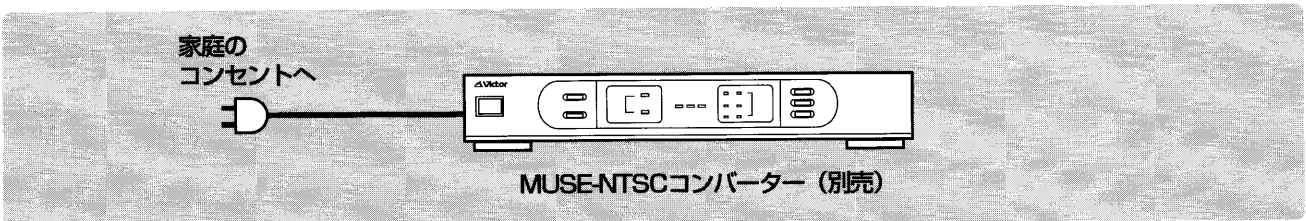
＊ デコーダ入力変更 ＊
チャンネル表示 BS 5CH スキップ
☞デコーダ入力 入
デコーダ入力変更 [▲/▼]
変えた内容を記憶する [記憶]
BSアンテナ合わせへ [OK] 終了 [メニュー]

9. <メニュー>を押し、操作を終了する

メモ

- 手順6のあとで、<OK>または<▷>を押すたびに次の画面がテレビに表示されます。
「デコーダ入力変更」画面→「BSアンテナ合わせ」画面→「BSチャンネル合わせ」画面（手順6の画面に戻ります。）

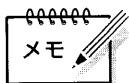
ハイビジョン放送を見る

MUSE-NTSC コンバーターを接続する

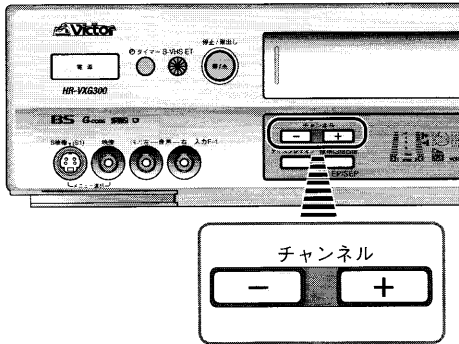
図のように、相手の機器を接続してください。

ハイビジョン放送の番組を見るときは

1 本機とMUSE-NTSC コンバーターの電源を入れる
2 本機でBS9 チャンネルを選ぶ
3 テレビで「外部入力」を選ぶ

ハイビジョン放送の番組を録画するときは

1 本機とMUSE-NTSC コンバーターの電源を入れる
2 本機でBS9 チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中のハイビジョン放送の番組を見ることができます。

- 本機のS映像入力端子及び出力端子は、S1映像信号に対応しています。

映像のちらつきを調節する

テープの再生を始めると、自動的に**オートトラッキング**が働き、トラッキングを調節します。
オートトラッキングで、映像の乱れやちらつきがとれないときは、次のマニュアルトラッキング操作をしてください。

1 テープの再生中に、<チャンネル＋>と<チャンネル−>を同時に押し、オートトラッキングを解除する

ヒント

- 同時に押すたびに、オートトラッキングの入／切が切り換わります。

2 <チャンネル＋>または<チャンネル−>を押し、画像を見ながらトラッキングを調節する

ヒント

- リモコンの<チャンネル＋／−>でも操作できます。

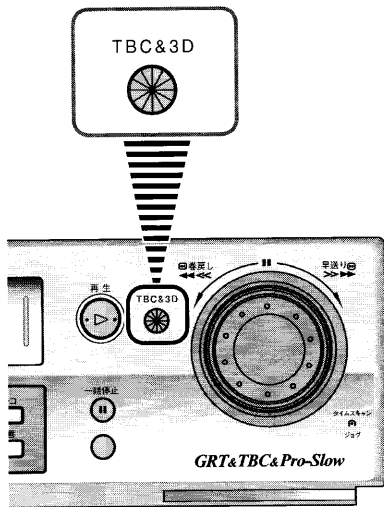
一時停止中やスロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るとき

1 静止画再生中は、**<一時停止>（II）**を２秒以上押し、スロー再生にする
2 **<チャンネル＋>**または**<チャンネル−>**を押し、調節する

オートトラッキングについて

- 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
- 一時停止中やスロー再生中の映像のちらつきは、調節しても消えないことがあります。
- お使いのテレビによっては、静止画再生中の映像の揺れを止められないことがあります。

画面の歪みを補正する（TBC & 3D）

テープの伸びや変形などでおこる**再生画像の横揺れや画面の曲がりを補正**して安定した画面で再生します。また、ビデオムービーで撮影したテープや、何度も繰り返し使用したテープを再生するとき、またダビング時に本機で再生するときなどに使います。通常お使いになるときは「入」でお使いください。

1 再生中に、＜TBC & 3D＞を押す

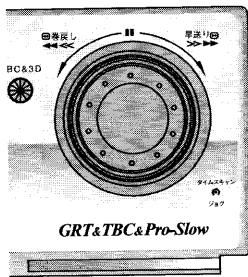
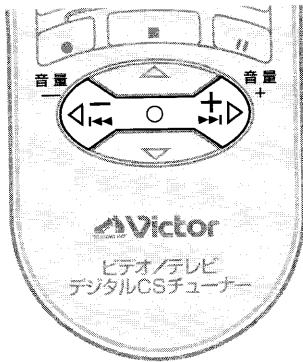
この機能が「入」の時は、ボタンが点灯します。

TBC :Time Base Corrector（タイムベースコレクター）の意味です。
3D :3Dimention（3次元ノイズリダクション）の意味です。

- 「モード選択」の「Vスタビライズ」と同時に使用できません。
- パソコンや一部のキャラクタージェネレーターを録画したテープを再生すると画面が乱れることがあります。このようなときは、TBC & 3Dを「切」にしてください。（ボタンが消灯します。）

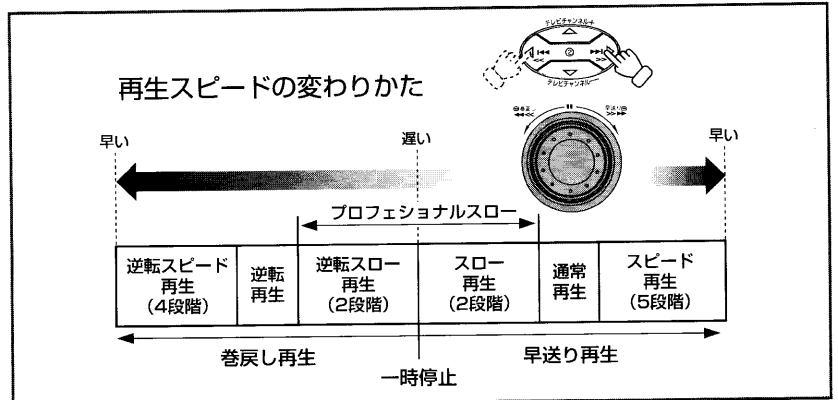
スピードを変えて再生する

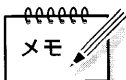
(タイムスキャン、のんびりトーク)

タイムスキャン
リモコンまたは本機のタイムスキャンリングで再生中のスピードを連続して変えることができます。

1 リモコンの<◁>または<▷>を押すか、タイムスキャンリングを回して再生スピードを変える

ヒント

- 押すたびに、再生スピードが下の表のように変わります。
  通常再生に戻すには<再生>(▶)を押します。
- 一時停止中(ポーズ状態)に<◁/▷>を押すとコマ送り再生になります。
- 録画スピードがSEP(5倍)で録画されたテープの再生スピードを変えるときは、タイムスキャンのサーチ速度とは異なり、次のように変わります。
  スピード再生:2段階(+7、+21倍速)
  逆転スピード再生:2段階(−21、−7倍速)
  スロー再生/逆転スロー再生/逆転再生:出来ません。
- タイムスキャンリングを回して再生スピードを変えるとき、リモコンでの操作にくらべて、段階が少なくなります。
- 正逆スロー再生は、動きが連続的でなめらかなプロフェッショナルスローとなります。
- スロー再生速度は、標準モードで録画したテープだけ正逆スロー共に2段階(1/2、1/3倍速)となります。3倍モードでのプロフェッショナルスローは、正逆スロー共に、1/2倍速のみとなります。
- タイムスキャン・サーチは、ご使用のテープによってはノイズがでることがあります。
- 再生スピードの変わり目にノイズがでます。

- 本体のタイムスキャンリングは、左右どちらにも回り、回した位置で固定されます。左右に回すと、クリック感があり、クリックがあるごとに再生スピードが一段ずつ変わります。
- タイムスキャンとプロフェッショナルスローはSEP(5倍)で録画されたテープを再生したときには働きません。
- 本体のジョグ・ダイヤルは、SEP(5倍)で再生したときには働きません。

再生中に音声をゆっくり聞くには(のんびりトーク)

- メニューの「モード設定」にある「のんびりトーク」を「入」に設定すると、タイムスキャン時以外の音声をゆっくり(約0.8倍速)聞くことができます。
- 映像と音声はズレます。また、音声にノイズが出ることがあります。
- 通常の音声に比べ、多少音質が変化しますが故障ではありません。
- 二か国語放送で副音声(英語など)を「のんびりトーク」で聞くことはできません。自動的に主音声(日本語など)に切り換わります。
- 「モード設定」画面の「タイムスキャン音声」の「入」、「切」(P.31)に関係なく、「のんびりトーク」が「入」になっていると、音声がゆっくり聞こえます。
- 「のんびりトーク」が「入」になっていると、録画中も音声はゆっくり聞こえますが、録音される音声は通常のスピードで録音されます。
- 実況中継などのように、音声が途切れない番組では、ゆっくり聞こえないことがあります。

- 「タイムスキャン音声」は、スロー再生、1.5倍速再生中は、すべての音声が再生されます。また、倍速以上のスピードで再生すると映像と音声にズレが生じます。
- 二か国語放送で副音声(英語など)を「タイムスキャン音声」で聞くことはできません。自動的に主音声(日本語など)に切り換わります。
- 「タイムスキャン音声」を「切」に設定すると、タイムスキャン中に音声は聞こえなくなります。
- 使用するテープによってはタイムスキャン中にノイズが出ることがあります。

再生スピードを変えたとき

- 一時停止、コマ送り、スロー再生や可変速再生中は、音声は聞こえません。
- タイムスキャンサーチやスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは、トラッキング調節を行ってください。(P.48)

ビデオナビゲーションを使う

ビデオナビゲーション機能を使って録画された番組をさがしたり、録画したテープのライブラリー情報が整理できます。

> 本機で録画すると、テープにテープ番号が付けられ、番組の情報（日付、録画開始時刻、チャンネル、録画スピード）が、本機のメモリーに記憶されます。
> テープを入れることで、「番組情報」を画面に表示して、見たい番組の頭出しができます。
> また、日付などの代わりに、テープや番組に名前を付けたり、番組にジャンルを付けることができます。この機能は、**お買い上げ時の設定が「入」**になっています。(P.59)

見たい番組が、どのテープに入っているか？

わかっている時 ⇨ テープを入れて、見たい番組を選び、頭出し再生をする。(P.52)

わかっていない時 ⇨ 本機のメモリーに記憶された３つの情報をキーにして探す。
1. テープ番号（テープに付けられた番号を大きい番号順に並べかえる）(P.53)
2. 記録日（録画された日付の新しい順に並べかえる）(P.53)
3. ジャンル（番組に付けたジャンル別に並べかえる）(P.53)

注：あらかじめ、番組にジャンルをつけておかないとジャンル検索はできません。

タイトルとして日付などをメモリーするため、本機で録画する前に、時計合わせをしてください（P.19）

ヒント

- **テープタイトルや番組タイトルに名前を付けたいとき** ⇨ **タイトル変更：**テープタイトルや番組タイトルを変更する（P. 54、55）
  ⇨ **タイトル編集：**番組のタイトルを編集する（P. 56）
- **番組にジャンルを付けたいとき** ⇨ **ジャンル変更：**番組のジャンルを変更（P. 55）
- **本機にメモリーされた番組の情報を消したいとき** ⇨ **ライブラリ変更：**番組情報を削除する（P. 57）
- **テープの空いている部分から録画したいとき** ⇨ **ブランクサーチ：**テープのブランク部分を検出する（P.58）

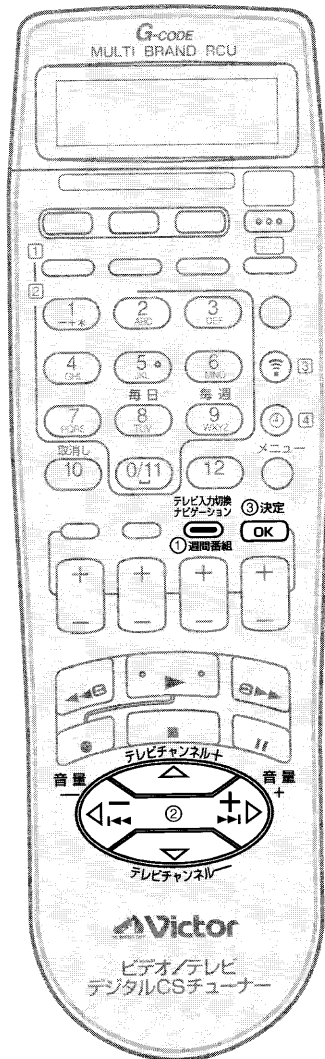
メモ

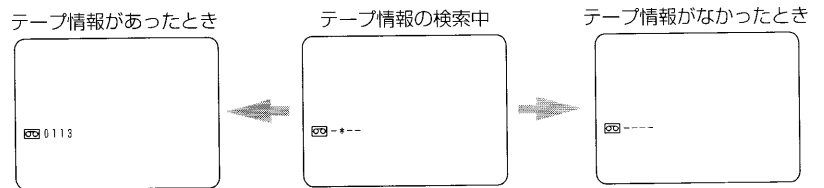
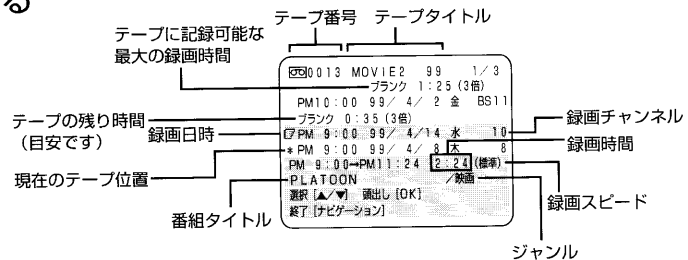
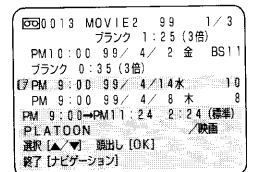
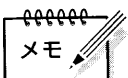
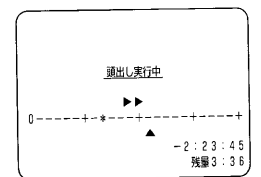
- 見たいテープを探すために、本機で録画したテープには、テープ番号を記載しておいてください。
- 使用するテープによっては、ビデオナビゲーション機能が正常に動作しないことがあります。
- 番組情報は、本機のメモリーに記憶されるため、万一、本機のメモリーが故障して番組情報が消えた場合、復元することはできません。
- 本機のメモリーに番組情報を記録するためには、連続して「SP（標準）」で5分、「EP（3倍）」で15分、「SEP（5倍）」で、25分以上の番組を録画してください。また重ね録りをするときは、以前の番組の頭から「SP（標準）」で5分、「EP（3倍）」で15分、「SEP（5倍）」で、25分以上離れていないと、以前の番組がリストから消去されることがあります。

見たい番組を頭出しする

ービデオナビゲーションー

見たい番組が入っているテープ情報から番組を選んで、自動的に頭出し再生をする機能です。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 録画したテープ（つめのあるカセット）を挿入する

表示窓の「ーーーー」が点滅し、数秒間テープが動き、「テープ情報」を自動的に検索する

2 <ナビゲーション>を押すと番組タイトル画面が表示される

3 <△>または<▽>を押し、ナビゲーションリストから見たい番組を選ぶ

4 <OK>を押すと、番組の頭出しをした後、再生をはじめる

テープ情報があるはずなのに見つからないとき

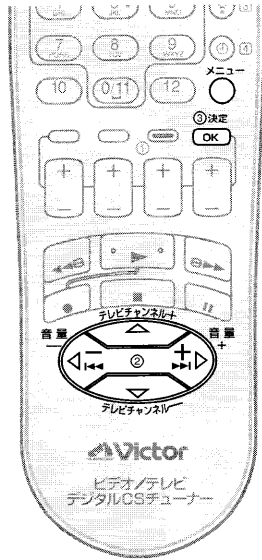
- 「---- 」と表示されてから、巻き戻し方向へ頭出し再生(P. 60)をしてください。再生が始まったら<停止>を押して、手順2から操作してください。

頭出し中について

- ナビゲーションリストから、頭出しをするときは、正しく頭出しをするために番組の頭出し位置を1度すぎてから戻って再生します。
- 再生または番組の頭出し中などに、1本のテープに2つのテープ番号がみつかると、テープを取り出すときに、テープ番号を1つ(テープ番号の小さいほう)にまとめます。
- 手順2で、<ナビゲーション>を押したとき、テープ内の番組情報を検索しているため、番組タイトル画面を表示するまでに、少し時間がかかることがあります。

見たいテープを探す —ビデオナビゲーション—

本機で録画したテープに、どのような番組が録画されているか知りたいときに使います。テープ番号順、記録日時、ジャンル別で検索します。

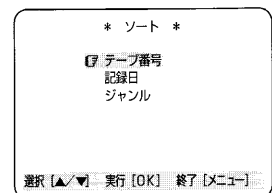
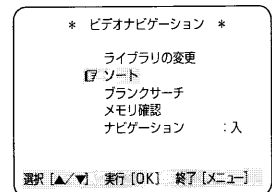
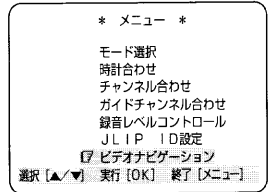
テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。
ジャンル別の検索をするときは、あらかじめ、番組にジャンルを付けてください。(P. 55)

1 <メニュー>を押す

2 <▽>を押し「ビデオナビゲーション」を選ぶ

3 < OK >または<▷>を押す

4 「ビデオナビゲーション」画面より<▽>を押し「ソート」を選ぶ

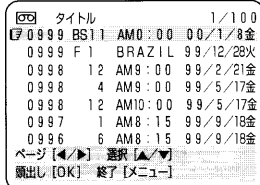
5 < OK >または<▷>を押す

6 検索方法は「テープ番号」、「記録日」、または「ジャンル」から選び、<OK>または<▷>を押す

テープ番号/記録日から検索するとき

7 <△/▽>を押し、見たい番組を選ぶ

```
    タイトル               1/100
☞0999 BS11  AM0:00  00/1/8金
 0999 F1    BRAZIL  99/12/28火
 0998   12  AM9:00  99/2/21金
 0998    4  AM9:00  99/5/17金
 0998   12  AM10:00 99/5/17金
 0997    1  AM8:15  99/9/18金
 0996    6  AM8:15  99/9/18金
ページ [◀/▶] 選択 [▲/▼]
頭出し [OK] 終了 [メニュー]
```

8 < OK >または<▷>を押し、番組の頭出しをする

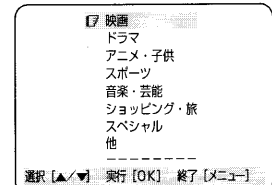
メモ

- テープタイトルは、録画された日付が自動的にテープタイトル名として入力されます。
お好みのタイトル名に変更したいときは「タイトル/ジャンルを変更する」(P.54~55)で入力してください。
- 本機で録画したあとは、テープ番号検索をするために、テープにテープ番号を書いたラベルを貼ってください。

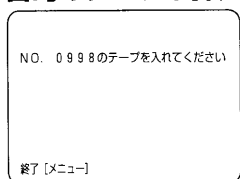
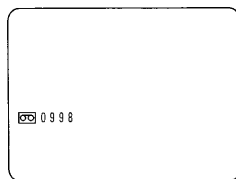
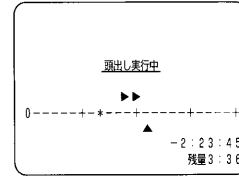
ジャンルから検索するとき

7 <△/▽>を押し、見たい番組のジャンルを選び、<OK>または<▷>を押す

```
☞映画
 ドラマ
 アニメ・子供
 スポーツ
 音楽・芸能
 ショッピング・旅
 スペシャル
 他
 ---------
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]
```

8 <△/▽>を押し、見たい番組を選ぶ

```
    映画                    1/2
☞0995 LOST WORL      00/1/8金
 0980 TOPGUN         99/12/28火
 0979    6 PM10:00   99/2/21金
 0975 SNOWMAIN        99/5/17金
 0960 BS11 PM8:00    99/5/17金
 0955 THE CLIEN      99/9/18金
 0950    4 AM0:00    99/10/9金
ページ [◀/▶] 選択 [▲/▼]
頭出し [OK] 終了 [メニュー]
```

9 < OK >または<▷>を押し、番組の頭出しをする

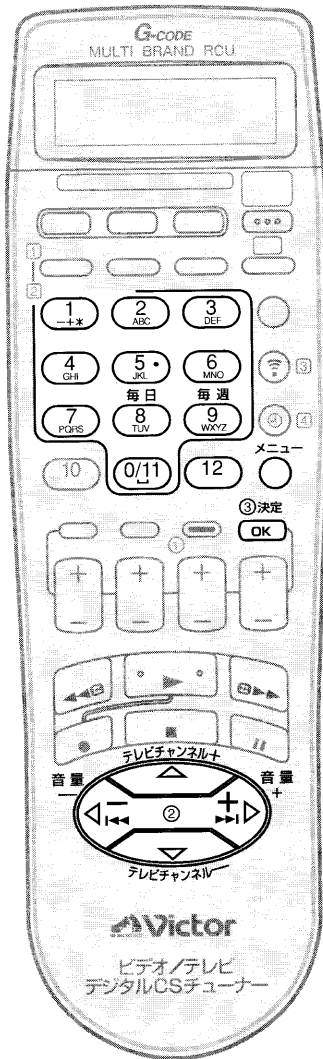
目的のテープが挿入されていないとき

メッセージが出る　　テープ番号検出

便利な機能

タイトル/ジャンルを変更する

ービデオナビゲーションー

テープタイトルや番組タイトルに名前を付けることができます。また、番組にジャンルを付けることができます。

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

テープタイトルを変更したいとき[テープタイトル変更]

1. <メニュー>を押す
2. <▽>を押し､｢ビデオナビゲーション」を選ぶ
3. < OK >または<▷>を押す

```
* メニュー *
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
☞ビデオナビゲーション
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]
```

4. 「ライブラリの変更」を選び
< OK >または<▷>を押す

```
* ビデオナビゲーション *
☞ライブラリの変更
ソート
ブランクサーチ
メモリ確認
ナビゲーション　　:入
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]
```

5. <△/▽>を押し、タイトルを変更したいテープを選び
< OK >または<▷>を押す

```
                 1/ 12
 0115   MOVIE98
☞0114   99/ 3/18木−
 0113   99/ 2/25木−
 0112   99/ 2/23火−
 0111   MOVIE2
 0118   98/ 9/ 5土−
 0117   98/ 8/29土−
 0118   BEST HIT
選択 [▲/▼] 変更 [OK] 終了 [メニュー]
```

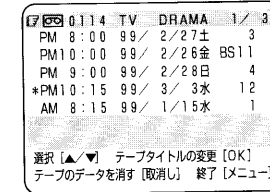
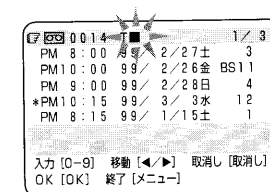
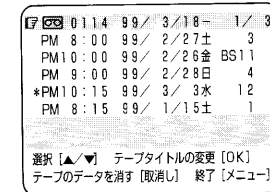
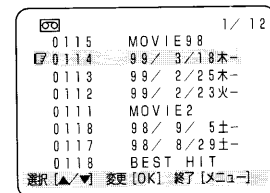
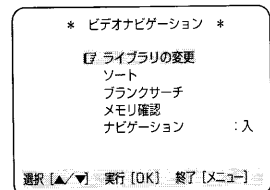
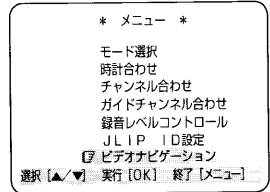
6. <OK>または<▷>を押し、タイトル入力画面を表示させる

```
☞ 0114 99/ 3/18−   1/ 3
 PM 8:00 99/ 2/27土   3
 PM10:00 99/ 2/26金 BS11
 PM 9:00 99/ 2/28日   4
*PM10:15 99/ 3/ 3水  12
 PM 8:15 99/ 1/15土   1
選択 [▲/▼] テープタイトルの変更 [OK]
テープのデータを消す [取消し] 終了 [メニュー]
```

7. 数字ボタンを使い文字を入力する(詳しくはP.56参照)
< OK >を押し、入力を確定する

```
☞ 0014■              1/ 3
 PM 8:00 99/ 2/27土   3
 PM10:00 99/ 2/26金 BS11
 PM 9:00 99/ 2/28日   4
*PM10:15 99/ 3/ 3水  12
 PM 8:15 99/ 1/15土   1
入力 [0−9] 移動 [◀/▶] 取消し [取消し]
OK [OK] 終了 [メニュー]
```

8. <メニュー>を押し、操作を終了する

```
☞ 0114 TV DRAMA     1/ 3
 PM 8:00 99/ 2/27土   3
 PM10:00 99/ 2/26金 BS11
 PM 9:00 99/ 2/28日   4
*PM10:15 99/ 3/ 3水  12
 AM 8:15 99/ 1/15木   1
選択 [▲/▼] テープタイトルの変更 [OK]
テープのデータを消す [取消し] 終了 [メニュー]
```

タイトル／ジャンルを変更する（つづき）

ービデオナビゲーションー

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

番組のタイトルを変更したいとき［番組タイトル変更］

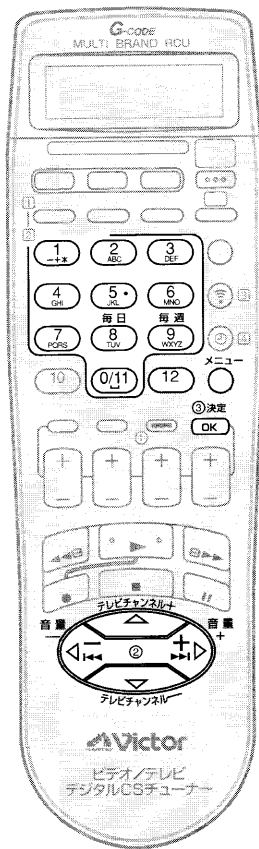
1 ＜メニュー＞を押す

2 ＜▽＞を押し、「ビデオナビゲーション」を選ぶ

3 ＜OK＞または＜▷＞を押す

```
＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択［▲／▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］
```

4 「ライブラリの変更」を選び＜OK＞または＜▷＞を押す

```
＊ ビデオナビゲーション ＊
ライブラリの変更
ソート
ブランクサーチ
メモリ確認
ナビゲーション      ：入
選択［▲／▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］
```

5 ＜△／▽＞を押し、番組タイトルを変更したいテープを選び、＜OK＞または＜▷＞を押す

```
                      1／12
0115   MOVIE98
0114   99／ 3／18木－
0113   99／ 2／25木－
0112   99／ 2／23火－
0111   MOVIE2
0118   98／ 9／ 5土－
0117   98／ 8／29土－
0118   BEST HIT
選択［▲／▼］ 変更［OK］ 終了［メニュー］
```

6 ＜△／▽＞を押し、タイトルを変更したい番組を選び、＜OK＞または＜▷＞を押す

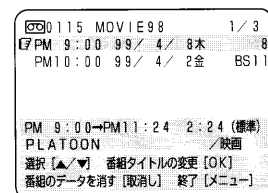
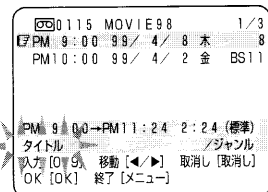
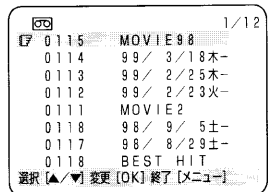
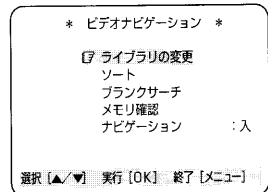
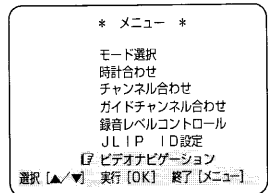
タイトルの入力画面が表示される

```
0115 MOVIE98          1／3
PM 9:00 99／ 4／ 8 木     8
PM10:00 99／ 4／ 2 金  BS11

PM 9:00→PM11:24 2:24（標準）
タイトル            ／ジャンル
入力［0～9］ 移動［◀／▶］ 取消し［取消し］
OK［OK］ 終了［メニュー］
```

7 数字ボタンを使い文字を入力する（詳しくはP.56参照）

（詳しくはP.56参照）

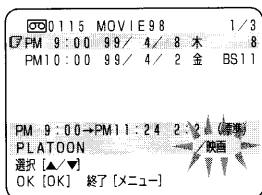
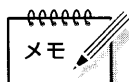
＜OK＞を押し、入力を確定する

```
0115 MOVIE98          1／3
PM 9:00 99／ 4／ 8 木     8
PM10:00 99／ 4／ 2 金  BS11

PM 9:00→PM11:24 2:24（標準）
PLA■                ／ジャンル
入力［0～9］ 移動［◀／▶］ 取消し［取消し］
OK［OK］ 終了［メニュー］
```

8 ＜メニュー＞を押し、操作を終了する

ジャンルを変更したいとき［番組ジャンル変更］

手順7の操作後

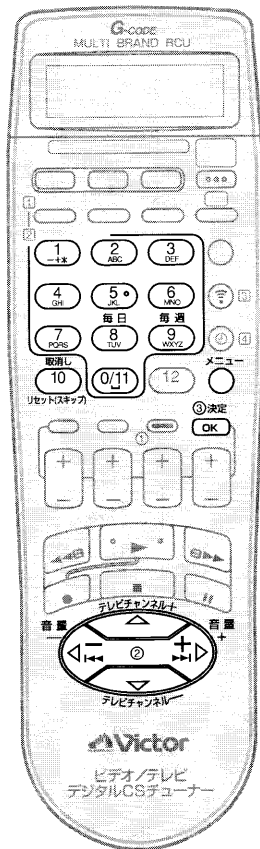
1. ＜OK＞または＜▷＞を1回押す
2. ＜△／▽＞ボタンを押すたびに、ジャンル名が変わる

ジャンル↔映画↔ドラマ↔アニメ●子供↔スポーツ↔音楽●芸能↔ショッピング●旅↔スペシャル↔他↔ジャンル‥‥

3. ジャンルを選択し、＜OK＞または＜▷＞を押す
4. ＜メニュー＞を押し、操作を終了する

- テープタイトルの入力文字は10文字以内、番組タイトルは15文字以内です。

便利な機能

タイトルを編集する —ビデオナビゲーション—

番組情報に表示されるタイトルには、テープタイトル（10文字まで）と番組タイトル（15文字まで）が、<数字ボタン>で入力できます。番組のタイトル及びジャンルを変更する（P54～55)操作のタイトル入力画面を表示させた後、次の操作をします。

文字入力のしかた

1. 数字ボタンを押し、入力文字を選択する。
2. 1文字ずつ選択し、<◁>または<▷>を押して、カーソルを左右へ移動させる
   < OK >を押して確定する
3. <メニュー>を押して、操作を終了する

タイトルの消しかた

●すべて消すには

1. <◁>を押してカーソルを左端に移動させる
2. 文字が消えるまで<取消し>を押す
3. <メニュー>を押して、操作を終了する

●一部分を消すには

1. 消したい文字にカーソルを合わせる
2. 文字が消えるまで<取消し>を押す
3. <メニュー>を押して、操作を終了する

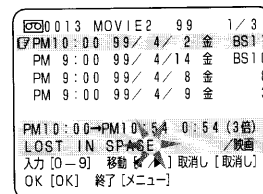
（例） LOST IN SPACEを入力する

L =(5) 3回押す
O =(6) 3回押す
S =(7) 4回押す
T =(8) 1回押す
␣ =(0/11) 2回押す
I =(4) 3回押す
N =(6) 2回押す
␣ =(0/11) 2回押す
S =(7) 4回押す
P =(7) 1回押す
A =(2) 1回押す
C =(2) 3回押す
E =(3) 2回押す

1. 数字ボタンを押して、「LOST IN SPACE」を入力する

   ヒント

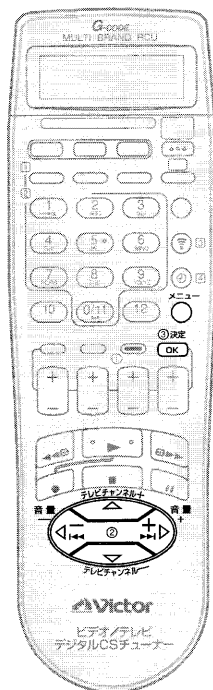
   文字入力のミスを防ぐため、1文字入力するごとに、<▷>を押してください。

2. <OK>または<▷>を押し、確定する
3. <メニュー>を押して、操作を終了する

番組情報を削除する

ービデオナビゲーションー

本機にメモリーされた番組情報を消すことができます。（テープデータ削除）

全削除 番組情報を全て削除する　　**一部削除** 番組情報を一部削除する

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 ＜メニュー＞を押し、＜▽＞で「ビデオナビゲーション」を選ぶ

2 ＜ OK ＞または＜▷＞を押す

3 ＜△／▽＞を押し、「ライブラリの変更」を選び＜ OK ＞または＜▷＞を押す

4 ＜△／▽＞を押し、削除したいテープ番号を選び＜OK＞または＜▷＞を押す

全削除するとき

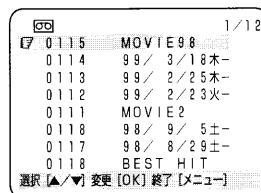
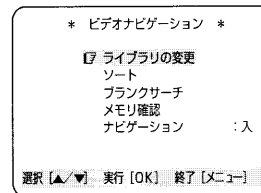
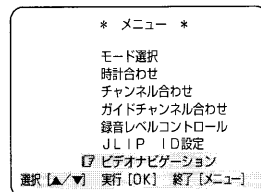
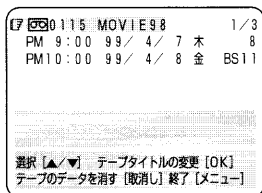
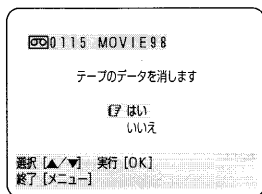
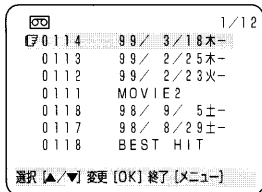
＜取消し＞を押す

0115 MOVIE98　1／3
PM 9：00 99／ 4／ 7 木　8
PM10：00 99／ 4／ 8 金　BS11
選択［▲/▼］ テープタイトルの変更［OK］
テープのデータを消す［取消し］終了［メニュー］

「はい」を選び、＜OK＞または＜▷＞を押す

0115 MOVIE98
テープのデータを消します
はい
いいえ
選択［▲/▼］ 実行［OK］
終了［メニュー］

画面を確認する

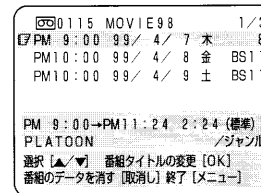
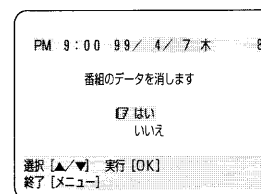
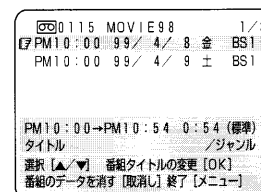
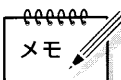
1／12
0114 99／ 3／18木－
0113 99／ 2／25木－
0112 99／ 2／23火－
0111 MOVIE2
0118 98／ 9／ 5土－
0117 98／ 8／29土－
0118 BEST HIT
選択［▲/▼］ 変更［OK］ 終了［メニュー］

8 ＜メニュー＞を押し操作を終了する

一部削除するとき

5 ＜△／▽＞を押し、削除したい番組を選んだ後、＜取消し＞を押す

6 「はい」を選ぶ

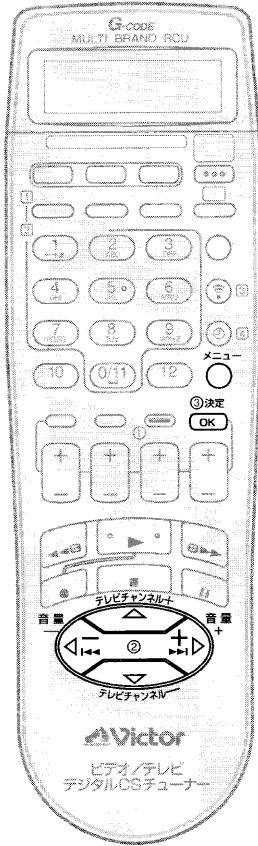
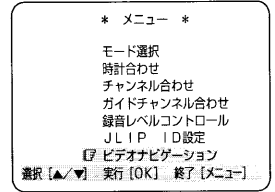
7 画面を確認する

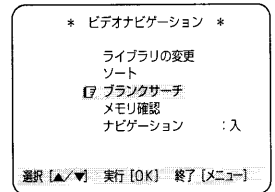
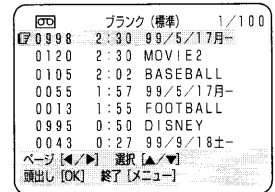
0115 MOVIE98　1／3
PM10：00 99／ 4／ 8 金　BS11
PM10：00 99／ 4／ 9 土　BS11
PM10：00→PM10：54 0：54（標準）
タイトル　／ジャンル
選択［▲/▼］ 番組タイトルの変更［OK］
番組のデータを消す［取消し］終了［メニュー］

＜メニュー＞を押し、操作を終了する

- テープデータ削除では、番組情報だけが削除され、録画した内容は消えません。

テープのブランク部分をさがす

ービデオナビゲーションー

「ビデオナビゲーション」の「ブランクサーチ」を使い、録画する為のテープのブランク部分をさがすことができます。

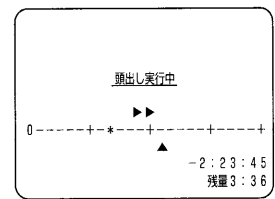
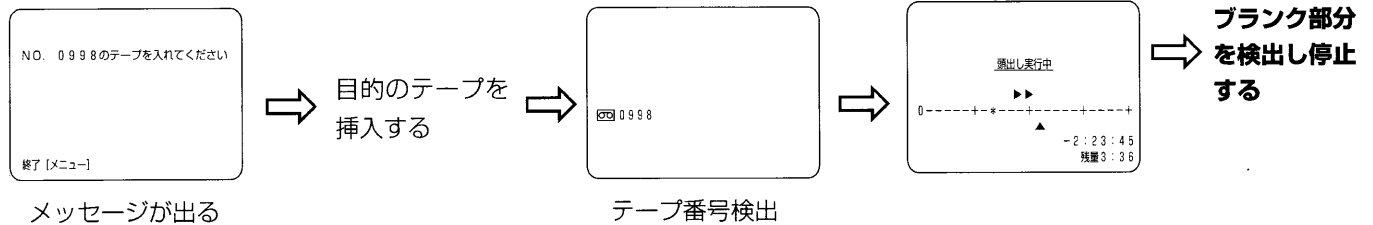
テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1. <メニュー>を押し、<▽>で「ビデオナビゲーション」を選ぶ
2. < OK >または<▷>を押す

3. <△／▽>を押し「ブランクサーチ」を選び、< OK >または<▷>を押す

4. 挿入されているビデオテープのブランク時間が表示される
5. < OK >または<▷>を押す

6. 頭出しが実行されテープのブランク部分を検出し、停止する

頭出し実行中
▶▶
0－－－－－＋－＊－－－＋－－－－－＋－－－－＋
▲
－2：23：45
残量3：36

目的のテープが挿入されていないとき

メッセージが出る

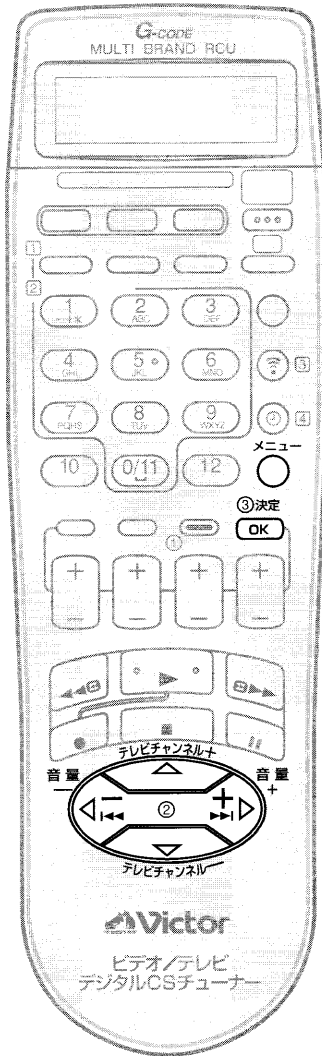
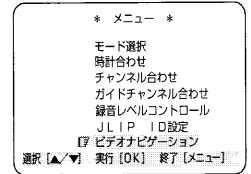
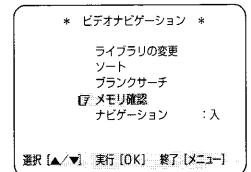
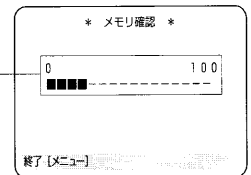
テープ番号検出

メモリーの確認とモード設定をする

−ビデオナビゲーション−

テレビの電源を入れて外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

メモリーの確認　：本機のメモリー使用状況を確認して不要なタイトルが削除できます。(P.57)

1 <メニュー>を押し、<▽>で「ビデオナビゲーション」を選ぶ

2 < OK >または<▷>を押す

3 <△/▽>を押し、「メモリ確認」を選び、<OK>または<▷>を押す

4 メモリーの容量を確認する

本機にメモリーされている容量を表示します。(目安です。)

5 <メニュー>を押し、操作を終了する

ナビゲーションモードの設定　:本機のメモリーに番組情報を記憶させたくないときに「切」に設定します。テープを入れたときに、テープ番号の検索はしません。

1 <メニュー>を押し、<▽>で「ビデオナビビナビゲーション」を選ぶ

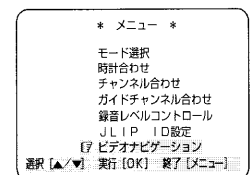
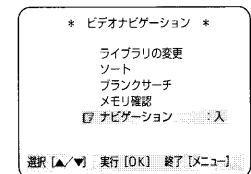
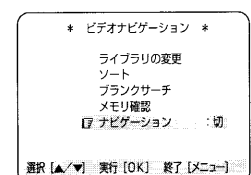
2 < OK >または<▷>を押す

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

3 <△/▽>を押し、「ナビゲーション」を選ぶ

＊ ビデオナビゲーション ＊
ライブラリの変更
ソート
ブランクサーチ
メモリ確認
ナビゲーション :入
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

4 < OK >または<▷>を押して、「切」を選ぶ

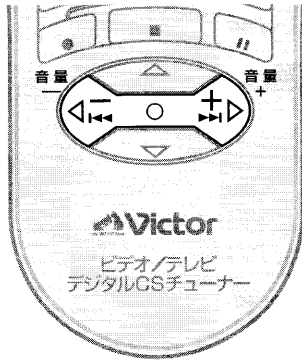
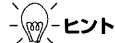
ヒント

- <OK>または<▷>を押すたびに「入」↔「切」が交互に切り換わります。

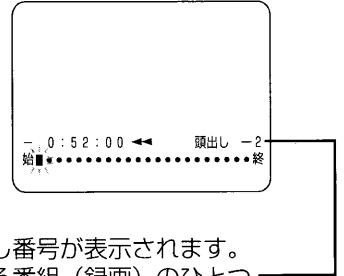
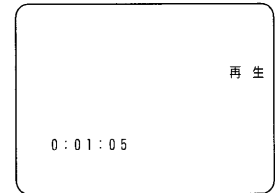
5 <メニュー>を押し、操作を終了する

- 本機のメモリー容量の目安は、約1300番組です。ビデオテープ1本に4番組を録画した場合は、約330本分に相当します。

便利な機能

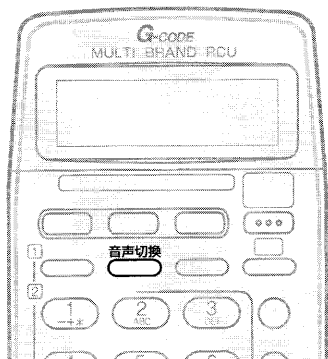
見たい番組を探す

本機では、録画を始めると自動的に録画の始まりの部分にインデックスマーク（VISS）と呼ばれる信号が記録されます。
この信号を使って、録画された番組の頭出し再生を簡単にすることができます。インデックスマーク（VISS）は前後９番目まで指定できます。

1 停止中に<⏮>または<⏭>を押す

ヒント
- 押すたびに、頭出しの番号がひとつずつ減って（増えて）いきます。

指定した頭出し番号が表示されます。
例：今見ている番組（録画）のひとつ前の番組を見たいとき

2 指定した番組の位置まで巻き戻され（早送りされ）、自動的に再生をはじめる

メモ

- SEP（5倍）で録画された番組の頭出しは、数秒ずれることがあります。

聞きたい音声を選ぶ

二重音声放送（二カ国語放送など）やステレオ放送を見ているとき、またはそれらの放送を録画したテープの再生中に、聞きたい音声を選べます。

1

<音声切換>を押し、音声を切り換える

ヒント

- 押すたびに、聞こえる音声とテレビ画面の表示が変わります。

二重音声放送（主音声と副音声）

「モード選択」の「ミックス音声」（P.30）が「切」のとき

音声切換 → 音声切換 → 音声切換 → 音声切換

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声	ノーマル音声（主音声）
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル

ステレオ放送（右音声と左音声）

「モード選択」の「ミックス音声」が「切」のとき

聞こえる音声	ステレオ音声	左音声	右音声	ノーマル音声（モノラル音声）
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル

「モード選択」の「ミックス音声」が「入」のとき

左右の音声（二重音声やステレオ音声）にノーマル音声がミックスして聞こえてきます。

聞こえる音声	ミックス音声（左右の音声+ノーマル音声）	左音声+ノーマル音声	右音声+ノーマル音声
テレビ画面の表示	ミックス		

ハイファイ音声が記録されていないテープでは

- ノーマル音声しか聞けません。

副音声も録音したいとき

- お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、「モード選択」で「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(P.30)

ミックス音声について

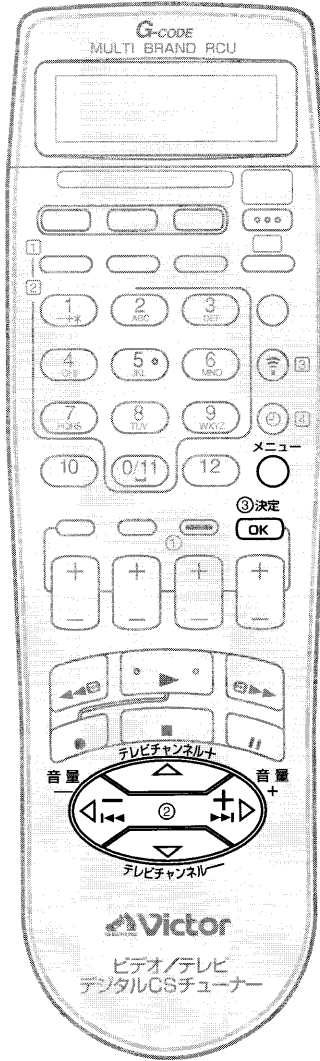
- お買い上げ時の設定では、「モード選択」の「ミックス音声」は「切」になっています。(P.30)
- 「ミックス音声」が「入」のとき、ハイファイ音声とモノラル音声に同じ音が録音されているテープを再生すると、音が歪むことがあります。このときは、「モード選択」の「ミックス音声」を「切」にしてください。(P.30)

音声の録音レベルを変える

本機は音声の録音レベルを調節することができます。
録音レベルを調節するには、メニューの「録音レベルコントロール」で行います。

1 ＜メニュー＞を押す

2 ＜△/▽＞を押し、「録音レベルコントロール」を選ぶ

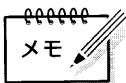
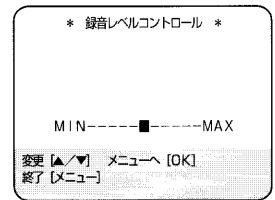
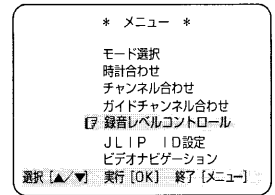
* メニュー *
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
☞ 録音レベルコントロール
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

3 ＜ OK ＞または＜▷＞を押す

4 ＜△/▽＞を押し、録音レベルを調節する

ヒント

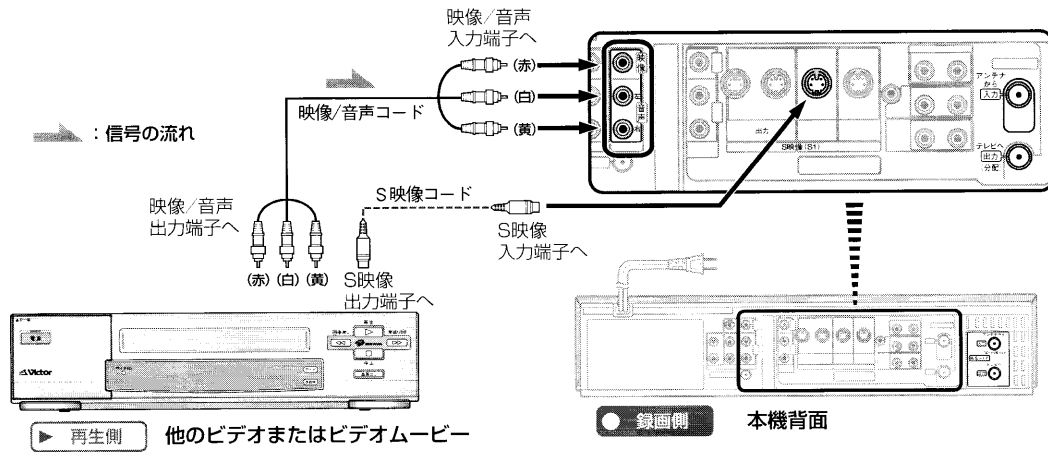
- 音量を調節すると、センターのときにはガイドが「■」になり、それ以外は「＊」で位置が表示されます。
- 音量を調節しているとき、本体表示窓のレベルメータで音量レベルが確認できます。音量の調節はハイファイ音声もノーマル音声も同時に行われます。

5 ＜メニュー＞を押し、音量調節を終了する

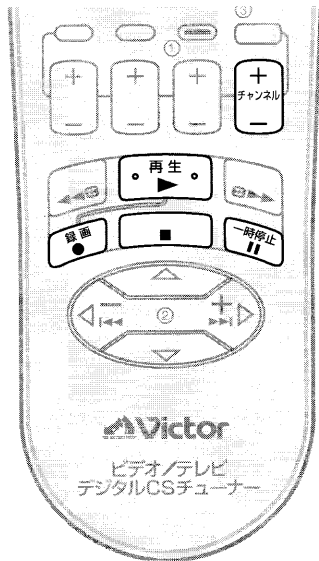
メモ

- ハイファイ音声とノーマル音声の録音レベルを調節するとき、録音レベルが低すぎると、雑音がめだつようになり、高すぎると音がつぶれるようになりますのでご注意ください。

テープをダビングする

他機で再生、本機で録画する

相手の機器がビデオデッキのとき（図のように、相手の機器を接続してください。）

● 再生するテープを再生側に入れておきます。
● 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

● 録画用のテープを本機に入れておきます。
●「モード選択」画面の「インテリジェントピクチャー」（P.29）を「ダビング」にしておきます。
● 映像入力端子（「S映像」または「映像」）入力信号を、メニューで正しく設定してください。(P.29)　両方の端子をつなぐ必要はありません。

ヒント　本機の前面にある＜映像／音声入力F-1＞端子に接続することもできます。

＜チャンネル＋＞または＜チャンネル－＞を押し、「F-1」または「L-1」、「L-2」を選ぶ

● 前面の＜映像／音声入力F-1＞端子につないだときは「F-1」、背面の＜映像／音声入力＞端子＜L-1＞または＜L-2＞につないだときは、「L-1」または「L-2」を選びます。

＜一時停止＞を押しながら＜録画＞を押し、録画一時停止状態にする

再生側でダビングしたい部分の少し前から再生を始める

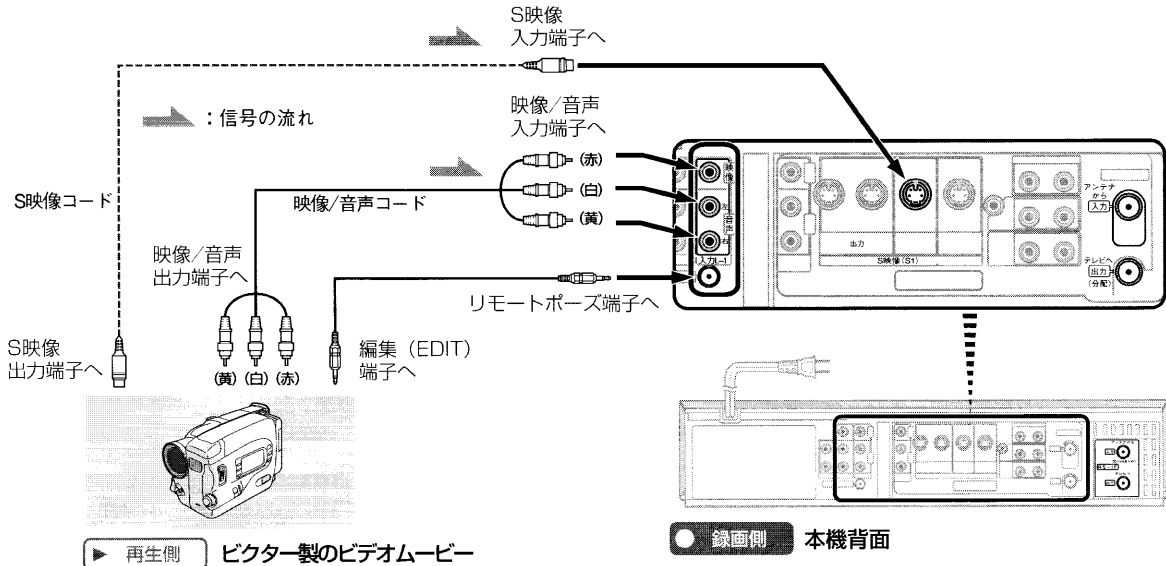
＜再生＞を押し、録画を始める

ダビングが終わったら、両方の機器の停止ボタンを押す

- ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。標準モードで録画することをお勧めします。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- ダビングが終わったら、「モード選択」の「インテリジェントピクチャー」(P.29)を「オートピクチャー」(「テープレベルアップ」が「切」のときには「スタンダード」)に戻しておいてください。

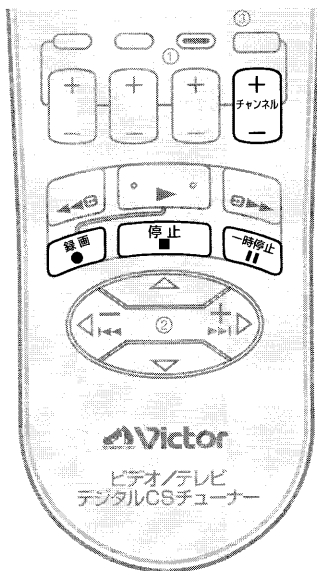
テープをダビングする（つづき）

他機で再生、本機で録画する

相手の機器がビクター製ビデオムービーのとき
（図のように相手の機器を接続してください。）
ビデオムービーのときには、編集(EDIT)端子と本機のリモートポーズ端子を接続します。
この接続をするとビデオムービーからの操作だけで、テープのダビングや編集を始めることができます。

▶ 再生側　ビクター製のビデオムービー

● 録画側　本機背面

- 再生するテープを再生側に入れておきます。
- 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

- 録画用のテープを本機に入れておきます。
- 「モード選択」画面の「インテリジェントピクチャー」(P.29) を「ダビング」にしておきます。
- 映像入力端子（「S映像」または「映像」）入力信号を、メニューで正しく設定してください。(P.29)　両方の端子をつなぐ必要はありません。

1 <チャンネル＋／－>を押し、「F-1」または「L-1」、「L-2」を選ぶ

- 前面の<映像／音声入力Ｆ-1>端子につないだときは「F-1」、背面の<映像／音声入力>端子<Ｌ-1>または<Ｌ-2>につないだときは、「L-1」または「L-2」を選びます。

2 <一時停止>を押しながら<録画>を押し、録画一時停止状態にする

3 再生側のビデオムービーの編集スタートボタンを押す

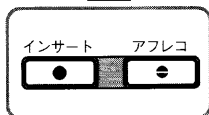
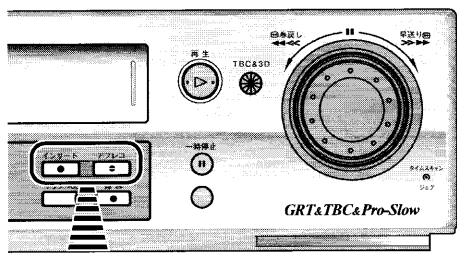
- 本機側（録画）の録画一時停止が自動的に解除されて、録画が始まります。

4 ダビングが終わったら、ビデオムービーと本機の両方の機器の停止ボタン押す

メモ

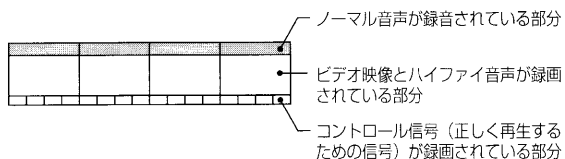
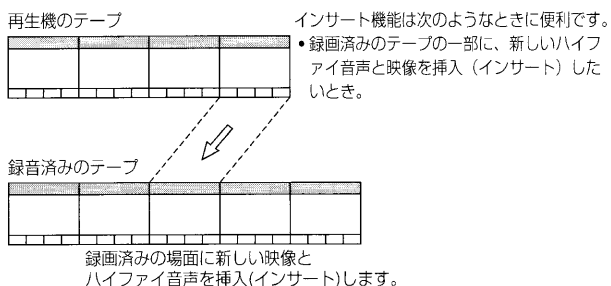
- ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。標準モードで録画することをお勧めします。
- 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- 再生機側で特殊再生を行うと、テレビ画面が青色になることがあります。このときはモード選択の「ブルーバック」を「切」にしてください。(P.30)
- ダビングが終わったら、「モード選択」画面の「インテリジェントピクチャー」(P.29)を「オートピクチャー」(「テープレベルアップ」が「切」のときには「スタンダード」)に戻しておいてください。

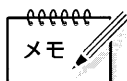
テープをダビングする －インサート機能とアフレコ機能－

本機には録画済みのテープに、手軽に映像とハイファイ音声を挿入（インサート）できる機能と、ノーマル音声に新しく別の音声を録音する機能（アフレコ）があります。

インサート機能

インサート機能は、録画済みのテープのある場面に新しく映像や音声を挿入するときに使います。このときノーマル音声は元のまま残ります。録画する側のビデオデッキ（本機）で、挿入する部分を決めてから操作します。

アフレコ機能

アフレコ機能はノーマル音声だけを新しく録音するときに使います。このときハイファイ音声と映像は元のまま残ります。録画する側のビデオデッキ（本機）で、挿入する部分を決めてから操作します。

	ハイファイ方式のビデオで記録されたテープにインサートする	ハイファイ方式でないビデオで記録されたテープにインサートする
アフレコ機能	アフレコした新しいノーマル音声／元のハイファイ音声と映像	アフレコした新しいノーマル音声／元の音声と映像
インサート機能	元のノーマル音声／インサートした新しいハイファイ音声と映像	元のノーマル音声／インサートした新しいハイファイ音声と映像
インサート＋アフレコ機能	アフレコした新しいノーマル音声／インサートした新しいハイファイ音声と映像	アフレコした新しいノーマル音声／インサートした新しいハイファイ音声と映像

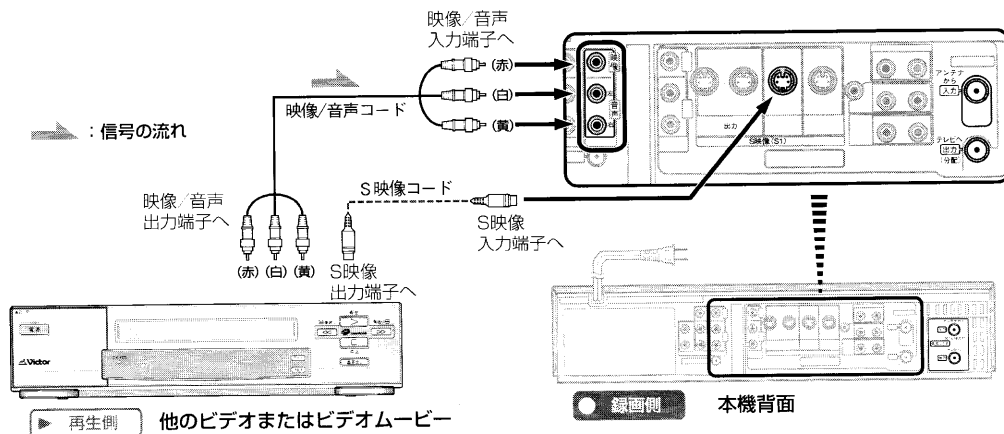
メモ

インサート機能を使うときには

- 録画スピードが入り乱れて記録されたテープにインサート機能を使うと、もとの録画スピードにしたがって録画されるので、つなぎ目で絵や音が乱れることがあります。
- ハイファイ音声と映像は同時に記録されるので、ハイファイ音声だけをインサートすることはできません。
- 映像のみを先にインサートして、ハイファイ音声を後からインサートすることはできませんがノーマル音声を使って音声をアフレコする事はできます。このときは再生するときに、音声切換ボタンでノーマル音声を選んでください。

テープをダビングする

ーインサート機能ー

録画済みのテープに手軽に映像とハイファイ音声を挿入（インサート機能）できます。

相手の機器がビデオデッキのとき（図のように、相手の機器を接続してください。）

● 再生するテープを再生側に入れておきます。
● 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント 本機の前面にある<映像／音声入力F-1>端子に接続することもできます。

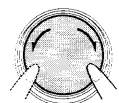
● 録画用のテープを本機に入れておきます。
● メニューの「インテリジェントピクチャー」（P.29）を「ダビング」にしておきます。
● 映像入力端子（「S映像」または「映像」）入力信号を、メニューで正しく設定してください。(P.29)　両方の端子をつなぐ必要はありません。

他機側（再生）

本機側（録画）

1 <チャンネル>を押し、再生側の機器が接続された外部入力チャンネルを選び<再生>を押す

●本体前面の映像／音声・入力端子につないだとき、チャンネルF-1を選ぶ
●本体背面の入力L-1映像／音声入力端子につないだとき、チャンネルL-1を選ぶ
●本体背面の入力L-2映像／音声入力端子につないだとき、チャンネルL-2を選ぶ

2 インサートしたい部分を探し、インサートを終える場面で、<一時停止>を押し、再生一時停止状態にする

大まかな場面を探すときは、タイムスキャンリングなどを使います。インサートを終える場所を探して再生一時停止するには、ジョグダイヤルを使うと便利です。

3 <リセット>（１０）を押し、テープカウンタをリセットする

4 インサートを始めたい場所までタイムスキャンリング等で戻し、再生一時停止にする

5 本体のボタンを押し、インサート方法を選ぶ

インサート

●<インサート>を押す：ハイファイ音声と映像を新しく入れたいとき
（ボタンを押すと、インサートポーズモードに入り、本体表示窓の▷、○と▒が点灯します。）

インサート　アフレコ

●<インサート>を押してから<アフレコ>を押す：ノーマル音声とハイファイ音声と 映像のすべてを新しく入れたいとき
（ボタンを押すと、本体表示窓の▷と○が点滅し、▒が点灯します。）

6 インサートする場面を探して、少し前で再生一時停止にする

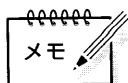
7 再生ボタンを押し、テープの再生を始める

8 再生機側の映像が、インサートしたい場面になる直前に<再生>を押す（インサート編集中は本体表示窓の▷と○が点灯します。）

●インサートがはじまり、本機のカウントが0:00:00までインサートまたはインサートアフレコが行われて0:00:00後は再生に切り換わります。

9 再生側の停止ボタンを押す

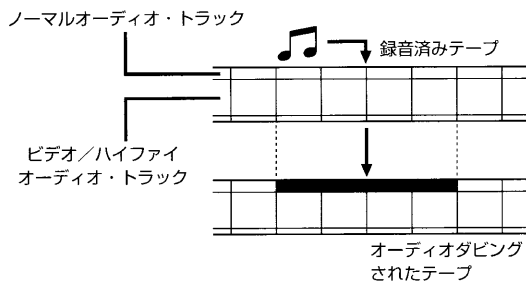
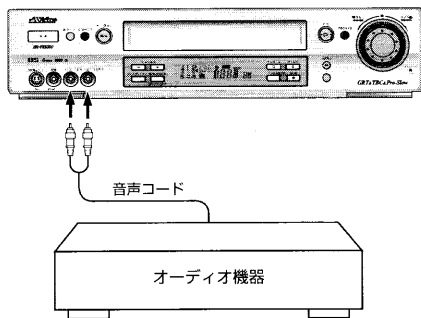
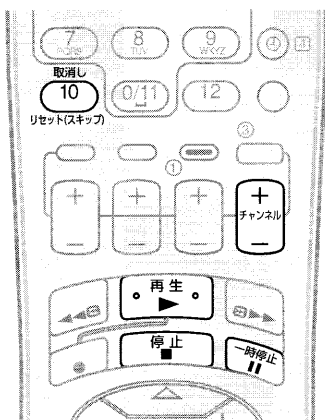
10 インサートが終了したら、<停止>を押して止める

メモ

• インサート機能は本機の録画スピードが、SEP（5倍）に設定されているときは、働きません。

テープをダビングする －アフレコ機能－

ノーマル音声をアフレコする（オーディオ・ダビング）

録画済みのテープにノーマル音声だけを新しく録音したいときに使います。

再生側は音源としてラジカセやＣＤプレーヤーを接続し、音源の音声出力端子と本機の音声入力端子を付属の映像／音声コードで接続します。

他機側（音声の再生）

4 アフレコしたい音声の少し前で一時停止し、再生の準備をする

5 再生する

7 再生側の停止ボタンを押して止める

本機側（録画）

1 <チャンネル>を押し、再生側の機器が接続された外部入力チャンネルを選び<再生>を押す

- 本体前面の映像／音声・入力端子につないだとき、チャンネルF-1 を選ぶ
- 本体背面の入力L-1 映像／音声入力端子につないだとき、チャンネルL-1 を選ぶ
- 本体背面の入力L-2 映像／音声入力端子につないだときチャンネルL-2 を選ぶ

2 ノーマル音声をアフレコしたい部分を探し、アフレコをはじめる場面で、<一時停止>を押し、「再生一時停止」状態にする

大まかな場面を探すときは、タイムスキャンリングなどを使います。アフレコを終える場所を探して再生一時停止するには、ジョグダイヤルを使うと便利です。

3 <アフレコ>を押す
（ボタンを押すと、オーディオダビングポーズモードに入り、本体表示窓の◌が点滅し▷と▒が点灯します。）

6 アフレコしたい場面になる直前に、本機の<再生>を押す
（ボタンを押すと、本体表示窓の◌が点滅し、▷が点灯します。）

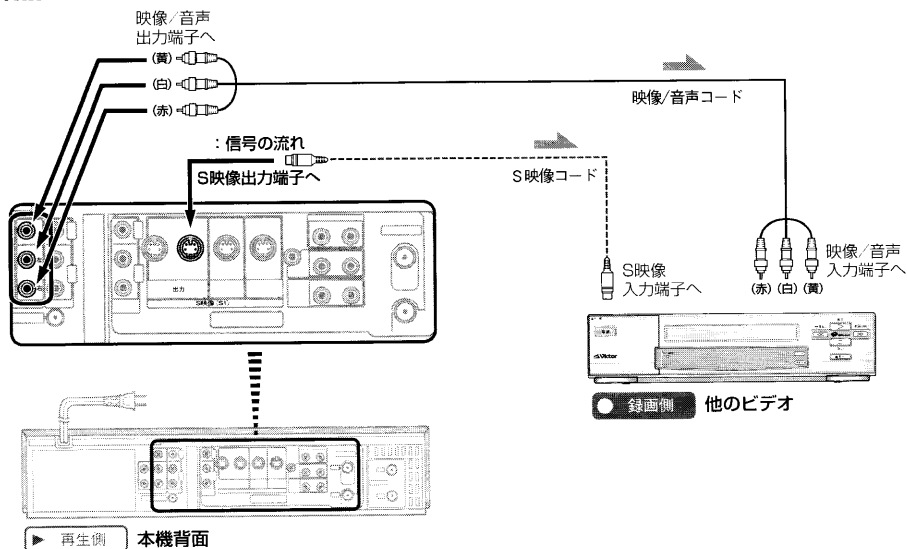
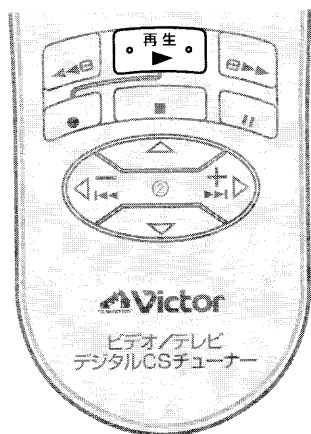
8 アフレコが終了したら、<停止>を押して止める

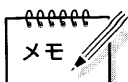
メモ

- アフレコ機能は、本機の録画スピードがSEP（5倍）に設定されているときは、働きません。

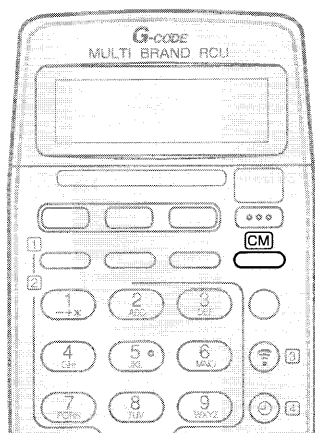
便利な機能

テープをダビングする（つづき）

本機で再生、他機器で録画する

- 再生するテープを本機に入れておきます。
- 「モード選択」の「オンスクリーン」(P.30)を「切」にしておきます。
  「オート」または「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が一緒に録画されてしまいます。
- 「モード選択」の「インテリジェントピクチャー」(P.29)を「ダビング」にしておきます。
- 録画用のテープを録画側に入れておきます。
- 他のビデオの機器の詳しい操作方法については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

1. 他機側の「本機を接続した外部入力」を選ぶ
2. 他機側を録画一時停止状態にする
3. < 再生 > を押し、ダビングしたい部分の少し前から再生を始める
4. 他機側で録画を始める

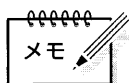
メモ

- ダビングが終わったら、「モード選択」の「インテリジェントピクチャー」(P.29)を「オートピクチャー」(テープレベルアップが「切」のときには「スタンダード」)に戻しておいてください。

コマーシャルを飛ばして録画・再生する

オートCMカット機能
録画中に＜CM＞を押すとコマーシャルが入った部分を飛ばして録画することができます。また、再生中に＜CM＞を押すと、押したところからおよそ30秒間分(平均的なコマーシャル1つ分)を早送りできます。

停止中または録画中に＜CM＞を押す

● 画面に現在の設定が表示されます。表示されている間に＜CM＞を押すと、オートCMカットの「入/切」が切り換わります。

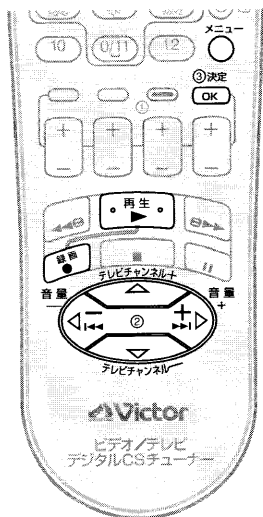
再生中に＜CM＞を押す

• 1度押すと、押したところからおよそ30秒間分を早送りします。
1回のCMスキップサーチでは、最高4回まで(およそ2分間分)押すことができます。

オートCMカット機能について

オートCMカット機能は、二重音声放送やモノラル放送の番組の録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、ふたたび二重音声放送やモノラル放送が始まると録画を再開する機能です。
通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が「オートCMカット」です。

• ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。
オートCMカットが「入」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約5分後に一時停止が解除され録画が始まります。
• オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。
• モノラル放送のコマーシャルは、オートCMカットが「入」になっていても録画されます。また、録画予約したときに最後がCMで終わった場合、多少CMが録画されることがあります。
• 電波の弱い地域では、オートCMカットが正しく働かないことがあります。
• 本機の映像入力端子を使用した録画（テープをダビングするときなど）では、オートCMカットは使えません。
• ワンタッチタイマー機能を使うときは、オートCMカット機能は使えません。
• 録画スピードをSEP(5倍)に設定したときは、オートCMカット機能は使えません。

VHSテープにS-VHS画質で録画する

S-VHS ET録画　本機はVHSテープにS-VHSの高画質で録画することができます。

1 <メニュー>を押す

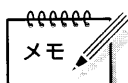
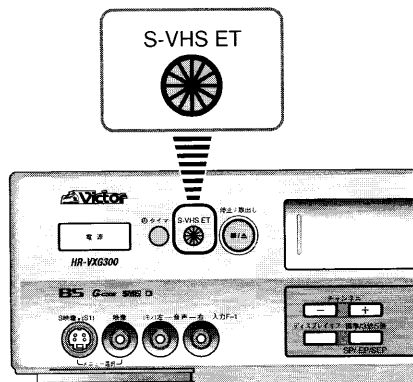
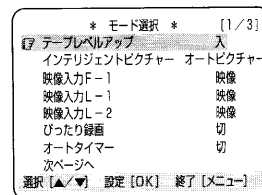
2 「モード選択」を選び、< OK >または<>を押す

3 < OK >または<>を押し、「テープレベルアップ」を「入」にする

4 < S-VHS ET >を押す

ヒント
- 押すたびに、S-VHS ETモードの入/切が切り換わります。「入」の時はボタンが点灯します。

5 <録画>を押し、録画する

<録画>と<再生>を同時に押し、録画する

S-VHS ET機能について

S-VHS ETは、VHSテープにS-VHS画質（水平解像度400本以上）で録画・再生する機能です。

S-VHS ET機能を使って録画したテープは、本機またはS-VHSのビデオデッキ、S-VHS ET機能を持ったビデオデッキ、S-VHS簡易再生機能（SQPB）付きのビデオデッキで再生できます。ただし、一部の機種によっては再生できないことがあります。

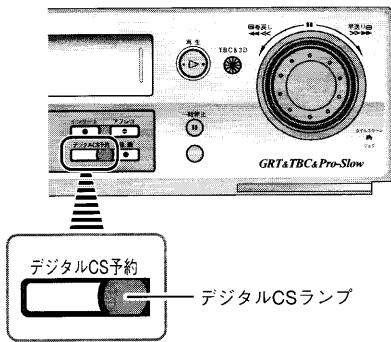
- よりよい画質で録画・再生・長期保存するためには、S-VHSテープをご利用ください。また、保存するときは通常のモード（VHSモード）で録画したテープと区別して保存することをお勧めします。
- 再生時テープの品質によっては、ノイズが出ることがあります。
- 一時停止や早送り・スロー再生を行うと、画面にノイズがでる場合があります。
- 一時停止や早送り・スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。
- お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されてることを確かめてください。
- 次のようなときは、S-VHS ETボタンは機能しません。
  - 録画中
  - S-VHSテープのとき
  - 再生中
- この機能を使うときは、HG（ハイグレード）タイプのVHSテープをお使いください。
- 録画スピードをSEP（5倍）に設定した場合は、S-VHS ET録画は出来ません。

タイマー付きの映像機器から録画する

デジタル CS 予約

タイマー予約の機能があるデジタルCSチューナーやCATV放送のホームターミナルなどの機器で番組を予約して、簡単に録画することができます。

● お使いになるデジタルCSチューナーなどの他の機器を、本機背面にある<映像/音声入力>端子<L-1>につないでください。(P.11)

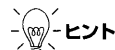
● 録画用のテープを入れておきます。

1 接続したデジタルCSチューナーやCATVのホームターミナルで番組を予約し、録画待機状態にする

ヒント

- 番組の予約方法は、接続した機器に付いている取扱説明書をご覧ください。

2 本機の<デジタル CS 予約>を 2 秒間押す

デジタル CS ランプが点灯し、本機の電源が切れます。

● 予約開始時刻になると、デジタルCSチューナーなどの機器の電源が入り、本機で自動的に録画が開始されます。
録画が始まると、本体のデジタル CS ランプが点滅します。

ヒント

- **録画待機を解除するときは、**<デジタルCS予約>をもう1度押します。デジタル CS ランプが消灯します。
- **録画を途中で止めるときは、**<デジタル CS 予約>を押してから、<**停止/取出し**>を押します。

便利な機能

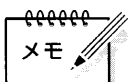
デジタルCS予約機能について

この機能は、本機背面の<映像/音声入力>端子<L-1>に信号が入力されると、自動的に本機の電源が入り、録画を開始する機能です。
デジタル CS チューナーなどに録画予約機能が付いていれば、デジタル CS チューナーの電源が入ると同時に本機に信号が入力されるのを検出して録画を開始します。

● **デジタル CS 録画待機(デジタル CS ランプが点灯します。)中は、デジタル CS チューナーなどの本機と接続している機器の電源を入れないでください。接続している機器の電源を入れると、本機で録画が始まります。**

● **デジタル CS 録画待機中は、G コード録画予約、新・快速録画予約はできません。**

● 本機背面の<映像/音声入力>端子<L-1>にタイマーの付いていない機器を接続している場合、デジタルCS 予約機能を使うと、接続している機器の電源が入ったときに、本機で録画が始まってしまいますのでご注意ください。

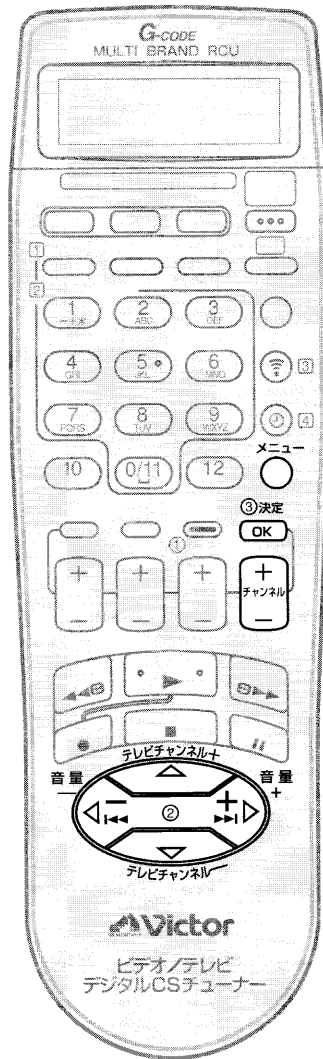
● お使いになっているデジタル CS チューナーや CATV 放送のホームターミナルなどの機器によっては、実際の番組より多少長めに録画されたり、番組の始まりが欠けて録画されることがあります。

デジタル CS 予約について

- ビデオ・リモート・コントローラーが付いている、ビクター製デジタル CS チューナー TU-VCS1 などでは、録画予約の方法が異なります。デジタル CS チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 録画スピードを変更したいときは、手順 2 で**<デジタル CS 予約>**を押す前に、<標準/3 倍/5 倍>を押してください。
- デジタルCSチューナーなどの接続している機器の電源が入っているときに、**<デジタルCS予約>**を押すと、デジタルCSランプが点灯します。このときは、接続している機器の電源を切ってください。

録画する映像のゴーストを低減する －*GRT録画ロック－

録画するチャンネルのゴーストを低減する

録画中にゴーストの変化が気になるときは、ゴーストを低減した状態をロックすることにより、安定した映像で録画できます。**（GRT 録画ロック）**
録画を始める前に設定してください。

• テレビの電源を入れて、外部入力を選びます。本機からの映像をテレビ画面に映します。

1 ＜△/▽＞または＜１＞を押し、１チャンネルを選ぶ

2 ＜メニュー＞を押す

3 「モード選択」を選び、＜OK＞または＜▷＞を押す

4 ＜△/▽＞を押し、「GRT 録画ロック」を選ぶ

前ページへ	[3／3]
BSアンテナ電源	切
タイムスキャン音声	入
のんびりトーク	切
画像設定	シャープ
GRT録画ロック	切

選択 [▲/▼] 設定 [OK] 終了 [メニュー]

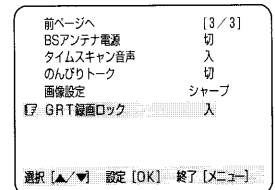
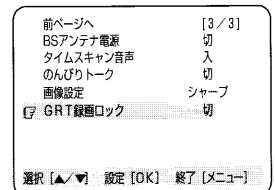
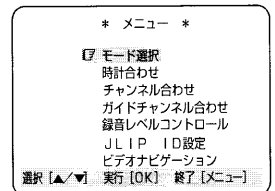
5 ＜OK＞または＜▷＞を押し、「入」に設定する

ヒント
• ＜OK＞または＜▷＞を押すたびに「入」と「切」が切り換わります。

前ページへ	[3／3]
BSアンテナ電源	切
タイムスキャン音声	入
のんびりトーク	切
画像設定	シャープ
GRT録画ロック	入

選択 [▲/▼] 設定 [OK] 終了 [メニュー]

6 ＜メニュー＞を押し、操作を終了する

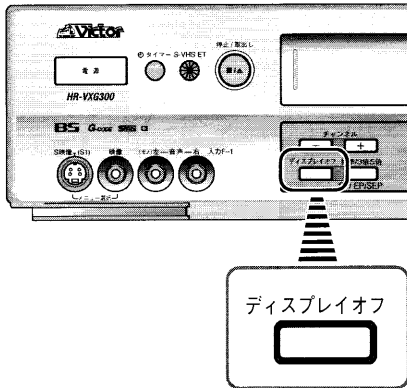
メモ

*ゴースト・リダクション・チューナーのことです。

「GRT 録画ロック」を「入」にしたとき

• 録画を始めてから、およそ１分間はゴーストの状態を測定するので、画像が一時的に乱れることがありますが、その後GRTがロックされて、安定した画像になります。録画予約のときも、録画を開始してからおよそ１分後にGRTがロックされますので、あらかじめ数分早めに録画開始時間を設定することをお薦めします。

省電力とチャイルドロックの設定

ディスプレイオフ

普段お使いにならないときに、**ディスプレイオフ**ボタンを押しておくと、本体表示部が消灯して消費電力を少なくすることができます。

1 停止中に<ディスプレイオフ>を約 2 秒間押し、省電力設定にする
本体表示窓の時計が消灯する

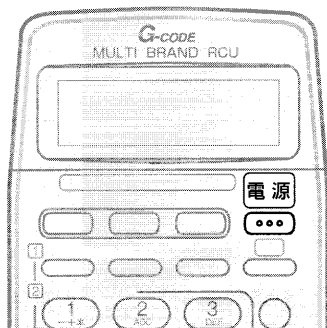
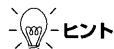
ヒント
- <ディスプレイオフ>を押すと、本体の<電源>、<取出し>、リモコンの<タイマー>（◷）、<電源>以外は使用できません。

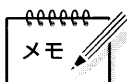
2 省電力設定を解除するときは、本体の<電源>を押す

ヒント

他にも次のような操作をすると省電力設定が解除されます。
- リモコンの<タイマー>（◷）を押す
- ビデオカセットを挿入する

チャイルドロック

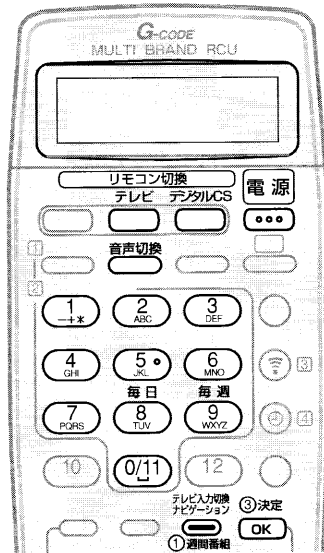
本機には、お子様が誤った操作をしないようにロックをかけることができます。チャイルドロック中には、<タイマー>（◷）だけが使えます。その他の本体、リモコンの操作ボタンは使用できません。

1 リモコンの<電源>を 7 秒以上押し続け電源を切り、チャイルドロックをかける

ヒント
- チャイルドロックがかかっているときは、本体表示窓に「—」が表示されます。
- **チャイルドロックを解除するには、**もう1度リモコンの<電源>を7秒以上押し続けてください。電源が入ってチャイルドロックが解除されます。

便利な機能

省電力設定が使用できないとき
- つぎのようなときは、<ディスプレイオフ>は使用できません。
  - 録画、再生、早送り、巻戻し中
  - チャイルドロック作動中
  - 録画予約待機中と実行中
  - デジタル CS 予約待機中と実行中

ビデオ以外の機器を操作する

ビクター製以外のテレビ、デジタルCSチューナーを操作する

本機のリモコンで、国内メーカー12社のテレビと、ソニー製のデジタルCSチューナーを操作できます。お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作（電源の入／切、チャンネル切換、音量の調節）ができるようになっています。デジタルCSチューナーが操作できる機能については、「CSチューナーに対応するボタン」（P. 73）をご覧ください。
他社のテレビ、ソニー製デジタルCSチューナーを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

「CSチューナーを操作する」（P.75）をご覧ください。

1 <テレビ>または<デジタルCS>を2秒以上押す

TV 01

設定例：お手持ちのテレビが東芝製のとき
（メーカー番号：07）（下記一覧参照）

メーカー番号一覧
（テレビ設定の場合、[ ]はデジタルCSチューナー設定の場合）

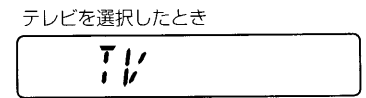
メーカー名	番号	メーカー名	番号
ビクター	01 [01]	三　洋	08または09
松　下	02または03	シャープ	10
三　菱	04	パイオニア	11
ソニー	05 [02]	NEC	12
日　立	06	フナイ	13
東　芝	07	アイワ	14

2 数字ボタンの< 0/11 >と< 7 >の順に押す

3 < OK >を押し、決定する

4 <電源>を押し、設定した機器の電源が入れば、設定完了

テレビを選択したとき

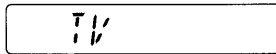
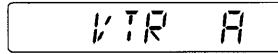
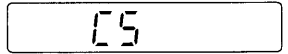
TV

ヒント
- テレビを操作する場合
  <音声切換>を押すと、テレビの音声を消すことができます。
  <テレビ / 入力切換>を押すと、テレビの入力切換ができます。

メモ

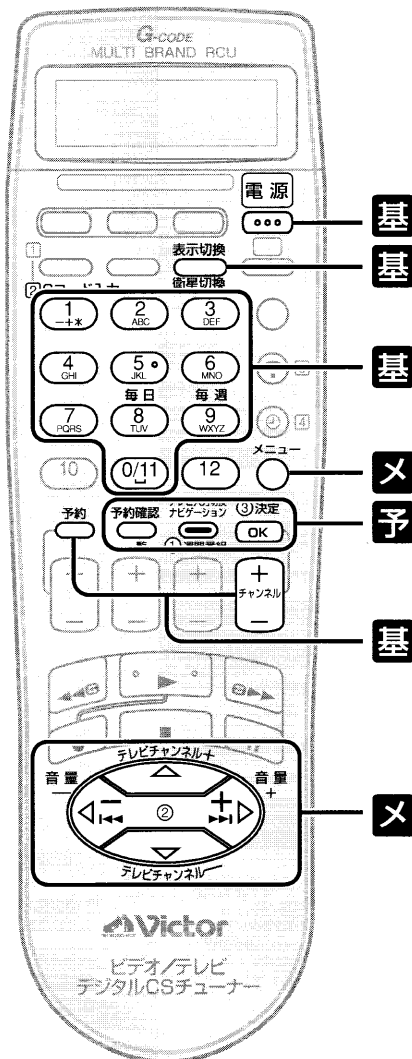
メーカー番号を入力するとき
- メーカー番号以外の数字を入力したり、< OK >または<▷>と数字ボタン< 1 >～< 9 >、< 0/11 >以外のボタンを押すと、設定が中断されます。もう一度、手順1から設定をし直してください。
- メーカー番号を間違えて入力しても、続けて正しい番号を入力すれば訂正することができます。
  正しい番号を入力してから< OK >または<▷>を押してください。
- 電源が入らないときは、もう1度、手順1から4の操作をしてください。
  松下製や三洋製のテレビをお使いのときは、もうひとつのメーカー番号を入力してください。

テレビの操作に使えるボタン
- テレビ操作ができるボタンについては、「各部の名称」のリモコンの説明（P.12）をご覧ください。
- テレビによっては操作できないものがあります。
- リモコンの電池をはずすと、お買い上げ時の設定に戻ります。電池を交換したときなどはメーカー番号の設定をもう1度やり直してください。

CSチューナーを操作する

本機のリモコンは、テレビ、ビデオ、CS チューナーを操作することができます。
操作するときには液晶表示窓に、操作できる機器（TV、VTR A または VTR B、CS）が表示されます。

テレビを選択したとき	ビデオを選択したとき(A コードのとき)	デジタルCSを選択したとき
TV	VTR A	CS

- リモコンの液晶表示窓に「TV」または「CS」が表示されていても、録画予約やGコード録画予約の操作をするときは、ビデオに切り換わります。ビデオの基本操作をしたときは、元の選んだ機器に戻ります。

CS チューナーに対応するボタン

リモコンの<デジタルCS >を押して切り換えると、ビクター製デジタルCSチューナー(TU-VCS 1)などの機能の一部を操作できるようになります。
接続したデジタル CS チューナーの取扱説明書も、あわせてご覧ください。

基 基本操作に使うボタン

電源を入れる	電源	押すたびに電源が「入／切」の順で切り換わります。
衛星を切り換える	表示切換／衛星切換	押すたびに衛星 A(パーフェク TV サービス)と衛星 B(スカイサービス)が切り換わります。
チャンネルを変える	＋ チャンネル −	押すたびに登録された順にチャンネルが切り換わります。**数字< 0/11 >、< 1 >〜< 9 >** を使用する場合、直接３桁のチャンネル番号を入力してから< **12** > **(選局)**を押します。
操作パネルを表示する	予約／CS簡単操作	簡単操作パネルを表示します。

メ メニュー操作に使うボタン

メニューを表示する	メニュー	もう１度押すと「メニュー」が消えます。
<△/▽/◁/▷>を動かす		<△/▽/◁/▷>を上下左右に移動して項目を選んだり、設定するときに使います。

予 予約に使うボタン

週間番組ボタン	テレビ入力切換／ナビゲーション／①週間番組	画面に週間番組表を表示します。
一覧ボタン	予約確認／一覧	予約した番組の一覧が表示されます。
OK ボタン	決定／OK	週間番組表から予約したい番組を選んで決定するときに押します。

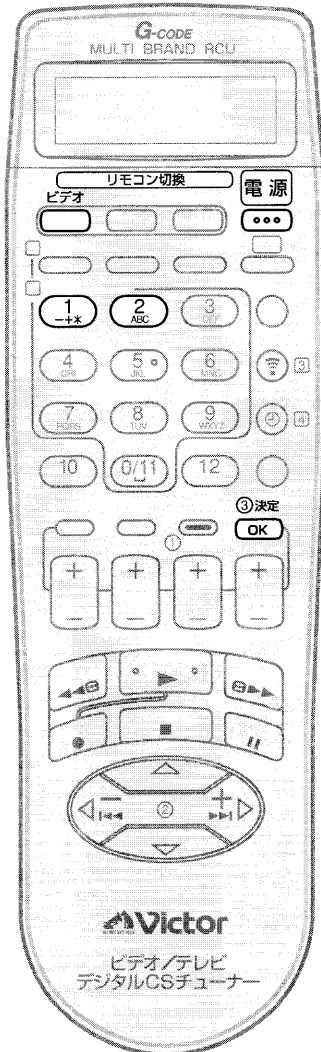
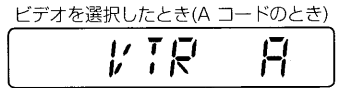
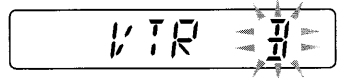
特別な機能

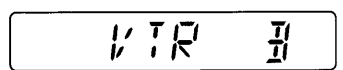
2 台のビデオデッキを操作する

すでにビクター製のビデオデッキをお使いになっているときは、本機のリモコンとお持ちのデッキのリモコンの、リモコンコードを別のコードにしてお使いください。
リモコンコードには「A コード」と「B コード」があります。お買い上げ時には、本機のリモコンは「A コード」に設定されています。

 ビデオデッキの電源プラグを 1 度、抜き差ししてリモコンコードの設定を変えられるようにします。

1 <ビデオ>を 2 秒以上押す

ビデオを選択したとき(A コードのとき)

2 < 2 >または< 1 >を押し、
リモコンコードを変更する

ヒント
- 「B コード」に変更するときは、< 2 >を押す。
- 「A コード」に変更するときは、< 1 >を押す。

3 < OK >または<▷>を押す

4 <電源>を押し、テストする
液晶表示窓には、「VTR B」
が表示されています

ヒント
- 本機のリモコンの<電源>を押して、ビデオデッキの電源が入るかどうか確認してみてください。
  もし、入らないときは、手順 1 から 4 の操作をやり直してください。

メモ

リモコンコードを入力するとき

- 1、2 ボタンと< OK >または<▷>以外のボタンを押すと、設定が中断されます。もう一度、手順 1 から設定をやり直してください。
- リモコンの電池をはずすと、お買い上げ時の設定に戻ります。(VTR A に戻ります。) 電池を交換したときなどは、もう一度設定をやり直してください。

故障かな？と思ったら

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくしてから再度差し込み、動作を確認してください。

一般

症状	原因と対処(参照ページ)
電源が入らない	●電源コードがコンセントからはずれていませんか? ●本体の表示窓に「 ⏲ 」が点灯していませんか? ●チャイルドロックが動作していませんか? リモコンでチャイルドロックを解除してください。(P.73)
カセットが入らない	●正しい向きで入れてください。
カセットが出ない	●録画中または本体の表示窓に「 ⏲ 」が点灯していませんか?「 ⏲ 」を消してから、カセットを出してください。このとき、録画予約は取消されます。(P.41)
再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	●再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約5分間は回転しています。故障ではありません。
カウンター表示が点滅する	●早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。
リモコンが働かない	●リモコンコード(A/B)があっていますか? ●電池が消耗していませんか?(P.10) ●ディスプレイオフが働いていませんか?(P.73)
ダビングできない	●正しい外部入力「F-1」または「L-1」、「L-2」を選んでいますか?
ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	●「モード選択」で「オンスクリーン」を「切」にしてください。(P.30)
ぴったりクロックが働かない	●地域番号入力後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。(P.19)
本体表示窓に時計が表示されない	●ディスプレイオフ(省電力設定)になっていませんか? **<電源>**を押してみてください。省電力設定が解除されます。(P.73)
リモコンの調子が悪い	●1度乾電池を取り出して、5分以上たってから再度乾電池を入れ、操作をしてください。(P.10)

一般

症状	原因と対処(参照ページ)
BS番組が映らない	●「モード選択」画面で「BSアンテナ電源」を正しく設定してください。(P.16) ●WOWOWをご覧になるには、BSデコーダが必要です。 ●BSデコーダの電源を入れていますか?
WOWOWの音声が聞こえない	●BSデコーダの音声切り換えは正しいですか? ●「モード選択」画面の「BS独立音声」を「切」にしてください。(P.30)

再生（音声）

症状	原因と対処(参照ページ)
ハイファイステレオの音声が出ない	●モノラルビデオデッキやビデオムービーで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。
日本語と外国語が同時に聞こえる	●**<音声切換>**で聞きたい音声を選んでください。

再生（映像）

症状	原因と対処(参照ページ)
テレビに映像が出ない	●テレビの外部入力を選んでいますか? ビデオを接続した外部入力端子を選び、本機からの映像をテレビ画面に映します。
映像が乱れる、ちらつく	●オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調節を行います。(P.48) ●再生中は、トラッキングを手動で調節してください。(P.48)録画状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。 ●長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売のクリーニングテープTCL-DEで掃除してください。
早送り/巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	●再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。

役立つ情報　ー故障かな？と思ったらー

再生（映像）

症状　原因と対処(参照ページ)

画面が上下に揺れる

- 「モード選択」画面の「Vスタビライズ」を「入」にしてください。(P.30)

ナビゲーションリストが正しく表示されない

- 未記録部分などがあると正しくテープ情報が記憶されません。

ナビゲーションリストが表示されない

- 「メニュー選択」の「ビデオナビゲーション」が「切」になっていませんか?(P.31)

番組情報のデータが登録されない

- 番組情報データの登録数がいっぱいになっています。いらないテープの登録内容を消してください。(P.57)
- メニューの「ビデオナビゲーション」を「入」にしてください。(P.31、59)
- 録画時間が短いときは、登録されません。(P.51)

見たい番組が探せない

- 本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。
- 本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、ナビゲーションボタンを押してください。(P.52)

録画（音声）

症状　原因と対処(参照ページ)

日本語だけ録音したい

- 「モード選択」の「二カ国語音声録音」を「主」にしてください。(P.30)

ハイファイ音声がでない

- 録音レベルがMIN(最小)になっていませんか?(P.62)

録画（映像）

症状　原因と対処(参照ページ)

録画できない

- カセットのつめがついていますか?
ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。

希望の番組が録画できない

- チャンネルが合っていますか?
- 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。

録画予約ができない

- 日付と時刻を設定してありますか? (P.19)
- カセットのつめがついていますか?
- 本体の表示窓の「◷」は点灯していますか?　(P.13、41)
- 予約内容を確認してください。(P.41)
- 停電があったときは正しく動作しません。

録画（映像）

症状　原因と対処(参照ページ)

本体の表示窓の「◷」が点滅する

- 設定にまちがいがあるので、予約内容を確認して、正しく設定し直してください。(P.41)

本体の表示窓の「◷」と「[OO]」が点滅する

- カセットが入っていません。つめのついたカセットを入れてください。

タイマー(◷)ボタンを押したら、本体の表示窓の「EP」が点滅している。

- 5倍モード録画する為に、テープをS-VHSテープと入れ替えてください。または録画予約内容を変更し、録画スピードを標準または3倍に設定してください。

本体表示窓に「ーー：ーー」を表示している

- 停電がありました。もう1度、日付と時刻を設定してください。(P.19)

予約の録画が始まるまでの間、テープを再生したい

- 本体の表示窓の「◷」を消してから操作します。
操作終了後は、ふたたび、「◷」を点灯させます。(P.41)

予約の録画中にカセットが出て、本体の表示窓の「◷」と「[OO]」が点滅している

- テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。
<タイマー>(◷)を押すと「◷」と「[OO]」は消えます。
タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。

予約の録画中に停止するには

- **<タイマー>**(◷)を押し、本体の表示窓の「◷」を消してから、**<停止>**(■)を押します。

録画予約中、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される

- 録画予約は8番組までしか記憶できません。予約内容を確認し、不要な予約を取消してから予約してください。

録画予約中に予約中の表示が消えた

- 予約中に約1分間放置すると予約表示は消えます。もう1度やり直してください。

予約が重なったら

- 録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。

予約の録画中に、誤って本体の<電源>を押してしまったら

- 予約の録画中に本体の<**電源**>を押すと、録画を停止し、電源が切れます。
(リモコンの<**電源**>を押しても電源は切れません。)
電源が切れたときは、他にも予約があれば、ふたたび録画予約待機中になります。

地域番号一覧表

この表は「受信チャンネルを設定する」（P. 20）の手順６で入力する地域番号表です。
お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。（P. 21）
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。
Gコードを使って録画の予約をするために必要になります。（実際のチャンネルとは異なる場合があります。）

この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

都道府県名	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガ…		
		1	2	
	地域名（対応都市） 地域番号	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	受信チャ…

（2000年3月現在）

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌（江別） 001	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
北海道	小樽 002		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
北海道	旭川 003		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
北海道	名寄 004			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
北海道	稚内 005		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
北海道	室蘭 006		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
北海道	苫小牧 007		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
北海道	函館 008		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
北海道	帯広 009		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
北海道	釧路 010		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
北海道	網走 011	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
北海道	北見 012		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森（弘前） 013	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
青森	八戸 014		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
青森	むつ 015				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡 016				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
岩手	釜石 017		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
岩手	二戸 018		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台 019	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
宮城	石巻 020	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
宮城	気仙沼 021		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田 022		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
秋田	大館 023				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
秋田	大曲 024		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37

地域番号一覧表（つづき）

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビユー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビユー山形 22/36				山形テレビ 39/38
	米沢 027		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビユー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38
福島	福島（郡山） 028		NHK教育 2/90		テレビユー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
	いわき 029		テレビユー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
	会津若松 030	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビユー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		
茨城	水戸（勝田） 031	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
	日立 032	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮 033	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
	矢板 034	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬	前橋（伊勢崎・高崎） 035	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
	桐生 036	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	TBS 37/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
埼玉	浦和（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越） 037	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
	熊谷 038	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
	秩父 039	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 61/12
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代） 040	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
	銚子 041	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京	23区（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹） 042	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
	八王子 043	NHK総合 51/80	MXテレビ 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
	多摩 044	NHK総合 30/80	MXテレビ 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		TBS 24/6		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
神奈川	*1 横浜1（横浜の一部） 045	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
	*1 横浜2（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀） 046	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
	平塚（茅ヶ崎） 047	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
	秦野 048	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
	小田原 049	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府 050	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野1 051		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
	長野2 052		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
	松本 053		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
	飯田 054			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
	岡谷・諏訪 055				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟（長岡） 056			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
	上越 057	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		
富山	富山 058	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
	高岡 059	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32

*1 横浜市にお住まいのかたは、通常は「横浜2」をお選びください。
「横浜2」ではうまく受信できないときに、「横浜1」をお選びください。

*2 「──」表示の部分は、地域によって放送局が異なるので、放送局名およびガイドチャンネルを記載していません。
この地域でGコード録画予約をされるときは、ガイドチャンネルを設定してください。（P. 37）

地域番号一覧表（つづき）

	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
石川	金沢（小松）060		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
	七尾 061	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	
福井	福井 062			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
	敦賀 063						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜（大垣）064	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	高山 065		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
	中津川 066				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡	静岡（清水・焼津）067		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
	浜松 068		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
	富士（富士宮）069		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
	三島・沼津 070		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
	島田 071	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
	藤枝 072	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）073	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	豊橋（豊川）074	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
	豊田 075	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重	津（鈴鹿・松坂・四日市）076	東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	伊勢 077	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59/33	名古屋テレビ 61/11	
	名張 078	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津 079		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
	彦根 080		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都（宇治）081		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
	舞鶴 082		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
	福知山 083		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）084		NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸 085		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8		読売テレビ 24/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 26/90
	神戸灘 086		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
	川西 087		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
	三木 088		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
	姫路 089		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
	明石（加古川）090		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良（橿原）091		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/−	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
	五條 092		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山 093		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
	海南・田辺 094		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
鳥取	鳥取 095	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK 教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江 096	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		NHK教育 12/90
	浜田 097		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			

地域番号一覧表（つづき）

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岡山	岡山（倉敷） 098	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
	津山 099		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
	笠岡 100		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
広島	広島 101	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
	福山 102	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
	尾道 103	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
	呉 104	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口（徳山・防府） 105	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
	下関 106	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
	宇部 107	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
	岩国 108	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島 109	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松 110	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
	丸亀 111	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山 112		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
	新居浜 113		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
	今治 114		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
	宇和島 115	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知 116				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡 117	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
	久留米 118	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
	大牟田 119	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
	北九州 120		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
	行橋 121		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀 122		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎 123	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
	佐世保 124		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
	諫早 125	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本（八代） 126		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分（別府） 127			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
	中津 128			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎（都城） 129						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
	延岡 130		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島 131	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
	阿久根 132		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
	鹿屋 133		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇（沖縄） 134		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

索引

アルファベット・数字

BS アンテナ 15
BS アンテナ電源 16
BS アンテナの向きを調節する 17
BS 入力レベル 17
BS 放送 43
BS 放送を見る 43
CM スキップサーチ 67
EP（本体表示点滅）........ 76
GCR 信号 24
GRT .... 24、31
JLIP 端子 20
SEP 32
S-VHS ET 70
TBC & 3D 49
V スタビライズ 30
VISS 60
5 倍モード 34

ア行

頭出し再生 60
安全上のご注意 4
インサート機能 65
インデックスマーク 60
インテリジェントピクチャー 29
映像設定 31
オート CM カット 69
オートタイマー 29
オートトラッキング 48
オートピクチャー 29
オンスクリーン 30
音声の録音レベルを変える 62
音声を選ぶ .... 32、61

カ行

カウンターリセット 32
各部の名称 11
各部の名称
　前面 11
　テレビ画面表示 13
　背面 11
　本体表示窓 13
　リモコン 12
可変速再生 50
故障かな？ .... 77、78
誤消去防止 34
ゴースト除去基準信号 24
ゴーストリダクション・チューナー .... 24、72
コマ送り 32

サ行

時刻を設定する 19
受信チャンネルの設定 20
　一括チャンネル合わせ 20
　個別設定 21
　地域番号一覧表 .... 79～82
　チャンネルスキップ 23
　チャンネル表示 21
　微調整 22
使用上のご注意 8
ジョグリテイク機能 34
新・快速録画予約 40
スロー再生 .... 32、50
静止画再生 32
接続 14

タ行

タイムスキャン 50
ダビング .... 63～68
チャイルドロック 71
テープ残量 32
テープレベルアップ .... 29、70
ディスプレイオフ 73
デジタル CS 予約 71
電池の入れかた 10
トラッキング調節 48

ナ行

二ヵ国語音声録音 .... 30、61
二重音声放送 .... 30、61
ノーマル音声 .... 30、61
のんびりトーク 50

ハ行

ハイファイ音声 .... 30、61
日付を設定する 19
ぴったりクロック 19
ぴったり録画 29
ビデオチャンネル 14
ビデオで録画する 34
ビデオナビゲーション .... 51～59
ビデオを見る 33
付属品 10
ブルーバック 30

マ行

ミックス音声 .... 30、61
メニューの構成 .... 26～28
メニューの初期設定（お買い上げ時の状態）........ 29～31

ヤ行

予約の確認 41
予約の変更・取消し 42

ラ行

リピート再生 32
リモコンによる機器切り換え 74
リモコンで CS チューナーを操作 75
録画する 34

ワ行

ワンタッチタイマー機能 36

主な仕様

●電源	AC100V　50/60Hz	
●消費電力	23W	
	BSアンテナ電源使用時	29W
	待機時消費電力*	3.1W
	待機時消費電力：時刻表示点灯時	3.4W
	待機時消費電力：時刻表示消灯時	1.8W

*省エネ法に定める待機時消費電力です。

●外形寸法	437(幅)mm x 97(高さ)mm x 347(奥行き) mm
●質量	4.8kg
●許容動作温度	+5°C～+40°C
●許容相対湿度	35%～80%
●許容保存温度	−20°C～+60°C

ビデオ（映像）

●録画・再生方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン 輝度信号　FM方式 色信号　低域変換直接記録方式
●映像信号	NTSC日米標準信号

ハイファイオーディオ（音声）

●録音方式	VHSステレオハイファイ方式
●周波数特性	20Hz～20kHz
●ダイナミックレンジ	90dB以上
●ワウ・フラッター	0.005%以下
●チャンネルセパレーション	60dB以上

ノーマルオーディオ（音声）

●録音方式	リニアトラック
●音声トラック	1チャンネル(モノラル)

チューナー（テレビ受信）

●受信方式	周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式	インターキャリア方式
●受信チャンネル	VHF　1～12チャンネル UHF　13～62チャンネル BS　1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル CATV　C13(63)～C63(113)チャンネル

●CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

タイマー（タイマー予約・時計）

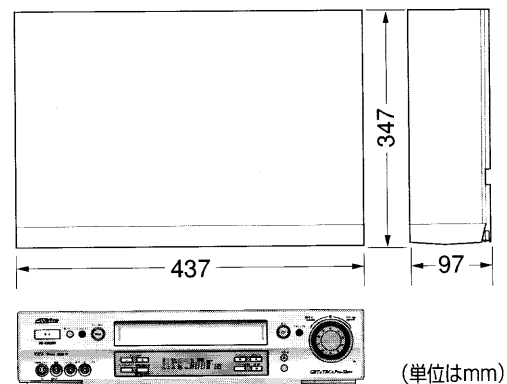
●タイマー予約	1年間8番組予約
●時計	12時間(午前･午後)方式
●停電補償時間	約60分

接続端子

●アンテナ	75Ω F型コネクター VHF/UHF一軸
●BSアンテナ	75Ω F型コネクター アンテナ電源出力　DC15V　最大4W
●BS-IF出力	75Ω F型コネクター
●映像	入力　0.5～2.0Vp-p　75Ω(ピンジャック) 出力　1.0Vp-p　75Ω(ピンジャック)
●音声	入力　−8dBs　50kΩ（ピンジャック） モノ(左)対応 出力　−8dBs　1kΩ（ピンジャック）
●検波入／出力	0.67Vp-p　75Ω（ピンジャック）
●ビットストリーム入／出力	0.5Vp-p　75Ω(ピンジャック)
●リモートポーズ	ビクタービデオムービー・デッキとの編集用

テープ走行

●早送り／巻戻し時間　約1分12秒（T-120テープ使用時）

テープによっては早送り／巻き戻しに時間がかかる場合があります。

(単位はmm)

- 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

保証とアフターサービスについて

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（84～85ページ参照）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

77～78ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビデオカセットレコーダー
型　名	HR-VXG300
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　）　ー

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ！　熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオカセットレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

サービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭　川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北　見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧　路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯　広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函　館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青　森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八　戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘　前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛　岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水　沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋　田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大　館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横　手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石　巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山　形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒　田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡　山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福　島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新　潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長　岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上　越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長　野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松　本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前　橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土　浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水　戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲　府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千　葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏　S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦　安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本　郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練　馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大　田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大　宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊　谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川　越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横　浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川　崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平　塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静　岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼　津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜　松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三　河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊　橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐　阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三　重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津　S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富　山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金　沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福　井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0400

サービス窓口案内（つづき）

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ **JVC CANADA INC.**
・トロント〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ **JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA**
・ロサンゼルス〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス **JVC (U.K.) LIMITED**
・ロンドン〔0208-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス **JVC FRANCE S.A.**
・パリ〔01-61-04-11-11〕
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール **JVC ASIA PTE. LTD.**
・シンガポール〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

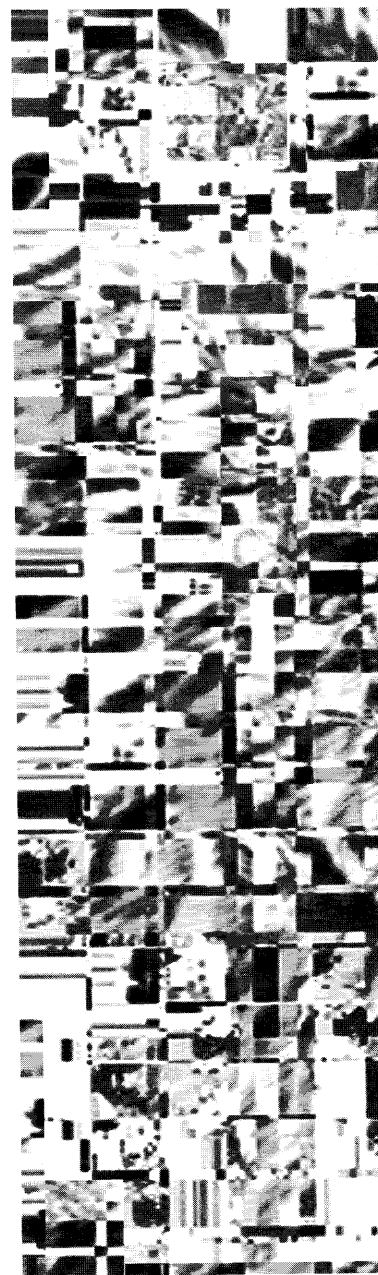
(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

	TEL	〒	所在地
お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

サービスネットワークＢＳ 9001

HR-VXG300 取扱説明書

故障かな？と思ったら
修理に出す前に77～78ページをご確認ください。

修理についてのご相談は
「お買い上げ販売店」へご相談ください。
ご転居等で保証書記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、86～87ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お買物相談
お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

☎ (03)5684-9311
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

☎ (06)6765-4161
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor JVC
日本ビクター株式会社
ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話（045）450-2550

0700IYV＊GK＊PJ